Oracle License Definitions and Rules Booklet
オラクルの定義および規則（ライセンス定義）ブックレット

発効日：2025 年 6 月 15 日

目次

DEFINITIONS AND LICENSE METRICS 3

Currency Matrix 33

Oracle LICENSING RULES 34

- Oracle Technology Programs および Oracle Business Intelligence Applications のライセンス規則 34
- Applications のライセンス規則 39
- ATG Applications のライセンス規則 40
- Oracle Communications Programs のライセンス規則 40
- Oracle Construction and Engineering Programs のライセンス規則 40
- Oracle E-Business Suite Applications のライセンス規則 40
- Oracle Financial Services Programs のライセンス規則 41
- Oracle Hospitality Cruise Applications のライセンス規則 41
- Oracle Simphony および Oracle Restaurants Applications のライセンス規則 41
- Oracle Hospitality Hotels Applications のライセンス規則 41
- JD Edwards Applications のライセンス規則 43
- MySQL プログラムのライセンス規則 43
- PeopleSoft Applications のライセンス規則 43
- Siebel Applications のライセンス規則 43
- Systems Software Programs のライセンス規則 44
- UPK Module 単位で使用権許諾されるプログラムのライセンス規則 44
- Oracle Utilities プログラムのライセンス規則 44

AVAILABILITY RULES AND METRIC DEFINITIONS FOR ORACLE LINUX AND ORACLE VM SUPPORT SERVICES （ORACLE LINUX および ORACLE VM についての各サポート・サービスに関する可用性の規則およびメトリクス定義） 44

DEFINITIONS AND LICENSE METRICS

1K Accounts：金融機関における 1,000 件分の顧客口座であって、対象プログラム内で開設、維持および保管がなされるものとして定義されます。Account には、当座預金口座、普通預金口座、ノストロ/ボストロ口座、定期預金口座およびローン口座も含みますが、これらに限定されません。いずれの休眠口座も、該当の対象プログラムの本番データベース内に存在する限りは、Account とみなされるものとします。使用権許諾要件の充足性判断において、閉鎖口座は、Account とはみなされないものとします。

Account：金融機関における顧客口座であって、対象プログラム内で開設、維持および保管がなされるものとして定義されます。Account には、当座預金口座、普通預金口座、ノストロ/ボストロ口座、定期預金口座およびローン口座も含みますが、これらに限定されません。いずれの休眠口座も、該当の対象プログラムの本番データベース内に存在する限りは、Account とみなされるものとします。使用権許諾要件の充足性判断において、閉鎖口座は、Account とはみなされないものとします。これらの対象プログラム・ライセンスの価格は、Account の総計により決定されます。当該対象プログラム・ライセンスの場合、使用権許諾された購入数は、お客様の注文の発効日時点の Account の総計以上でなければなりません。Account の総計が使用権許諾された数量を超えた時点で、お客様は、その Account の総計が使用権許諾された数量以下となるように追加のライセンス（および追加のライセンスに対するテクニカル・サポート）を注文する必要があります。Account の金額が減少した場合でも、払戻しやクレジット、その他いかなる性質の斟酌も認められません。また、毎年、契約応当日（注文書が発効した月日をいいます）より 90 日前には、お客様は、当該契約応当日における Account の数をオラクルに対しご連絡いただく必要があります。

10K API Calls：使用権許諾されたアプリケーション・プログラムにより 12 か月間に記録された最大 1 万回のアプリケーション・プログラム・インターフェース（API）コールまたは通知として定義されます。

1M API Calls：使用権許諾されたアプリケーション・プログラムにより 12 か月間に記録された最大 100 万回のアプリケーション・プログラミング・インターフェース（API）コールまたは通知として定義されます。

Application Module：お客様が 1 台または複数台のコンピューター上で使用する対象プログラムとして定義されます。

$M in Application Annual Revenue：1 百万米ドル（またはこれに相当する該当の現地通貨建ての金額）単位で、使用権許諾された対象プログラムを通じて処理された金額（税金を除きます）として定義されます。Oracle Self-Service E-Billing 製品の場合、Annual Revenue は、請求期間毎に少なくとも 1 登録ユーザーが存するすべての持つ法人口座に対しての総請求金額に相当します。

$M in Assets：お客様の最新の年次報告書および/または監督機関への届出にて開示されているお客様のバランス・シート上の総資産価値における 1 百万米ドル分（またはこれに相当する該当の現地通貨建て金額分）として定義されます。

Application Developed：スマートフォンおよび/またはその他のエンドユーザー・デバイスで動作し、以下のいずれかの条件を満たす、お客様によって開発されたソフトウェア・プログラムとして定義されます。

（i）エンドユーザーにコンテンツへのアクセスを提供すること。

（ii）エンドユーザーにトランザクションの実行権限を付与すること。

（iii）その他、オラクル・ランタイム・プログラムを通じて提供される機能をエンドユーザーが使用できるようにすること。

Application User：任意の一時点において、実際に使用しているか否かにかかわらず、適切な使用権が許諾された対象プログラムであって 1 台または複数のサーバーにインストールされたものを使用する権限をお客様が付与している特定の個人として定義されます。お客様が Oracle Self-Service Work Request オプションを、Oracle Enterprise Asset Management（EAM）と共に使用権許諾される場合、お客様は EAM と同数の Application User のライセンスを保持することが必要です。それにより、全従業員分の、作業要求の作成、その状況の参照および作業完了予定日を参照するための無制限アクセスが付与されます。Order Management を使用権許諾された Application User は、受注内容をプログラムへ直接手入力することが許諾されていますが、他のソースから電子的に受注内容が入力される場合は、別途使用権の許諾を受けなければなりません。Oracle Sourcing、Oracle Fusion Sourcing、Oracle iSupplier Portal、Oracle Fusion Supplier Portal、Oracle Services Procurement、PeopleSoft eSupplier Connection、PeopleSoft Strategic Sourcing, PeopleSoft Supplier Contract Management および JD Edwards Supplier Self Service の場合、外部サプライヤによる使用は、お客様の Application User のライセンスに含まれています。

Application Read-Only User：任意の一時点において、実際に使用しているか否かにかかわらず、Application User として使用権を取得しているプログラムに対して、検索およびレポートのみを実行する権限をお客様が付与している特定の個人として定義されます。

$B in Assets Under Management：10 億米ドル（またはこれに相当する該当の現地通貨建ての金額）単位で、お客様の年次報告書および/または規制当局への申請において公開されている、お客様ご自身のために管理し、またお客様顧客の代理のためにお客様が管理している資産の合計額として定義されます。

Bank Account：金融機関における顧客口座であって対象プログラム内で開設、維持および保管がなされるものとして定義されます。Bank Account には、当座預金口座、普通預金口座、ノストロ/ボストロ口座、定期預金口座およびローン口座も含みますが、これらに限定されません。いずれの休眠口座も、該当の対象プログラムの本番データベース内に存在する限りは、Bank Account とみなされるものとします。ライセンス要件の充足性判断において、閉鎖口座は、Bank Account とはみなされないものとします。これらの対象プログラムにおける使用権の購入数は、お客様の注文の発効日時点の Bank Account の総計以上でなければなりません。Bank Account の総計が許諾された使用権の数量を超えた時点で、お客様は、その Bank Account の総計が、新たに許諾される使用権の数量以下になるように追加の使用権（および追加の使用権に対するテクニカル・サポート）を注文する必要があります。Bank Account の金額が減少した場合でも、払戻しやクレジット、その他いかなる性質の斟酌も認められません。また、毎年、契約応当日（注文書が発効した月日をいいます）より 90 日前には、お客様は、当該契約応当日における Bank Account の数をオラクルに対しご連絡いただく必要があります。

以下のプログラムの場合、Bank Account は、オラクルのアプリケーション・プログラムで開かれ、維持され、または保管されているかに関わりなく、アプリケーション・プログラムで処理される、金融機関の顧客の各アカウントとして定義されます。

・Oracle Banking Limits and Collateral Management

・Oracle Banking Advanced Limits and Collateral Management

・Oracle Banking Relationship Pricing

・Oracle Banking Advanced Relationship Pricing

・Oracle Banking Originations

・Oracle Banking Advanced Originations

・Oracle Banking Collections

1K Bank Account Applications：12 か月間にホスティング対象の対象プログラムにおける資産商品または負債商品の申込みのために金融機関の顧客により提出される 1,000 件分の依頼として定義されます。申込みの対象としては、当座預金口座商品、普通預金口座商品、貸越保護商品、定期預金商品、ノストロ/ボストロ商品、ローン商品、保護預かり商品、保険商品およびカード商品も含みますが、これらに限定されません。1 つの依頼に複数の商品がまとめられている場合には、商品の各々が Bank Account Application としてカウントされることになります。

Bank Account Application：12 か月間にホスティング対象の対象プログラムにおける資産商品または負債商品の申込みのために金融機関の顧客により提出される依頼として定義されます。申込みの対象としては、当座預金口座商品、普通預金口座商品、貸越保護商品、定期預金商品、ノストロ/ボストロ商品、ローン商品、保護預かり商品、保険商品およびカード商品も含みますが、これらに限定されません。1 つの依頼に複数の商品がまとめられている場合には、商品の各々が 1 つのアプリケーションとしてカウントされることになります。

1K Bank Deposit Accounts：1,000 件分の口座であって、対象プログラム内で開設、維持および保管がなされるものとして定義されます。Bank Deposit Account の例としては、当座預金口座、普通預金口座、ノストロ/ボストロ口座、内部口座、投資口座、年金口座、仮想口座、定期預金口座、譲渡性預金口座および定期性預金口座も挙げられますが、これらに限定されません。いずれの休眠口座も、該当の対象プログラムの本番データベース内に存在する限りは、Bank Deposit Account とみなされるものとします。ライセンス要件の充足性判断において、閉鎖口座は、Bank Deposit Account とはみなされないものとします。

Bank Deposit Account：対象プログラム内で開設、維持および保管がなされている口座として定義されます。Bank Deposit Account の例としては、当座預金口座、普通預金口座、ノストロ/ボストロ口座、内部口座、投資口座、年金口座、仮想口座、定期預金口座、譲渡性預金口座、および定期性預金口座も挙げられますが、これらに限定されません。いずれの休眠口座も、該当の対象プログラムの本番データベース内に存在する限りは、Bank Deposit Account とみなされるものとします。ライセンス要件の充足性判断において、閉鎖口座は、Bank Deposits Account とはみなされないものとします。

1K Branch Accounts：金融機関における 1,000 件分の顧客口座であって、対象プログラム内で開設、維持および保管がなされるものとして定義されます。Branch Account には、当座預金口座、普通預金口座、ノストロ/ボストロ口座、定期預金口座およびローン口座も含みますが、これらに限定されません。いずれの休眠口座も、該当の対象プログラムの本番データベース内に存在する限りは、Branch Account とみなされるものとします。ライセンス要件の充足性判断において、閉鎖口座は、Branch Account とはみなされないものとします。

Branch Account：金融機関における口座であって、対象プログラム内で開設、維持および保管がなされるものとして定義されます。Branch Account には、当座預金口座、普通預金口座、ノストロ/ボストロ口座、定期預金口座およびローン口座も含みますが、これらに限定されません。いずれの休眠口座も、該当の対象プログラムの本番データベース内に存在する限りは、Branch Account としてみなされるものとします。ライセンス要件の充足性判断において、閉鎖口座は、Branch Account とはみなされないものとします。

Card：1 枚の EAGLE システム・カードとして定義されます。

Card（STC Card、IPLIM Card、HIPR2 Card、SM Card）：1 枚の EAGLE システム・カードとして定義されます。

Case：ケース ID 番号で識別される標準のセーフティ・レコードとして定義されています。これには医療製品の安全性に関連したデータ・エレメントが含まれています。12 か月の期間中、Oracle Argus Program において作成される Case の合計数が、購入数を超える場合、追加の Case を購入する必要があります。

Case Report Form（CRF）Page：12 か月間にプログラムによりリモートで作成される物理的な紙の総合計ページ数（Received Data Collection Instruments としてプログラムで明確に測定されます）の「電子処理データ」として定義されます。お客様は、オラクルから追加の CRF Page の使用権を取得せずに、いずれの 12 か月間においても、使用権許諾された CRF Page 数を超えて処理することはできません。

Chassis：ハードウェアを格納している物理的な筐体として定義されます。以下のプログラムにおいて、必要なライセンス数を決定する場合は、(a) ネットワーク機器を格納しているシャーシであって、かつ (b) プログラムによって管理されているシャーシのみ、カウントしなければなりません。

・Oracle Fabric Manager

・Oracle Fabric Monitor

Cluster：プライマリー・サイトに所在する 2 台以上の Global Communication Multimedia Policy Engine Server であって、アクティブ・モードおよび/もしくはスタンバイ・モードの状態にあるか、またはセカンダリー・サイトにおける 3 台目のサーバーと地理的冗長性モードにて同一構成にあるものとして定義されます。

$M in Collaterals or Limits Under Management：1 百万米ドル（またはこれに相当する該当の現地通貨建ての金額）単位で、プログラムにより管理される担保物件管理、または境界管理の合計金額として定義されます。担保物件管理および境界管理の両方の管理についてプログラムを使用する場合、いずれか大きい方により、必要なライセンス数が決定されます。

Compensated Individual：プログラムにより算出される報酬の対象者である特定の個人として定義されます。Compensated Individual には、従業員、契約社員、退職者等が含まれますが、これらに限りません。

Compliance Regulatory Report：オラクル・プログラムにより作成される事前構成された単一のテンプレートと定義され、特定の国の規制機関および/または司法管轄で疑わしい取引に関する報告書の届出要件を満たしています。特定の国の規制機関および/または司法管轄にコンプライアンス規制報告書を提出するのは、お客様の責任です。

Computer：プログラムがインストールされたコンピューターとして定義されます。1 Computer ライセンスは、お客様に、使用権許諾されたプログラムを、特定された 1 台のコンピューター上にて使用することを認めています。Oracle Health Science Integration Engine プログラムの Computer 単位のライセンスにおいて、Communication Point とは、入力システム（病院または医療現場の臨床検査システム等）、もしくは出力システム（臨床情報リポジトリー等）のインターフェースをいいます。

100 Concurrent Calls：ベースとなるデバイスの数にかかわらず、運用モニター上における 100 の同時アクティブ・エンド・ツー・エンド・コールとして定義されます。例えば、同じ同時コールを 2 つ以上のセッションで監視したり、バック・ツー・バック・ユーザー・エージェントの片面のみで監視したりすることができます。

500 Concurrent Calls：元となるデバイスの数にかかわらず、オペレーション・モニターにより認識された 500 件の同時アクティブ・エンドツーエンド・コールとして定義されます。例えば、同一の同時コールが 2 つ以上のセッション（バックツーバック・ユーザー・エージェントの各サイドに 1 つ）においてモニタリングされることがあります。

1K Concurrent Calls：元となるデバイスの数にかかわらず、オペレーション・モニターにより認識された 1,000 件の同時アクティブ・エンドツーエンド・コールとして定義されます。例えば、同一の同時コールが 2 つ以上のセッション（バックツーバック・ユーザー・エージェントの各サイドに 1 つ）においてモニタリングされることがあります。

Concurrent Call：元となるデバイスの数にかかわらず、オペレーション・モニターにより認識された同時アクティブ・エンドツーエンド・コールの数として定義されます。例えば、同一の同時コールが 2 つ以上のセッション（バックツーバック・ユーザー・エージェントの各サイドに 1 つ）においてモニタリングされることがあります。

5 Concurrent Users：各個人が、任意の一時点において残り 4 名の個人とともにプログラムに同時に接続する権限をお客様により認証されている場合、5 名の Concurrent User として定義されます。

Concurrent Connection：Serduct/Datalink への個々のコネクションとして定義されます。Serduct/Datalink とは、Infor ソフトウェアを Micros Applications との併用目的で操作可能にするインターフェースとして定義されます。

25 Concurrent Sessions：次に該当する最大 25 の確立された仮想接続（メディア・アンカリングの有無を問いません）として定義されます。(a) サブスクライバー・デバイスまたはネットワーク・スイッチング機器である 2 つのエンドポイント間におけるもので、かつ (b) ライセンス対象のソフトウェアを同時にトラバースするもの。

Transcoding coder/decoder programs の場合、メディア・アンカリング有りのセッション（特定のコードでエンコードし、トランスレート、トランスコードを利用し、またはメディア・デコードを必要とするその他のメディア処理）がカウントされます。

50 Concurrent Sessions：次に該当する最大 50 の確立された仮想接続（メディア・アンカリングの有無を問いません）として定義されます。(a) サブスクライバー・デバイスまたはネットワーク・スイッチング機器である 2 つのエンドポイント間におけるもので、かつ (b) ライセンス対象のソフトウェアを同時にトラバースするもの。

以下のプログラムでは、メディア・アンカリングを伴う同時セッションおよびネゴシエーションを行う Secure Real-Time Transport Protocol のみがカウントされます。

・Oracle Communications Session Border Controller - SRTP

・Oracle Communications Unified Session Manager - SRTP

以下のプログラムでは、メディア・アンカリングを伴う同時セッションおよびネゴシエーションを行う Message Session Relay Protocol のみがカウントされます。

・Oracle Communications Session Border Controller - MSRP B2BUA

・Oracle Communications Unified Session Manager - MSRP B2BUA

500 Concurrent Sessions：次に該当する最大 500 の確立された仮想接続（メディア・アンカリングの有無を問いません）として定義されます。(a) サブスクライバー・デバイスまたはネットワーク・スイッチング機器である 2 つのエンドポイント間におけるもので、かつ (b) ライセンス対象のソフトウェアを同時にトラバースするもの。

以下のプログラムでは、メディア・アンカリングを伴う同時セッションおよびネゴシエーションを行う Secure Real-Time Transport Protocol のみがカウントされます。

・Oracle Communications Session Border Controller – SRTP

・Oracle Communications Unified Session Manager - SRTP

以下のプログラムでは、メディア・アンカリングを伴う同時セッションおよびネゴシエーションを行う Message Session Relay Protocol のみがカウントされます。

・ Oracle Communications Session Border Controller - MSRP B2BUA

・ Oracle Communications Unified Session Manager - MSRP B2BUA

1K in Concurrent Sessions：ある時点における指定のアプリケーションやサービス上の 1,000 の同時セッションとして定義されます。

Concurrent Session：(a) サブスクライバー・デバイスまたはネットワーク・スイッチング機器で示される 2 つのエンドポイント間、および (b) 任意の一時点で使用権許諾されたソフトウェアをトラバースして確立された仮想接続の合計数として定義されます。

以下のプログラムにおいて、SIP 登録を除くすべての同時セッション（メディア・アンカリング有りまたは無し）がカウントされます。

・Oracle Communications WebRTC Session Controller

・Oracle Communications Application Session Controller

以下のプログラムにおいて、ネットワーク同時セッションのみがカウントされます。

・Oracle Communications Converged Application Server

・Service Controller プログラム

Transcoding coder/decoder Programs の目的として、メディア・アンカリング有りの同時セッション（特定コーデックでエンコードされ、トランスレート、トランスコードを利用し、またはメディア・デコードを必要とするその他のメディア処理機能）のみがカウントされます。

以下のプログラムにおいて、メディア・アンカリングを伴うセッションおよびネゴシエーションを行う Secure Real-Time Transport Protocol のみがカウントされます。

・Oracle Communications Session Border Controller - SRTP

・Oracle Communications Unified Session Manager - SRTP

以下のプログラムにおいて、メディア・アンカリングを伴うセッションとネゴシエーションを行う Message Session Relay Protocol のみカウントされます。

・Oracle Communications Session Border Controller - MSRP B2BUA

・Oracle Communications Unified Session Manager - MSRP B2BUA

1K in Concurrent Subscribers：ある時点における指定のアプリケーションやサービスに同時アクセスする一意の 1,000 の加入者として定義されます。

Concurrent User：プログラムを同時に使用またはアクセス可能な個人として定義されます。Concurrent User は、お客様の顧客や見込み顧客のみが該当するものであり、ビジネス・パートナーやお客様の従業員は該当しません。

Connected Device：(a) Oracle Application プログラムまたはオラクル・クラウド・サービスとデータを送受信する、および (b) Oracle application business logic を実行するか、Oracle application table を更新するための、あらゆる人的な相互作用または人的な入力を必要としない、一意のデバイスとして定義されます。デバイスには、センサー、メーター、RFID リーダー、およびバーコード・スキャナーを含みますが、これらに限定されません。デバイスは、Oracle Application プログラムもしくはオラクル・クラウド・サービスに直接的に接続するか、または、ゲートウェイ・デバイスもしくは第三者通信サービスを経由して、Oracle Application プログラムもしくはオラクル・クラウド・サービスに間接的に接続することができます。デバイスは、Oracle Application プログラムもしくはオラクル・クラウド・サービスとのデータ通信のエンドポイントとして一意に識別されるか、またはデバイス内の Oracle Application プログラムもしくはオラクル・クラウド・サービスの明示的なレジストリにより一意に識別することができます。

Connected Instance：Oracle Policy Automation Connector for Oracle CRM OnDemand と Oracle CRM OnDemand インスタンスのウェブ・サービスのエンドポイント間の設定、として定義されます。Oracle CRM OnDemand インスタンスが Oracle Policy Automation Connector for Oracle CRM On Demand と連携して設定される毎に、Connected Instance を追加する必要があります。

1K in Connections：パイプ、トレイルまたは接続を介して同時に接続された 1,000 のエンドポイント（ポート、コネクター、場所、デバイス等）として定義されます。カウントが行われる度、接続ごとに回路、サービスなどのその他の接続が含まれる場合があります。同じ接続でバージョンが異なる場合、一つの接続としてカウントされます。

Connector：オラクルのソフトウェア製品と第三者製品とを接続する個々のコネクターとして定義されます。個々の第三者製品をオラクルのソフトウェア製品と連携するためには、それぞれ特定のコネクターが必要になります。

Connector Pack：該当する Connector Pack に関する Program Documentation に明記されるコネクターの集合体として定義されます。Pack 内の任意のコネクターが複製、インストールおよび使用される際の物理的なサーバーの数に制限はありません。

$M in Assets Under Management：1 百万米ドル（またはこれに相当する該当の現地通貨建ての金額）単位で、お客様の年次報告書および/または規制当局への申請において公開されている、お客様ご自身およびお客様顧客の代理のために管理している資産の合計額として定義されます。

$M Cost of Goods Sold：1 百万米ドル（またはこれに相当する該当の現地通貨建ての金額）単位で、会計年度内の総売上原価として定義されます。売上原価が不明の場合は、総売上の 75%を売上原価と見なします。

Country：規制報告に関連する金融犯罪コンプライアンスとリスク管理がプログラムを使用して生成される国家として定義されます。

CPU：プログラムが稼働する、1 つ以上のコアの集合体より構成されるチップとして定義されます。コアの数にかかわらず、それぞれのチップは、1 個の CPU としてカウントされます。

Custom Suite User：任意の一時点において、実際に使用しているか否かにかかわらず、1 台または複数のサーバーにインストールされた Oracle Custom Applications Suite に含まれるプログラムを使用する権限をお客様が付与している特定の個人として定義されます。

100 in Customer Count：100 Customer Count 毎のライセンスとなります。Customer Count は、個別の「お客様」の総数として定義されます。お客様が、単一の個人または企業に複数のサービスを提供する場合、その個人または企業は、単一の顧客としてカウントされます。個人または企業が、複数の設置先（例えば、チェーンストア、アパートやマンション、または自治体）でユーティリティ・サービスを受ける場合、各々の設置先は、単一の顧客（Customer）としてカウントされます。

Customer：お客様の注文で特定された法人顧客として定義されます。第三者の業務処理目的で、プログラムを使用することはできず、またプログラムにアクセスすることはできません（お客様の顧客、パートナー、および関連会社を含みますが、これらに限りません）。当該プログラムを複製、インストールおよび使用可能なコンピューターの数に制限はありません。

Customer Account：プログラムを使用して、請求情報を管理および表示する一意の口座番号で特定される一意の顧客口座として定義されます。当該口座と関連付けられている個人口座保持者の数ではありません。

Oracle Customer Data & Device Retention Service：本サービスの詳細は、www.oracle.com/contracts のテクニカル・サポート・ポリシー・セクション（**Oracle Hardware および Systems サポート・ポリシー**）において明記され、本詳細を参照することにより本契約の一部を構成します。

Customer Device：(a) 特定の顧客、加入者、またはユーザー専用の、機能的に独立したコンポーネント（例えば、ケーブル/ DSL モデム、セット・トップ・ボックス、ホーム・ゲートウェイ、SIM / USIM カード、モバイル・ハンドセット、VoIP 電話機、ATA、カスタマー・エッジ・ルーター、PC、またはアクセス・ポイントなど）で、かつ (b) プログラムによって管理されている、デバイス（物理的または論理的）として定義されます。

Customer ID：プログラム内で開かれ、維持され、保管されているアカウントを持つ個人顧客に関連付けられている一意の顧客の個人特定番号として定義されます。

Customer Record：プログラムを使用してアクセス可能な、一意の Customer Record（担当者レコード、見込み顧客レコードおよび外部データ・ソースのレコードを含みます）として定義されます。

10,000 Daily Average Transactions：24 時間の間にプログラムにより処理される 10,000 件の一意のトランザクション（販売トランザクション、返品トランザクション、交換トランザクション、ロイヤルティ・トランザクション、取引トランザクション、ギフトカード・トランザクション、在庫トランザクション、小口現金トランザクション、および管理者トランザクションを含みますが、これらに限定されません）として定義されます。1 日当たりのトランザクション数は、それ以前の 12 か月の期間における 1 日当たりの平均値として計算されます。

1000 Data Points：各データ・ポイントが単一のデータ・タイプについてのデータ・ソースとその送信先との間における固有の接続である場合における 1,000 のデータ・ポイントとして定義されます。データ・タイプには、ステータス・データ（例：オン/オフ、オープン/クローズ、またはこれらに類するデータ）、および/または測定データ（電圧、振動数、温度、またはこれらに類するデータ）であって、ユーティリティ・システムにより管理されるものも含まれますが、これらに限定されません。データ・ソースにより複数のデータ・タイプが生成されることがあり（例：ステータス・データと測定データとの両方を生成するセンサー）、また、単一のデータ・タイプが複数の送信先と接続されることがあります。単一のデータ・タイプと単一のユーティリティ・システムとの間の接続のいずれも、個々にデータ・ポイントとしてライセンスを受ける必要のある固有の接続となります。

500K DB Entries：国際ナンバー・ポータビリティ・データベースにおける 500,000 のデータベース（DB）エントリとして定義されます。

$M of Delinquent Accounts Managed：1 百万米ドル（またはこれに相当する該当の現地通貨建ての金額）単位で、プログラムにより管理されている延滞金の合計金額として定義されます。

Developer User / Developer/ Developer Seat：任意の一時点において、実際に使用しているか否かにかかわらず、1 台または複数のサーバーにインストールされたプログラムを使用する権限をお客様が付与している特定の個人として定義されます。Developer User についてのみ、プログラムおよびドキュメントを作成、変更および閲覧ならびにそれらを相互に情報共有することが可能です。

100K Devices：アプリケーションがモデリング、検出または管理する 10 万ネットワーク・エレメントとして定義されます。

Device：アプリケーションによるモデリング、検出または管理の対象となるネットワーク・エレメントとして定義されます。

Oracle Communications Network Integrity Programs の場合、デバイスは、Network Element それ自体により直接に、または Network/Element Management System（NMS/EMS）、Oracle Communications Network Discovery もしくは第三者製検出アプ

リケーションを通じ、またはデータのリポジトリー（Inventory、Asset Management その他のシステムなど）により、検出されます。単一のデバイスが 2 つのシステム間で調整される場合には、当該デバイスは、1 回限りカウントされます。

Oracle Communications Unified Inventory Management Program の場合、デバイスは、機能上独立のコンポーネントです。例：物理的なシェルフ、シャーシまたはユニット、論理デバイス、サーバー、エレメントなど。論理的または物理的に分離されている場合には、別個のデバイスとなります。

Oracle Communications Session Element Manager Program、Oracle Communications Session Route Manager Program、Oracle Communications Session Report Manager Program、Oracle Communications Application Orchestrator Program および Oracle SD-WAN Aware Program の場合、デバイスは、物理デバイスまたは仮想デバイスのいずれもあり得るものとし、障害、構成、監査、パフォーマンス、セキュリティーおよびライフサイクル機能のうち 1 つまたは複数が使用されている場合に、管理またはオーケストレーションの対象になっているものとみなされます。

Oracle Communications Network Service Orchestration Program および Oracle Communications ASAP Program の場合、デバイスは、物理デバイスまたは仮想デバイスのいずれもあり得るものとし、ネットワーク・サービス構成、モニタリングおよびライフサイクル機能のうち 1 つまたは複数が当該デバイスを伴って使用されている場合に、管理またはオーケストレーションの対象になっているものとみなされます。

Oracle Communications Unified Assurance プログラムの目的上、デバイスは、物理形式または仮想形式であることがあるとともに、1 つまたは複数の障害、構成、監査、パフォーマンス、セキュリティーおよびライフサイクルの機能が使用されている場合においてはマネージド型またはオーケストレーション型であるとみなされます。

- 大型デバイスとは、2 つのネットワーク間の境界においてデータ・フローを制御するプライマリー側のノードまたはハードウェアを相互接続するデバイスと定義されます。大型デバイスには、お客様のネットワークについてのサービスを円滑化するデバイス（例としてはコア・デバイスおよびエッジ・デバイスも挙げられますがこれらに限定されません）も含まれます。
- 小型デバイスとは、お客様のサブスクライバーの敷地に所在する機器のうちお客様のデバイスをお客様のコア・ネットワークに接続するために用いられるものと定義されます。小型デバイスには、CPE（顧客側提供機器）、RAN（無線アクセス・ネットワーク）および NID（ネットワーク・インターフェース・デバイス）デバイスも含まれますが、これらに限定されません。
- IOT（Internet of Things）デバイスとは、人間により操作されるシンプルな入力デバイス、またはリモートにて管理されるかもしくは完全に自動化されたデバイスであって、情報の収集または一元管理ポイントから発せられるコマンドへの応答を行うものと定義されます。IOT デバイスには、スマート・モバイル、スマート火災報知器、スマート・ドア・ロック、スマート自転車、医療センサー、フィットネス・トラッカーおよびスマート・セキュリティ・システムも含まれますが、これらに限定されません。

Disk Drive：対象プログラムによりアクセスされるデータを保存するストレージ・デバイスのうち、ディスク・ドライブまたはフラッシュ・ドライブのいずれかに該当するものとして定義されます。

Electronic Order Line：12 か月間にあらゆるソースからプログラムに電子的に入力される個々の受注明細行の総数として定義されます（使用権許諾されたユーザーによる手入力は含みません）。これは、外部の EDI/XML トランザクションおよび/または Oracle を含む他のアプリケーションで作成される受注明細行も含みます。お客様は、いずれの 12 か月間においても、使用権許諾された受注明細行数を超えて処理することはできません。

Employee：(i) 常勤の社員、パートタイムの社員、一時雇用の社員の総数、および (ii) プログラムにアクセスし、当該プログラムを使用し、または当該プログラムによりトラッキングされる代理人、契約社員およびコンサルタントの総数として定義されます。必要な使用権の数量は、実際に利用するユーザー数ではなく、Employee の数によって決定されます。また、お客様が、業務の全部または一部を他社に外部委託している場合は、Employee の数を決定するため、当該他社の常勤の社員、パートタイムの社員、一時雇用の社員、代理人、契約社員およびコンサルタントであって、(i) お客様のために業務を提供する者、および (ii) プログラムにアクセスし、当該プログラムを使用し、または当該プログラムによりトラッキングされる者、の総数を加算しなければなりません。

Employee for HCM：(i) 常勤の社員、パートタイムの社員、一時雇用の社員の総数、および (ii) プログラムにアクセスし、当該プログラムを使用し、または当該プログラムによりトラッキングされる代理人、契約社員およびコンサルタントの総数として定義されます。必要な使用権の数量は、実際に利用するユーザー数ではなく、Employees for HCM の数によって決定されます。また、お客様が、業務の全部または一部を他社に外部委託している場合は、Employees for HCM の数を決定するため、当該他社の常勤の社員、パートタイムの社員、一時雇用の社員、代理人、契約社員およびコンサルタントであって、(i) お客様のために業務を提供する者、および (ii) プログラムにアクセスし、当該プログラムを使用しまたは当該プログラムによりトラッキングされる者の総数を加算しなければなりません。Employees for HCM は、その先頭に「Oracle Fusion Human Capital Management」の名称が付いた Oracle Application プログラムと共にのみ、使用権許諾されたプログラムを使用することができます。

Employee for Java SE Universal Subscription：次のとおり定義されます。(i) お客様におけるすべてのフルタイム従業員、パートタイム従業員および契約社員、および (ii) お客様の内部業務処理の支援を担うお客様の代理人、請負業者、外部委託先およびコンサルタントにおけるすべてのフルタイム従業員、パートタイム従業員および契約社員。必要とされるライセンス数は、対象プログラムを使用する従業員の実数ではなく、Employee の数によって決定されます。当該 Java SE Universal Subscription ライセンスの場合、ライセンスの購入数は、少なくとも、お客様の注文の発効日時点における Employee の数に相当するものでなければなりません。Java SE Universal Subscription プログラムにおける当該 Employee メトリックに基づき、お客様は、プロセッサー数が 50,000 を超えない限りで、Java SE Universal Subscription プログラムをインストールすることおよび/または稼働させることができます。お客様により使用されるプロセッサー（デスクトップ型およびラップトップ型のコンピューターをインストール先および/または稼働場所とするプロセッサーを除きます）の数が 50,000 を超える場合、お客様は、追加のライセンスをオラクルから取得する必要があります。

Employee User：任意の一時点において、実際に使用しているか否かにかかわらず、1 台または複数のサーバーにインストールされたプログラムを使用する権限をお客様が付与している特定の個人として定義されます。

5K Endpoints：一意のインターネット・プロトコル（IP）およびポートの組み合わせにより識別される 5,000 台の個人ユーザー・デバイスとして定義されます。加入者が複数のユーザー・デバイスを所有している場合、各ユーザー・デバイスをエンドポイントとしてカウントする必要があります。

20K Endpoints：一意のインターネット・プロトコル（IP）およびポートの組み合わせにより識別される 20,000 台の個人ユーザー・デバイスとして定義されます。加入者が複数のユーザー・デバイスを所有している場合、各ユーザー・デバイスをエンドポイントとしてカウントする必要があります。

Endpoint：一意のインターネット・プロトコル（IP）およびポートの組み合わせにより識別される個人のユーザー・デバイスとして定義されます。加入者が複数のユーザー・デバイスを所有している場合、各ユーザー・デバイスをエンドポイントとしてカウントする必要があります。

Enterprise Employee：(i) 常勤の社員、パートタイムの社員、一時雇用の社員の総数、および (ii) プログラムにアクセスし、当該プログラムを使用し、または当該プログラムによりトラッキングされる代理人、契約社員およびコンサルタントの総数として定義されます。必要な使用権の数量は、実際に利用するユーザー数ではなく、Enterprise Employee の数によって決定されます。また、お客様が、業務の全部または一部を他社に外部委託している場合は、Enterprise Employee の数を決定するため、当該他社の常勤の社員、パートタイムの社員、一時雇用の社員、代理人、契約社員およびコンサルタントであって、(i) お客様のために業務を提供する者、および (ii) プログラムにアクセスし、当該プログラムを使用し、または当該プログラムによりトラッキングされる者、の総数を加算しなければなりません。これらのプログラムの使用権の価格は、Enterprise Employee の数により決定されます。これらのプログラムにおける使用権の購入数は、お客様の注文の発効日時点の Enterprise Employee の数以上でなければなりません。Enterprise Employee の数が許諾された使用権の数を超えた時点で、お客様は、その Enterprise Employee の数が、新たに許諾される使用権の数以下になるように追加の使用権（および追加の使用権に対するテクニカル・サポート）を注文する必要があります。Enterprise Employee の数が減少した場合でも、払戻しや支払い猶予、その他いかなる性質の斟酌も認められません。また、毎年、契約応当日（注文書が発効した月日をいいます）より 90 日前には、お客様は、当該契約応当日における Enterprise Employee の数をオラクルに対しご連絡いただく必要があります。

Enterprise Full Time Equivalent （FTE） Student：教育機関に登録されている全日制の生徒数および全日制の生徒数の 25%としてカウントする定時制の生徒数の合計として定義されます。「全日制」と「定時制」の定義は、お客様の生徒分類基準に基づきます。FTE Student に小数点以下の端数がある場合、必要なライセンス数は、小数点以下を四捨五入して計算します。これらのプログラムの使用権の価格は、Enterprise FTE Student の数により決定されます。これらのプログラムにおける使用権の購入数は、お客様の注文の発効日時点の Enterprise FTE Student の数以上でなければなりません。Enterprise FTE Student の数が許諾された使用権の数を超えた時点で、お客様は、その Enterprise FTE Student の数が、新たに許諾される使用権の数以下になるように追加の使用権（および追加の使用権に対するテクニカル・サポート）を注文する必要があります。Enterprise FTE Student の数が減少した場合でも、払戻しや支払い猶予、その他いかなる性質の斟酌も認められません。また、毎年、契約応当日（注文書が発効した月日をいいます）より 90 日前には、お客様は、当該契約応当日における Enterprise FTE Student の数をオラクルに対しご連絡いただく必要があります。

Enterprise Trainee：プログラムにより記録される従業員、契約社員、学生等として定義されます。これらのプログラムの使用権の価格は、Enterprise Trainee の数により決定されます。これらのプログラムにおける使用権の購入数は、お客様の注文の発効日時点の Enterprise Trainee の数以上でなければなりません。Enterprise Trainee の数が許諾された使用権の数を超えた時点で、お客様は、その Enterprise Trainee の数が、新たに許諾される使用権の数以下になるように追加の使用権（および追加の使用権に対するテクニカル・サポート）を注文する必要があります。Enterprise Trainee の数が減少した場合でも、払戻しや支払い猶予、その他いかなる性質の斟酌も認められません。また、毎年、契約応当日（注文書が発効した月日をいいます）より 90 日前には、お客様は、当該契約応当日における Enterprise Trainee の数をオラクルに対しご連絡いただく必要があります。

Enterprise $M in Cost of Goods Sold：1 百万米ドル（またはこれに相当する該当の現地通貨建ての金額）単位で、会計年度内の総売上原価として定義されます。売上原価が不明の場合は、総売上の 75%を売上原価と見なします。これらのプログラムの使用権の価格は、Enterprise $M Cost of Goods Sold の総計により決定されます。これらのプログラムにおける使用権の購入数は、お客様の注文の発効日時点の Enterprise $M Cost of Goods Sold の総計以上でなければなりません。Enterprise $M Cost of Goods Sold の総計が許諾された使用権の数量を超えた時点で、お客様は、その Enterprise $M Cost of Goods Sold の総計が、新たに許諾される使用権の数量以下になるように追加の使用権（および追加の使用権に対するテクニカル・サポート）を注文する必要があります。Enterprise $M Cost of Goods Sold の金額が減少した場合でも、払戻しや支払い猶予、その他いかなる性質の斟酌も認められません。また、毎年、契約応当日（注文書が発効した月日をいいます）より 90 日前には、お客様は、当該契約応当日における Enterprise $M Cost of Goods Sold の総計をオラクルに対しご連絡いただく必要があります。

Enterprise $M in Freight Under Management：1 百万米ドル（またはこれに相当する該当の現地通貨建ての金額）単位で、使用権許諾期間中の任意の 1 年間（暦年）の入出荷すべての支払輸送費の総額として定義されます。FUM（Freight Under Management）には、お客様が実際に購入した貨物、およびお客様が輸送管理をする貨物（例えば、輸送管理サービスをお客様の顧客に代わって購入するのではなく、お客様自身が輸送管理サービスをお客様の顧客向けに提供している場合）の輸送費の合計額を含むものとします。第三者が輸送費を負担している場合（例えば、納入業者の前払いによる受入貨物の輸送費）も FUM の総額に含まれるものとします。これらのプログラムの使用権の価格は、Enterprise $M FUM の総計により決定されます。これらのプログラムにおける使用権の購入数は、お客様の注文の発効日時点の Enterprise $M FUM の総計以上でなければなりません。Enterprise $M FUM の総計が許諾された使用権の数量を超えた時点で、お客様は、その Enterprise $M FUM の総計が、新たに許諾される使用権の数量以下となるように追加の使用権（およびその追加の使用権に対するテクニカル・サポート）を注文する必要があります。Enterprise $M FUM の金額が減少した場合でも、払戻しや支払い猶予、その他いかなる性質の斟酌も認められません。また、毎年契約応当日（注文書が発効した月日をいいます）より 90 日前には、お客様は、当該契約応当日における Enterprise $M FUM の総計をオラクルに対しご連絡いただく必要があります。

Enterprise $M in Operating Budget：1 百万米ドル（またはこれに相当する該当の現地通貨建ての金額）単位で、外部の会計法人からの監査報告を反映した、お客様の予算の総額として定義されます。これらのプログラムの使用権の価格は、Enterprise $M in Operating Budget の総計により、決定されます。これらのプログラムにおける使用権の購入数は、お客様の注文の発効日時点の Enterprise $M in Operating Budget の総計以上でなければなりません。Enterprise $M in Operating Budget の総計が許諾された使用権の数量を超えた時点で、お客様は、その Enterprise $M in Operating Budget の総計が、新たに許諾される使用権の数量以下になるように追加の使用権（および追加の使用権に対するテクニカル・サポート）を注文する必要があります。Enterprise $M in Operating Budget の金額が減少した場合でも、払戻しや支払い猶予、その他いかなる性質の斟酌も認められません。また、毎年契約応当日（注文書が発効した月日をいいます）より 90 日前には、お客様は、当該契約応当日における Enterprise $M in Operating Budget の総計をオラクルに対しご連絡いただく必要があります。

Enterprise $M in Revenue：1 百万米ドル（またはこれに相当する該当の現地通貨建ての金額）単位で、会計年度内に発生した費用や税金を差し引く前の総収入（営業外収入および特別利益を含みます。ただし、評価益は除きます）として定義されます。これらのプログラムの使用権の価格は、Enterprise $M in Revenue の総計により決定されます。これらのプログラムにおける使用権の購入数は、お客様の注文の発効日時点の Enterprise $M in Revenue の総計以上でなければなりません。Enterprise $M in Revenue の総計が許諾された使用権の数量を超えた時点で、お客様は、その Enterprise $M in Revenue の総計が、新たに許諾される使用権の数量以下になるように追加の使用権（および追加の使用権に対するテクニカル・サポート）を注文する必要があります。Enterprise $M in Revenue の金額が減少した場合でも、払戻しや支払い猶予、その他いかなる性質の斟酌も認められません。また、毎年、契約応当日（注文書が発効した月日をいいます）より 90 日前には、お客様は、当該契約応当日における Enterprise $M in Revenue の総計をオラクルに対しご連絡いただく必要があります。

Enterprise $M Revenue Under Management：1 百万米ドル（またはこれに相当する該当の現地通貨建ての金額）単位で、プログラムを使用する製品ラインにおける、会計年度内に発生した費用や税金を差し引く前の総収入（営業外収入および特別利益を含みます。ただし、評価益は除きます）として定義されます。これらのプログラムにおける使用権の購入数は、お客様の注文の発効日時点の Enterprise $M in Revenue Under Management の総計以上でなければなりません。Enterprise $M in Revenue Under Management の総計が許諾された使用権の数量を超えた時点で、お客様は、その Enterprise $M in Revenue Under Management の総計が、新たに許諾される使用権の数量以下となるように追加の使用権（およびその追加の使用権に対するテクニカル・サポート）を注文する必要があります。Enterprise $M in Revenue Under Management の金額が減少した場合でも、払い戻しや支払い猶予、その他いかなる性質の斟酌も認められません。また、毎年、契約応当日（注文が発効した月日をいいます）より 90 日前には、お客様は、当該契約応当日における Enterprise $M in Revenue Under Management の総計をオラクルに対しご連絡いただく必要があります。

Expense Report：12 か月間に Internet Expenses で処理される経費精算書の総数として定義されます。お客様は、いずれの 12 か月間においても、使用権許諾された経費精算書数を超えて処理することはできません。

Faculty User：認定された教育学術機関で現職にある教職員として定義されます。該当するユーザーは、研究および非営利の目的でのみプログラムを使用することができます。

Field Resource：プログラムを使用する派遣担当者、エンジニア、技術者、代理人またはプログラムによってスケジュールされた他の人物として定義されます。

Field Technician：プログラムを使用する現場にお客様により派遣されるエンジニア、技術者、担当者その他の者（それらの派遣担当者を含みます）として定義されます。

10K Financial Inclusion Accounts：金融機関における 10,000 件分の顧客口座であって、対象プログラム内で開設、維持および保管がなされるものとして定義されます。Account には、当座預金口座、普通預金口座、ノストロ/ボストロ口座、定期預金口座およびローン口座も含みますが、これらに限定されません。いずれの休眠口座も、該当の対象プログラムの本番データベース内に存在する限りは、Account とみなされるものとします。ライセンス要件の充足性判断において、閉鎖口座は、Account とはみなされないものとします。

Financial Inclusion Account：金融機関における顧客口座であって、対象プログラム内で開設、維持および保管がなされるものとして定義されます。Account には、当座預金口座、普通預金口座、ノストロ/ボストロ口座、定期預金口座およびローン口座も含みますが、これらに限定されません。いずれの休眠口座も、該当の対象プログラムの本番データベース内に存在する限りは、Account とみなされるものとします。ライセンス要件の充足性判断において、閉鎖口座は、Account とはみなされないものとします。

1K Financial Services Subscribers：該当の対象プログラムのオンライン・ポータルまたはモバイル・アプリケーションに対するアクセス権をお客様から付与されている 1,000 名の個人として定義されます。この場合、いかなる時点であれ当該個人が実際に当該対象プログラムにアクセスしているか否かを問いません。Financial Services Subscriber は、各々、対象プログラムの単一のインスタンスとしてカウントされます。

Financial Services Subscriber：該当の対象プログラムのオンライン・ポータルまたはモバイル・アプリケーションに対するアクセス権をお客様から付与されている個人として定義されます。この場合、いかなる時点であれ当該個人が実際に当該対象プログラムにアクセスしているか否かを問いません。Financial Services Subscriber は、各々、対象プログラムの単一のインスタンスとしてカウントされます。

Oracle Documaker Mobile プログラムの場合は、Financial Services Subscriber は、印刷されたドキュメントに加え、または印刷されたドキュメントの代わりに、モバイル・ドキュメントを受領するよう登録された個人として定義されます。

Oracle Banking Digital Experience プログラムの場合は、Financial Services Subscriber は、任意の一時点において、実際にプログラムにアクセスしているか否かにかかわらず、該当するアプリケーション・プログラムにアクセスできるよう登録されている個人として定義されます。

Flash Drive：プログラムによりアクセスされるデータを格納する、フロント・マウント型ソリッドステート・メディア・デバイスとして定義されます。

$M Freight Under Management：1 百万米ドル（またはこれに相当する該当の現地通貨建ての金額）単位で、使用権許諾期間中の任意の 1 年間（暦年）の入出荷すべての輸送費の総額として定義されます。FUM（Freight Under Management）には、お客様が実際に購入した貨物、およびお客様が輸送管理をする貨物（例えば、輸送管理サービスをお客様の顧客に代わって購入するのではなく、お客様自身が輸送管理サービスをお客様の顧客向けに提供している場合）の輸送費の合計額を含むものとします。第三者が輸送費を負担している場合（例えば、納入業者の前払いによる受入貨物の輸送費）も FUM の総額に含まれるものとします。

Full Time Equivalent （FTE） Student：教育機関に登録されている全日制の生徒数および全日制の生徒数の 25%としてカウントする定時制の生徒数の合計として定義されます。「全日制」と「定時制」の定義は、お客様の生徒分類基準に基づきます。FTE Student に小数点以下の端数がある場合、必要なライセンス数は、小数点以下を四捨五入して計算します。

100 GB：100 ギガバイト（GB）のハードディスク・ドライブ容量として定義されます。

Gigabyte：10 億バイト単位で、プログラムによりパージされアーカイブされるデータとして定義されます。

Oracle Banking Payments SWIFTNet FileAct Program の場合、Gigabyte とは、1 ギガバイト単位で、12 か月間にわたり SWIFTNet 経由でやりとりされる支払いファイル・データとして定義されます。

25,000 Gift Cards：12 か月の間にプログラムにより生成される、25,000 のバリュー・カード（ギフトまたはストアード）として定義されます。

Global Title Translations per Translation Type：SS7 Translation Type ごとの SS7 Global Title Translation 記録の数として定義されます。

Guest Cabin：プログラムによって管理されるクルーズ船内の客室として定義されます。お客様は、プログラムによって管理される各クルーズ船内の Guest Cabin の許諾数の合計数の使用権許諾を受ける必要があり、Guest Cabin 使用権の許諾数は、複数のクルーズ船にまたがって共有することはできません。

Cruise Fleet Management プログラム、Cruise Crew Management プログラム、Cruise Materials Management HQ プログラムおよび Sub-HQ プログラムにおいて、お客様は、プログラムによって管理される船団のすべての船または船舶に搭載されている Guest Cabins の合計数の使用権許諾を受ける必要があります。

Guest Room：プログラムによって管理される客室の数として定義されます。

Oracle Hospitality Suite8 Interface Programs において、1 つの Oracle Hospitality Suite8 Program とインターフェースをとる必要がある個別の製品毎に、一意の Guest Room ライセンス 1 つが必要となります。例えば、1 つの Oracle Hospitality Suite8 Program と 3 つの個別の製品とのインターフェースをとる必要があるお客様は、3 つの個別の Guest Room ライセンスを保有しなければなりません。

1000 Healthcare Records：お客様のヘルスケア（医療機関、医療制度、政府機関または研究機関）環境向けのオラクル・プログラムにより保管された 1,000 人分の患者の記録をいいます。この定義の目的上、「setting（環境）」とは、お客様が医療サービスを提供する対象範囲をいいます。例えば、ライセンサーが郡の医療サービス部門である場合には、当該部門による医療サービスを受ける住民がこれに該当し、ライセンサーが医療研究機関である場合には、当該医療研究機関に関係する患者がこれに該当します。お客様は、お客様の医療環境向けのオラクル・プログラムにより保管された患者記録の総数について、ライセンスを受ける必要があります。

Healthcare Record：オラクルのプログラムに保存されている一意の個人（自然人）データベース・レコードの総数として定義されています。

Hosted Named User：任意の一時点において、実際にアクセスしているか否かにかかわらず、ホスティング・サービスにアクセスする権限をお客様が付与している特定の個人として定義されます。

Hospitality Suite：主として、プログラムによって管理される、アリーナ、スタジアム、コンサート会場その他の会場内にあるキチネット、休憩室、テーブルおよび座席（これらに限定されません）を含むエンターテインメント空間として定義されます。

1K in Individual Subscribers：使用されているプログラム用の、お客様の 1 つまたは複数のサービスを使用する権限をお客様が付与している 1000 名の個人として定義されます。例えば、個人サブスクライバーは、使用権許諾されたプログラムまたは注文システム、請求システム等のその他の関連サブスクライバー・データベースで顧客記録/アカウントとして追跡することができます。個人サブスクライバーは、使用サービスの数にかかわらず、1 人としてカウントされます。

Individual Subscriber：プログラムが使用された複数のサービスを使用するお客様が権限を与えた個人として定義されます。例えば、個人サブスクライバーは、ライセンスを付与されたプログラムまたは注文システム、請求システム等のその他の関連サブスクライバー・データベースで顧客記録/アカウントとして追跡することができます。個人サブスクライバーは、使用サービスの数にかかわらず、1 人としてカウントされます。Billing and Revenue Management Servers およびアプリケーション限定使用の拡張に対する個人サブスクライバーは以下のとおり定義されます。

Oracle Communications Billing and Revenue Management Server for Real-time Rating プログラムの場合、プログラムの real-time rating 機能が使用される複数のサービスを購入する個人サブスクライバーとして定義されます。

Oracle Communications Billing and Revenue Management for Convergent Rating プログラムの場合、プログラムの real-time rating および/または batch rating 機能が使用される複数のサービスを購入する個人サブスクライバーとして定義されます。

Oracle Communications Billing and Revenue Management Server for Billing プログラムの場合、プログラムの請求機能が使用される複数のサービスを購入する個人サブスクライバーとして定義されます。

Installation Services, and Configuration/Upgrade Services：本サービスの詳細は、www.oracle.com/contracts の Customer Success Services セクションにおいて明記され、本詳細を参照することにより本契約の一部を構成します。（注：2012 年 9 月 1 日現在、国により一部提供されないサービスがあります。詳細はオラクルまでお問い合わせください）

Instance：対象プログラムのコンポーネントを実行する単一または一連の物理サーバーまたは仮想サーバーであって単一の環境として動作するものと定義されます。テスト環境、本番環境および開発環境は、個別にライセンスを受ける必要のある 3 つの別個の Instance であるとみなされます。

Oracle Banking API Infrastructure Program の場合、Instance とは、Oracle Banking API Program の運用に用いられる環境（本番環境および非本番環境）として定義されます。

Oracle Utilities Customer Care and Billing Cloud Java Development Environment License Subscription および Oracle Utilities Customer Cloud Java Development Environment License Subscription の目的上、インスタンスとは、非本番（開発およびテスト）環境として定義されるものとし、各非本番環境は、ライセンス・サブスクリプションの必要数の算定の目的においてカウントしなければなりません。また、本番環境は、禁止されています。お客様は、非本番環境を、Oracle Utilities Java Migration Cloud Service によって生じ得るアップロードのための既存の Java 拡張機能の維持、アップデートおよびテストに限り、使用することができます。

1K Insurable Entities：オラクル・プログラムにより管理される登録加入者および/または被保険物件である 1,000 の被保険物件として定義されます。登録加入者とは、お客様の商品のいずれかについての個人被保険者、年金受給権者および/または加入者であって見積書、申込書、保険証書または保険契約を単位とする者をいいます。被保険物件とは、保険契約において保険の対象となっている項目および/または資産（建物、自動車など）をいいます。

1K Insurance Plan Members：有効な Insurance Plan Member である個人 1,000 名として定義されます。Insurance Plan Member は、オラクル・プログラムを通じ処理されるお客様の健康または団体保険制度商品のいずれかの対象に現時点でなっている場合に、「有効」といえます。オラクル・プログラムを通じて処理される複数の健康または団体保険制度商品の有効な加入者である個人は、単一の Insurance Plan Member とみなされるに過ぎません。旧加入者（すなわち、お客様の健康制度商品のいずれかについて現時点で保険対象にはなっていないものの追跡および/または記録は行われている「非アクティブ」な加入者）に関する健康または団体保険制度商品の処理のためのオラクル・プログラムの使用は、お客様の 1K Insurance Plan Members のライセンスに含まれるものとします。この定義の目的上、団体保険制度商品には、お客様の損害保険商品のいずれも含まれないものとします。

Interface：オラクル・プログラム/オラクル・クラウド・サービスと外部システム/製品との間におけるデータの交換を可能とするコネクターと定義されます。オラクル・プログラム/オラクル・クラウド・サービスと複数の外部製品との直接的または間接的な接続（間接の場合の例：承認を受けた統合ハブを介するものなど）を希望するお客様は、各接続について別個の Interface ライセンスを購入する必要があります。複数のプロパティを有するお客様は、プロパティごとに、当該プロパティについてその直接および/または間接の接続先として意図されている外部システム/製品の総数に相当するライセンス数を購入する必要があります。

Inventory Location：プログラムによって管理される、アリーナ、スタジアム、コンサート会場またはその他の会場内において、ベンダーが在庫品を保管しておくための専用の物理的な在庫保管場所として定義されます。専用の物理的な在庫保管場所毎に、1 つの Inventory Location としてカウントする必要があります。

1K Investment Accounts：金融機関における 1,000 件分の投資口座であって、対象プログラム内で開設、維持および保管がなされるものとして定義されます。休眠投資口座のいずれも、それが該当の対象プログラムの本番データベース内に存在する限りは、Investment Account とみなされるものとします。ライセンス要件の充足性判断において、閉鎖投資口座は、Investment Account とはみなされないものとします。

Investment Account：金融機関における投資口座であって、対象プログラム内で開設、維持および保管がなされるものとして定義されます。休眠投資口座のいずれも、それが該当の対象プログラムの本番データベース内に存在する限りは、Investment Account とみなされるものとします。ライセンス要件の充足性判断において、閉鎖投資口座は、Investment Account とはみなされないものとします。

1K Invoice Line：12 か月間にプログラムが処理する 1000 請求明細行として定義されます。お客様はオラクルから追加の 1K Invoice Line の使用権を取得せずに、いずれの 12 か月間においても、使用権許諾された 1K Invoice Line 数を超えて処理することはできません。

IPsec Tunnel：1 つの Security Association（SA）である 1 つの Internet Protocol Security（IPsec）トンネル終端として定義されます。ライセンス対象のソフトウェアにおいて何らかの時点で同時に終端する IPsec トンネルの最大数について、ライセンスが必要となります。

IVR Port：音声自動応答装置（Interactive Voice Response system；IVR システム）において処理可能な単一の発信者として定義されます。お客様は、IVR システムにより同時に処理可能な発信者の最大数を表す IVR Port の数に対して、ライセンスを契約しなければなりません。

Oracle Java SE Subscription and Oracle Java SE Desktop Subscription：注文書に記載された期間にわたり該当のメトリックに従って所定の Oracle Java SE Subscription Program を使用できるとともに Oracle Software Update License & Support（所定の Oracle Java SE Subscription Program 限定のもの）を受けることができる権利として定義されます。お客様は、「Java」、「Javax」、「Sun」もしくは「Oracle」としての表示またはこれに類する命名法であって何らかの命名規則にてオラクルにより指定されたものによる表示が何らかの方法で付されたクラス、インターフェースまたはサブパッケージのいずれについても、作成、修正または動作変更を行ってはなりません。お客様の内部的業務処理のために所定の Oracle Java SE Subscription プログラムを使用するためのお客様の権利には、原契約の規定内容を条件として、お客様の Java アプリケーションをクラウド・サービスとして稼働させるために Oracle Java SE Subscription プログラムを使用することも含まれます。疑義を避けるために付言しますと、お客様は、Oracle Java SE Subscription プログラムそれ自体をクラウド・サービスとして提供してはなりません。サブスクリプション期間は、お客様の注文書に別段の定めのない限り、サブスクリプション注文書の発効日より開始します。お客様の注文

が Oracle Store を通じて提出された場合、発効日は、お客様の注文がオラクルにより受諾された日とします。Oracle Software Update License & Support は、対象サービスの提供時点で有効な Oracle Software テクニカル・サポート・ポリシーに基づき提供されます。所定のサブスクリプション期間の終了時に、お客様は、該当のサブスクリプションに対する最新の料金にて、お客様のサブスクリプションを更新することができるものとします（当該サブスクリプションが利用可能な場合に限ります）。お客様がお客様のサブスクリプションを更新しない旨を選択した場合、所定の Oracle Java SE Subscription プログラムを使用するためのお客様の権利は終了するものとし、お客様は、所定の Oracle Java SE Subscription プログラムをアンインストールしなければなりません。

Oracle Java SE Universal Subscription：注文書に記載された期間にわたり該当のメトリックに従って特定の Oracle Java SE Universal Subscription Program を使用することができるとともに Oracle Software Update License & Support（特定の Oracle Java SE Universal Subscription Program 限定のもの）を受けることができる権利として定義されます。お客様は、「Java」、「Javax」、「Sun」もしくは「Oracle」としての表示またはこれに類する命名法であって何らかの命名規則にてオラクルにより指定されたものによる表示が何らかの方法で付されたクラス、インターフェースまたはサブパッケージのいずれについても、作成、修正または動作変更を行ってはなりません。お客様の内部的業務処理のために特定の Oracle Java SE Universal Subscription プログラムを使用するためのお客様の権利には、原契約の規定内容を条件として、お客様の Java アプリケーションをクラウド・サービスとして稼働させるために Oracle Java SE Universal Subscription プログラムを使用することも含まれます。疑義を避けるために付言しますが、Oracle Java SE Universal Subscription プログラムそれ自体をクラウド・サービスとして提供してはなりません。サブスクリプションの期間は、お客様の注文書に別段の定めのない限り、サブスクリプションに関する注文書の発効日より開始します。お客様の注文が Oracle Store を通じてなされる場合、その効力発生日は、オラクルによりお客様の注文が受理された日となります。Oracle Software Update License & Support は、サービスの提供時点で有効な Oracle Software テクニカル・サポート・ポリシーに基づき提供されます。当該サブスクリプション期間の終了時、お客様は、当該サブスクリプションのその時の最新の料金で、お客様のサブスクリプションを更新することができるものとします（当該サブスクリプション・サービスが利用可能な場合に限ります）。お客様がお客様のサブスクリプションを更新しない旨を選択した場合、特定の Oracle Java SE Universal Subscription Program を使用するためのお客様の権利は終了するものとし、お客様は、特定の Oracle Java SE Universal Subscription Program をアンインストールしなければなりません。

$M in Jurisdiction Tax Revenue：許認可当局により収集される収入総額 1 百万米ドル（またはこれに相当する該当の現地通貨建ての金額）分と定義されます。租税収入には、次に掲げる種類の租税、賦課金、許認可料その他の手数料も含まれることがありますが、これらに限定されません。個人所得税、法人所得税、財産税、販売税および総所得額税（アルコール飲料、娯楽施設、保険料、自動車燃料、投票券、タバコ製品その他についての税金も含まれます）、許認可料（アルコール飲料、娯楽施設、法人、狩猟および釣り、動力車、動力車運行、職業ならびに事業についての許認可料も含みます）その他の税金（死因贈与、不動産譲渡および株式譲渡、ならびに退職金についての税金も含みます）。

Kitchen Display Client：注文された品目のステータスの表示および監視に利用されるデバイスとして定義されます。多重化のハードウェアまたはソフトウェア（TP モニター、ウェブ・サーバー製品など）が使用されている場合、その数は、多重化装置のフロント・エンド側で計算しなければなりません。

Learning Credits：http://www.oracle.com/education に掲載されている Oracle University のオンライン・カタログに定める研修製品およびサービスを購入する場合に、同 URL に規定する条件に従って使用することができます。Learning Credits は、お客様が注文する時点で有効なカタログに記載された価格で製品またはサービスを購入する場合にのみ使用することができ、お客様が注文する時点で割引またはプロモーション（キャンペーン等）の対象となっている製品またはサービスには使用できません。カタログに記載された価格は、オラクルがお客様向けに定めた割引が適用された場合には減額されます。前 3 文における別段の定めにかかわらず、Learning Credits は、お客様の注文に関連した税金、媒体代金および/または経費の支払いにも利用できます。ただし、前述の割引は、当該税金、媒体代金および/または経費には適用されません。Learning Credits は、オラクルがお客様の注文を受理した日から 12 か月間有効であり、お客様は、この期間の終了前に製品を購入し、かつ購入したサービスを利用しなければなりません。お客様は、米国その他一切の関連現地法域における輸出管理法規を条件として、Learning Credits を、そのお客様による取得地である世界各地において使用することができるものとし、別の Learning Credits に対する支払方法として使用することはできないものとします。また、単一の製品もしくはサービスを購入するために、または関連する税金、媒体代金および/もしくは経費を支払うために、別個の Learning Credits アカウントを使用することはできません。Learning Credits は、移転および譲渡することができません。Learning Credits を利用して製品またはサービスを注文する場合、お客様に対しオラクルの標準注文書類の締結をお願いする場合があります。

License Subscription：対象プログラムのうち、対象プログラム名に「License Subscription」が含まれるものを対象とするものであって、該当のライセンス・メトリクスに基づき特定の対象プログラムを使用することができるとともに注文書に記載のサービス期間にわたり Oracle Software Update License & Support サービスを受けることのできる権利として定義されます。ライセンス・サブスクリプションは、お客様の注文書に別段の定めのない限り、注文書の発効日より開始します。お客様の注文が Oracle Store を通じてなされる場合、その発効日は、オラクルによりお客様の注文が受理された日となります。Oracle Software Update License & Support サービスは、当該サービスの提供時点で有効な該当のテクニカル・サポート・ポリシーに基づいて提供されます。お客様のライセンス・サブスクリプションの終了時に、お客様は、該当のライセンス・サブスクリプション向けの最新の料金にて、お客様のライセンス・サブスクリプションを更新することができるものとします（当該サブスクリプションが提供可能な場合に限ります）。お客様がお客様のライセンス・サブスクリプションを更新しない旨を選択した場合、対象プログラムを使用するためのお客様の権利は終了するものとし、お客様は、一切のソフトウェア（一切のアプリケーション、ツールおよびバイナリーも含みます）をアンインストールしなければなりません。

Liquidity Account：対象プログラム内で開設、維持、保管または処理がなされる口座として定義されます。Liquidity Account には以下も含みますがこれらに限定されません。当座預金口座、普通預金口座、ノストロ/ボストロ口座、定期預金口座、内部口座、仮想口座およびローン口座。いずれの休眠口座も、それらの休眠口座が該当の対象プログラムの本番データベース内に存在する限りは、Liquidity Account とみなされるものとします。ライセンス要件の充足性判断において、閉鎖口座は、Liquidity Account とはみなされないものとします。該当する対象プログラム内において、Liquidity Account の複数の階層内でアカウントが開かれるまたは維持されるまたは保管されるまたは処理される場合、かかるアカウントは、該当する対象プログラム内における各階層について、別個の Liquidity Account として数えられる必要があります。

Link：1 つの SS7 シグナリング・リンクとして定義されます。

12M LNP Entries：ローカル・ナンバー・ポータビリティ・データベースにおける 12,000,000 のローカル・ナンバー・ポータビリティ（LNP）データベース・エントリとして定義されます。

1K Loan Accounts：1,000 件分の顧客のローン口座またはローン申込書であって、オラクル・プログラムによる作成、追跡もしくは処理の対象となるかまたは同プログラム内に存在するものとして定義されます。お客様の顧客について複数のローン口座またはローン申込書が存する場合、ローン口座およびローン申込書の総数決定に際しては、その各々がカウントの対象となります。

Oracle Banking Retail and SME Loans Servicing Program および Oracle Banking Retail and SME Lines of Credit Servicing Program の目的上、Loan Account とは、顧客ローン口座またはクレジット・ライン口座であって対象プログラム内で開設、維持および保管がなされているものとして定義されます。いずれの貸倒口座も、該当の対象プログラムの本番データベース内に存在する限りは、Loan Account とみなされるものとします。

Loan Account：オラクル・プログラムによる作成、追跡もしくは処理の対象となるかまたは同プログラム内に存在する顧客のローン口座またはローン申込書として定義されます。お客様の顧客について複数のローン口座またはローン申込書が存する場合、ローン口座およびローン申込書の総数決定に際しては、その各々がカウントの対象となります。

Oracle Banking Retail and SME Loan Servicing Program および Oracle Banking Retail and SME Line of Credit Servicing Program の目的上、Loan Account とは、顧客ローン口座またはクレジット・ライン口座であって対象プログラム内で開設、維持および保管がなされているものとして定義されます。いずれの貸倒口座も、該当の対象プログラムの本番データベース内に存在する限りは、Loan Account とみなされるものとします。

8 Low Speed SS7 Signaling Links：8 つの 56 kbps SS7 シグナリング・リンクとして定義されます。

12M LSMS Records：Local Number Portability データベースとインターフェースする 12 百万の Local Service Management System（LSMS）記録として定義されます。

$M in Loan Book Size：1 百万米ドル（またはこれに相当する該当の現地通貨建ての金額）単位で、使用権許諾されたプログラムにおいて管理されているローン・ブックとして定義されます。使用権許諾されたプログラムにおいて管理されているすべてのローン・ブックの合計値は、必要なライセンス数を決定する目的で、カウントされる必要があります。

Oracle Banking Corporate Lending Syndicated Loans プログラムの場合、$M in Loan Book Size とは、1 百万米ドル（またはこれに相当する該当の現地通貨建ての金額）単位で、使用権許諾されたプログラムにおいて管理されているシンジケート・ローンとして定義され、使用権許諾されたプログラムにおいて管理されているすべてのシンジケート・ローンの合計値は、必要なライセンス数を決定する目的で、カウントされる必要があります。

Oracle Banking Enterprise Recovery Program の目的上、$M in Loan Book Size とは、1 百万米ドル（またはこれに相当する該当の現地通貨建ての金額）単位の債務のうち、完全な損失として計上済みであり、ライセンス対象のプログラムにおいて管理される債権ではなくなったものとして定義されます。

$M in Managed Assets：1 百万米ドル（またはこれに相当する該当の現地通貨建ての金額）単位で、以下を合計した金額として定義されます。

(1) キャピタル・リース、直接金融型リースおよびその他ファイナンス・リース（残余価値を含みます）の投資資産の帳簿価額（他者のために所有または管理しているか否か、プログラム上で有効か否かを問いません）

(2) オペレーティング・リース資産の帳簿価額（他者のために所有または管理しているか否か、プログラム上で有効か否かを問いません）

(3) ローン、手形、条件付売買契約およびその他の売上債権の帳簿価額（他者のために所有または管理しているか否か、プログラム上で有効か否かを問いません）

(4) 他者のための所有または管理し、過去にリースされ、プログラム上で有効であった非収益資産の帳簿価額（リース期間が満了した資産および再取得した資産を含みます）

(5) プログラム上で作成され有効な、過去 12 か月以内に売却されたリースおよびローンの対象となっている資産の取得原価

Managed Device：Oracle Communications Configuration Management application Program を介して管理されるデバイスとして定義されます。

1K in Managed Resources：プログラムが管理する 1,000 のエンティティ（アカウント、IP アドレス、RADIUS ユーザー・プロファイル、ENUM E.164 電話番号、サブスクライバー・エンドポイント、管理ストリートアドレスおよび個人の電話番号）として定義されます。

Oracle Communications Logical Device Account Management Program の場合、管理リソースとは、電話番号、電子メールアドレス等の個人を特定するアカウントを指します。

Oracle Communications Internet Name and Address Management の場合、管理リソースとは、Oracle Communications Internet Name and Address Management Program が管理する IP アドレスを指します。

Oracle Communications Telephone Number Management Program の場合、管理リソースは、単一に管理された電話番号を指します。

Managed Resource：

Oracle Communications IP Management Program の場合、Managed Resource とは、プログラムにより管理されるエンティティ（アカウント、IP アドレス、ENUM E.164 電話番号、サブスクライバー・エンドポイント、管理対象住所、個人電話番号およびメディア・ストリーム）として定義されます。

Oracle Communications Media Stream Management Program の場合、Managed Resource とは、ビデオ、オーディオその他のメディア・コンテンツのうち、(a) ケーブル、モバイル、衛星またはインターネット・インフラストラクチャーを通じて配信されるもので、かつ (b) プログラムにより管理されるものとして定義されます。

Oracle Fusion Project Resource Management Program および Oracle Fusion Territory Management Program の場合、Managed Resource とは、任意の一時点において、実際に使用しているか否かにかかわらず、1 台または複数のサーバーにインストールされたプログラムを使用する権限をお客様が付与している特定の個人として定義されます。加えて、プログラムにより管理されているお客様の従業員、契約社員、パートナーおよびその他の個人または法人は、必要な Managed Resource ライセンスの数を決定する場合において、カウントの対象となります。

Market：ある国もしくは州またはその一部分としての単一の独立した地域であって、電気、ガスまたは水道の自由化された販売の観点で同様の他の地域とは区別されているものとして定義されます。

Megabits per Second：ピーク時のデータ伝送システムにおける機器間の 1 秒当たりのビット、文字、またはブロックの平均値として定義されます。

1K Messages per Second：受信者に対するコンテンツの送配信の完了にとって必要とされる情報を含んだエンベロープから各々構成される 1,000 件までのメッセージとして定義されます。最繁 15 分間に送受信されたメッセージの総数を 900 秒で割ったものを、カウントする必要があります。

10K Messages：10K 単位で、12 か月の期間中、やりとりされるメッセージとして定義されます。

Member Record：プログラムで管理される、一意のカスタマー・ロイヤリティ・プログラム（例：顧客へのポイントサービス）の Member Record として定義されます。100K Member Records は、10 万 Member Record となります。

Merchandise：消費者製品の一意のアイテムまたは SKU として定義されます。

Merchant：ウェブ・ベースのポータルを経由し、自社顧客に対しオンライン支払サービスを提供する、金融機関のパートナー企業として定義されます。

Message per Second (MPS)：メッセージ・コンテンツを受信者に送配信するために必要な情報を含んだエンベロープで構成される各メッセージの最大値として定義されます。最繁期間における 30 秒間での平均値として、受信または送信を問わずすべてのメッセージをカウントする必要があります。

Module：プログラムが稼働する各本番環境データベースとして定義されます。

Molecular Report：オラクル・プログラム内で、部分的なワークフローまたはフル・ワークフローを使用して作成された分析レポートをいいます。12 か月の期間中、オラクル・プログラムにおいて作成される Molecular Report の合計数が、購入数を超える場合、追加の Molecular Report を購入する必要があります。

Monitored User：任意の一時点において、実際に監視されているか否かにかかわらず、1 台または複数のサーバーにインストールされた Analytics プログラムによって監視される特定の個人として定義されます。Named User Plus 単位または Application User 単位で使用権許諾されている Analytics プログラムの各ユーザーは、Monitored User 単位では使用権許諾されません。Usage Accelerator Analytics プログラムにおいては、お客様が使用権許諾されている CRM Sales Application プログラムのすべてのユーザーは、Monitored User 単位で使用権許諾されなければなりません。Human Resources Compensation Analytics プログラムにおいては、お客様の全従業員は、Monitored User 単位で使用権許諾されなければなりません。

以下の Oracle Governance, Risk, and Compliance Application において、Monitored User 数は、E-Business Suite の User Administration 機能で作成/定義され、プログラムによって監視される一意の E-Business Suite ユーザー（個人）の総数と同じになります。iProcurement および/または Self-Service Human Resources のユーザーは含みません。

・Application Access Controls Governor

・Application Access Controls for E-Business Suite

・Configuration Controls Governor

・Configuration Controls for E-Business Suite

・Transaction Controls Governor

・Preventive Controls Governor

・Governance, Risk, and Compliance Controls Suite

以下の PeopleSoft Enterprise Governance, Risk, and Compliance Application において、Monitored User 数は、対象製品が監視する一意の PeopleSoft Enterprise （または、その他すべてのカスタム・アプリケーション/プログラム）ユーザー（個人）の総数と同じになります。

・Application Access Controls Governor

・Application Access Controls for PeopleSoft Enterprise

・Configuration Controls Governor

・Configuration Controls for PeopleSoft Enterprise

MySQL Cluster Carrier Grade Edition Annual Subscription, MySQL Enterprise Edition Annual Subscription and MySQL Standard Edition Annual Subscription：該当するライセンス・メトリクスに従って特定の対象プログラムを使用し、注文において指定された期間において特定の対象プログラムおよび MySQL Community Edition に対する Oracle Software Update License & Support を受ける権利として定義されます。MySQL Community Edition とは、GPL（General Public License）に基づき使用権許諾された MySQL をいいます。MySQL Community Edition に対する Software Update License & Support には、いかなる種類の更新も含まれないものとします。サブスクリプション期間は、お客様の注文書に別段の定めのない限り、サブスクリプション注文書の発効日より開始します。お客様の注文が Oracle Store を通じてなされる場合、その発効日は、オラクルによりお客様の注文が受理された日となります。Oracle Software Update License & Support サービスは、当該サービスの提供時点で有効な該当のテクニカル・サポート・ポリシーに基づいて提供されます。お客様は、MySQL Cluster Carrier Grade Edition、MySQL Enterprise Edition および/または MySQL Standard Edition が導入されているすべてのサーバーについてサブスクリプション・ライセンスを入手しなければなりません。MySQL Community Edition のデプロイ先であるサーバーについてお客様が Oracle Software Update License & Support サービスを取得した場合、お客様は、お客様による Oracle Software Update License & Support サービスの取得目的である当該サーバーのすべてについて、サブスクリプション・ライセンスも購入する必要があります。お客様は、いかなるレベル（例えば、MySQL Cluster Carrier Grade Edition レベル、MySQL Enterprise Edition レベルおよび/または MySQL Standard Edition レベル）でも、MySQL Community Edition のサブスクリプション・ライセンスについて、Oracle Software Update License & Support サービスを取得することができます。所定期間の終了時に、お客様は、該当のサブスクリプションについての最新の料金にて、お客様のサブスクリプションを更新することができるものとします（当該サブスクリプションが利用可能な場合に限ります）。お客様がそのサブスクリプションを更新しなかった場合、対象プログラムを使用するためのお客様の権利は終了し、お客様は、該当する non-Community Edition ライセンス（例：MySQL Cluster Carrier Grade Edition、MySQL Enterprise Edition、および/または MySQL Standard Edition のライセンス）に基づきお客様に提供されたすべてのアプリケーション、ツールおよびバイナリーを削除しなければなりません。オラクルの書面による要請により、お客様はオラクルに対し、お客様が前文に定める削除義務を遵守したことを検証する書面を提出するものとします。お客様がサブスクリプションを更新しない場合、お客様はいかなる更新（パッチまたはその後のバージョン等）も受領できません。

Named Developer：任意の一時点において、実際に使用しているか否かにかかわらず、複数のサーバーにインストールされたプログラムを使用する権限をお客様が付与している特定の個人として定義されます。Named Developer は、プログラムおよびドキュメントについて、作成、変更、閲覧および操作を行うことができます。

Named User Plus（Technology プログラム以外）：任意の一時点において、実際に使用しているか否かにかかわらず、1 台または複数のサーバーにインストールされた対象プログラムを使用する権限をお客様が付与している特定の個人として定義されます。対象プログラムを使用する権限を付与されたすべての個人に加え、人が直接操作しないような装置であっても、当該装置が対象プログラムにアクセスできる場合には、Named User Plus としてカウントされます。多重化したハードウェアまたはソフトウェア（TP モニター、ウェブ・サーバー製品等）が使用されている場合、Named User Plus 数は、多重化した当該ハードウェアまたはソフトウェアのフロント・エンド側（多重化したハードウェア/ソフトウェアに接続するユーザーおよび装置の総数）で計算しなければなりません。コンピューター間のデータの自動バッチ処理は認められています（Named User Plus の総数に含める必要はありません）。お客様は、Licensing Rules セクションの最少ユーザー数の一覧表に含まれる対象プログラムに関しては、プロセッサーあたりの Named User Plus の最少ユーザー数が維持されるよう保証する責任を負います。最少ユーザー数の一覧表は、必要とされる Named Users Plus の最少数を定めたものであり、実際のユーザーのすべてが、使用権許諾の対象となっている必要があります。

(1) 以下の対象プログラムにおいて、必要な Named User Plus のライセンス数を決定する場合は、（以下の対象プログラムが）管理または監視対象とする対象プログラムのユーザー数のみをカウントします。

・Configuration Management Pack for Applications

・System Monitoring Plug-in for Non-Oracle Databases

・System Monitoring Plug-in for Non-Oracle Middleware

・Management Pack for Non-Oracle Middleware

・Management Pack for WebCenter Suite

(2) 以下の対象プログラムにおいて、必要な Named User Plus のライセンス数を決定する場合は、エミュレートされた実ユーザーと、人が直接操作しないような装置が、それぞれ Virtual User とみなされ、カウントの対象となります。

・Load Testing

・Load Testing Developer Edition

・Load Testing Accelerator for Web Services

・Load Testing Accelerator for Oracle Database

・Load Testing Suite for Oracle Applications

・Oracle Test Starter Kit for Utilities（Load Testing）

(3) 以下の対象プログラムでは、必要なライセンス数を決定する場合は、マスキング済みのデータまたはデータ・サブセットの生成元であるすべてのデータベース・サーバーをカウントしなければなりません。マスキング済のデータまたはデータ・サブセットのコピー先であるデータベース・サーバーは、必要なライセンス数を決定する目的においてカウントする必要はありません。

・Data Masking and Subsetting Pack

(4) 以下の対象プログラムにおいて、必要なライセンス数を決定する場合は、それぞれ管理されている対象プログラムのすべてのユーザーをカウントしなければなりません。

・Application Management Suite for Oracle E-Business Suite

・Application Management Suite for PeopleSoft

・Application Management Suite for Siebel

・Application Management Suite for JD Edwards EnterpriseOne

・Real User Experience Insight

・Application Replay Pack

(5) Oracle GoldenGate および Oracle GoldenGate for Oracle Applications において、必要なライセンス数を決定する場合は、(a) お客様がデータを入手するデータベースのユーザーおよび (b) お客様がデータを適用するデータベースのユーザーのみ、カウントしなければなりません。

(6) Oracle GoldenGate for Big Data および Oracle GoldenGate for Big Data Targets において、必要なライセンス数を決定する場合は、お客様がデータを入手するオラクル・データベース、他社製データベースまたは NoSQL リポジトリーのユーザーのみ、カウントしなければなりません。お客様がデータを入手するメッセージング・システムにおいては、すべてのキュー/トピックをユーザーとしてカウントします。マルチソース・データベース、NoSQL リポジトリーまたはメッセージング・システムにおいては、すべてのソースに関するすべてのユーザーをカウントしなければなりません。

(7) Oracle GoldenGate for Distributed Applications and Analytics において、必要なライセンス数を決定する場合には、お客様によるデータ取り込みのソースたるオラクル製または非オラクル製のデータベースまたは NoSQL リポジトリーのユーザーのみをカウントしなければなりません。お客様によるデータ取り込みのソースたるメッセージング・システムのいずれについても、すべてのキュー/トピックがユーザーとしてカウントされます。Oracle Transaction Manager for Microservices Enterprise Edition Program の使用のいずれにおいても、1 つの参加アプリケーション・サービスごとに 5 Named User Plus ユーザーとしてカウントされます。参加アプリケーション・サービス、ソースたるデータベース・NoSQL リポジトリーまたはメッセージング・システムが複数ある場合には、すべてのソースのすべてのユーザーをカウントしなければなりません。

(8) Oracle GoldenGate for Mainframe および Oracle GoldenGate for Teradata Replication Services において、必要なライセンス数を決定する場合は、(a) お客様がデータを入手するデータベースのユーザーおよび (b) お客様がデータを適用するデータベースのユーザーのみ、カウントしなければなりません。

(9) Oracle GoldenGate for Non Oracle Database において、必要なライセンス数を決定する場合は、(a) お客様がデータを入手するデータベースのユーザーおよび (b) お客様がデータを適用するデータベースのユーザーのみ、カウントしなければなりません。

(10) Data Integrator Enterprise Edition および Data Integrator Enterprise Edition for Oracle Application において、必要なライセンス数を決定する場合は、データ変換プロセスを実行しているまたはそれにアクセスしているユーザーのみ、カウントしなければなりません。

(11) Oracle Mobile Suite Client Runtime および Mobile Application Framework において、必要なライセンス数を決定する場合は、Application Developed の構築にどのモバイル・アプリケーション開発ツールやフレームワークを使用したかにかかわらず、各 Application Developed のエンドユーザーのみ、カウントしなければなりません。

(12) Audit Vault and Database Firewall において、必要なライセンス数を決定する場合は、保護され、監視され、または監査されるソースのユーザーのみ、カウントしなければなりません。

(13) Java SE Desktop Subscription において、「サーバー」という用語は、デスクトップ・コンピューターをいいます。

Named User Plus（Technology プログラム用）：任意の一時点において、実際に使用しているか否かにかかわらず、1 台のサーバーにインストールされた対象プログラムを使用する権限をお客様が付与している特定の個人として定義されます。対象プログラムを使用する権限を付与されたすべての個人に加え、人が直接操作しないような装置であっても、当該装置が対象プログラムにアクセスできる場合には、Named User Plus としてカウントされます。多重化したハードウェアまたはソフトウェア（TP モニター、ウェブ・サーバー製品等）が使用されている場合、Named User Plus 数は、多重化した当該ハードウェアまたはソフトウェアのフロント・エンド側（多重化したハードウェア/ソフトウェアに接続するユーザーおよび装置の総数）で計算しなければなりません。コンピューター間のデータの自動バッチ処理は認められています（Named User Plus の総数に含める必要はありません）。お客様は、Licensing Rules セクションの最少ユーザー数の一覧表に含まれる対象プログラムに関しては、プロセッサーあたりの Named User Plus の最少ユーザー数が維持されるよう保証する責任を負います。最少ユーザー数の一覧表は、必要とされる Named Users Plus の最少数を定めたものであり、実際のユーザーのすべてが、使用権許諾の対象となっている必要があります。

(1) 以下の対象プログラムにおいて、必要な Named User Plus のライセンス数を決定する場合は、（以下の対象プログラムが）管理または監視対象とする対象プログラムのユーザー数のみをカウントします。

・Configuration Management Pack for Applications

・System Monitoring Plug-in for Non-Oracle Databases

・System Monitoring Plug-in for Non-Oracle Middleware

・Management Pack for Non-Oracle Middleware

・Management Pack for WebCenter Suite

(2) 以下の対象プログラムにおいて、必要な Named User Plus のライセンス数を決定する場合は、エミュレートされた実ユーザーと、人が直接操作しないような装置が、それぞれ Virtual User とみなされ、カウントの対象となります。

・Load Testing

・Load Testing Developer Edition

・Load Testing Accelerator for Web Services

・Load Testing Accelerator for Oracle Database

・Load Testing Suite for Oracle Applications

・Oracle Test Starter Kit for Utilities（Load Testing）

(3) 以下の対象プログラムでは、必要なライセンス数を決定する場合は、マスキング済みのデータまたはデータ・サブセットの生成元であるすべてのデータベース・サーバーをカウントしなければなりません。マスキング済のデータまたはデータ・サブセットのコピー先であるデータベース・サーバーは、必要なライセンス数を決定する目的においてカウントする必要はありません。

・Data Masking and Subsetting Pack

(4) 以下の対象プログラムにおいて、必要なライセンス数を決定する場合は、それぞれ管理されている対象プログラムのすべてのユーザーをカウントしなければなりません。

・Application Management Suite for Oracle E-Business Suite

・Application Management Suite for PeopleSoft

・Application Management Suite for Siebel

・Application Management Suite for JD Edwards EnterpriseOne

・Real User Experience Insight

・Application Replay Pack

(5) Oracle GoldenGate および Oracle GoldenGate for Oracle Applications において、必要なライセンス数を決定する場合は、(a) お客様がデータを入手するデータベースのユーザーおよび (b) お客様がデータを適用するデータベースのユーザーのみ、カウントしなければなりません。

(6) Oracle GoldenGate for Big Data および Oracle GoldenGate for Big Data Targets において、必要なライセンス数を決定する場合は、お客様がデータを入手するオラクル・データベース、他社製データベースまたは NoSQL リポジトリーのユーザーのみ、カウントしなければなりません。お客様がデータを入手するメッセージング・システムにおいては、すべてのキュー/トピックをユーザーとしてカウントします。マルチソース・データベース、NoSQL リポジトリーまたはメッセージング・システムにおいては、すべてのソースに関するすべてのユーザーをカウントしなければなりません。

(7) Oracle GoldenGate for Distributed Applications and Analytics において、必要なライセンス数を決定する場合には、お客様によるデータ取り込みのソースたるオラクル製または非オラクル製のデータベースまたは NoSQL リポジトリーのユーザーのみをカウントしなければなりません。お客様によるデータ取り込みのソースたるメッセージング・システムのいずれについても、すべてのキュー/トピックがユーザーとしてカウントされます。Oracle Transaction Manager for Microservices Enterprise Edition Program の使用のいずれにおいても、1 つの参加アプリケーション・サービスごとに 5 Named User Plus ユーザーとしてカウントされます。参加アプリケーション・サービス、ソースたるデータベース・NoSQL リポジトリーまたはメッセージング・システムが複数ある場合には、すべてのソースのすべてのユーザーをカウントしなければなりません。

(8) Oracle GoldenGate for Mainframe および Oracle GoldenGate for Teradata Replication Services において、必要なライセンス数を決定する場合は、(a) お客様がデータを入手するデータベースのユーザーおよび (b) お客様がデータを適用するデータベースのユーザーのみ、カウントしなければなりません。

(9) Oracle GoldenGate for Non Oracle Database において、必要なライセンス数を決定する場合は、(a) お客様がデータを入手するデータベースのユーザーおよび (b) お客様がデータを適用するデータベースのユーザーのみ、カウントしなければなりません。

(10) Data Integrator Enterprise Edition および Data Integrator Enterprise Edition for Oracle Application において、必要なライセンス数を決定する場合は、データ変換プロセスを実行しているまたはそれにアクセスしているユーザーのみ、カウントしなければなりません。

(11) Oracle Mobile Suite Client Runtime および Mobile Application Framework において、必要なライセンス数を決定する場合は、Application Developed の構築にどのモバイル・アプリケーション開発ツールやフレームワークを使用したかにかかわらず、各 Application Developed のエンドユーザーのみ、カウントしなければなりません。

(12) Audit Vault and Database Firewall において、必要なライセンス数を決定する場合は、保護され、監視され、または監査されるソースのユーザーのみ、カウントしなければなりません。

(13) Java SE Desktop Subscription において、「サーバー」という用語は、デスクトップ・コンピューターをいいます。

Named Workstation User：任意の一時点において、対象プログラムを実際に使用しているか否かにかかわらず、1 台または複数台のサーバーにインストールされた対象プログラムを使用する権限をお客様が付与している特定の個人として定義されます。

Oracle VirtualBox Enterprise プログラムでは、Named Workstation User 使用権許諾は、1 名の指名ユーザーのみが Oracle VirtualBox Enterprise の使用または Oracle VirtualBox Enterprise における仮想マシンへの接続を行う単一ソケット・デバイスに限り、適用できます。対象プログラムを使用する権限を付与されたすべての個人に加え、人手による操作の不要なデバイスについても、当該デバイスが対象プログラムにアクセスできる場合には、指定ワークステーション・ユーザーとしてカウントされます。多重化機能を備えたハードウェアまたはソフトウェア（TP モニター、ウェブ・サーバー製品など）が使用されている場合、その数は、多重化フロント・エンドを基に計算しなければなりません。コンピューター間のデータの自動バッチ処理は認められています。

1K Network Access Sessions：(1) 1 つのユーザー・エンドポイントまたはデバイス、および (2) 1 つの構成管理プラットフォーム（CMP）ノードで管理される 1 つの IPv4 および/または 1 つの IPv6 アドレスによって認識される IP ネットワーク間での 1,000 の同時アソシエーションとして定義されます。アソシエーションは、一日の最繁時間帯に 5 分間隔の最大同時アソシエーションの平均値に基づいて測定します。

Network：特定タイプのシグナリングメッセージをオペレーターが処理するために論理的にグループ化されたシグナリング・ノードとして定義されます。

Oracle Communications Policy Management Program の場合、Network とは、Configuration Management Platform（CMP）と呼ばれるかまたは Policy Control Function（PCF）の場合においては Configuration Management サービスと呼ばれる単一のエレメント管理インスタンス一式で管理されるすべてのコンポーネントとして定義されます。

Network Device：コンピューター間およびコンピューター・ネットワーク間の通信経路の決定および通信管理を主目的とするハードウェアおよび/またはソフトウェアとして定義されます。Network Device の例としては、ルーター、ファイアウォール、ネットワーク・ロード・バランサーが含まれますが、これらに限定されません。

Network License Subscription：対象プログラムのうちその対象プログラム名に「Network License Subscription」が含まれているものを対象とするものであって、該当のライセンス・メトリクスに基づき所定の対象プログラムを使用することができるとともに注文書に記載のサービス期間にわたり Oracle Communications Network Software Premier Support サービスを受けることのできる権利として定義されます。ネットワーク・ライセンス・サブスクリプションは、お客様の注文書に別段の定めのない限り、注文書の発効日より開始します。お客様の注文が Oracle Store を通じてなされる場合、その発効日は、オラクルによりお客様の注文が受理された日となります。Oracle Communications Network Software Premier Support サービスは、当該対象サービスの提供時点で有効な該当のテクニカル・サポート・ポリシーに基づいて提供されます。お客様のネットワーク・ライセンス・サブスクリプションの終了時に、お客様は、該当のネットワーク・ライセンス・サブスクリプション向けの最新の料金にて、お客様のネットワーク・ライセンス・サブスクリプションを更新することができるものとします（当該サブスクリプションが提供可能な場合に限ります）。お客様がお客様のネットワーク・ライセンス・サブスクリプションを更新しない旨を選択した場合、対象プログラムを使用するためのお客様の権利は終了するものとし、お客様は、一切のソフトウェア（一切のアプリケーション、ツールおよびバイナリーも含みます）をアンインストールしなければなりません。

Network-Wide 20K Endpoints：一意のインターネット・プロトコル（IP）およびポートの組み合わせにより識別される各ユーザー・デバイスを有する、最大 20,000 台の個人ユーザー・デバイスとして定義されます。サブスクライバーが複数のユーザー・デバイスを所有している場合、各ユーザー・デバイスをエンドポイントとしてカウントする必要があります。単一のネットワーク管理ドメイン内におけるライセンス対象のプログラム全体にわたり少なくとも最繁時 15 分間毎に測定された 20K Endpoints の最大数を、カウントする必要があります。

Network-Wide 20K Concurrent Endpoints：20,000 台までの個別ユーザー・デバイスであって、一意のインターネット・プロトコル（IP）およびポートの組み合わせにより個々のユーザー・デバイスが識別されるものとして定義されます。サブスクライバーが複数のユーザー・デバイスを所有している場合、各ユーザー・デバイスをエンドポイントとしてカウントする必要があります。単一のネットワーク管理ドメイン内におけるライセンス対象のプログラム全体にわたり少なくとも最繁時 15 分間毎に測定された 20K 同時エンドポイントの最大数を、カウントする必要があります。

Network-Wide Concurrent Endpoint：一意のインターネット・プロトコル（IP）およびポートの組み合わせにより識別される個別ユーザー・デバイスとして定義されます。サブスクライバーが複数のユーザー・デバイスを所有している場合、各固有ユーザー・デバイスをエンドポイントとしてカウントする必要があります。単一のネットワーク管理ドメイン内におけるライセンス対象のプログラム全体にわたり少なくとも最繁時 15 分間毎に測定された同時エンドポイントの最大数を、カウントする必要があります。

5K Network-Wide Concurrent Sessions：2 つ以上のエンドポイント間での最大 5,000 の同時ステートフル diameter メッセージ交換（セッション）として定義されます。最繁時に 5 分間隔で 1 つのネットワーク運用、アラームおよび測定（OAM）ノードによって管理されたシグナリング・ノード全体の同時セッションの最大数をカウントする必要があります。

Network-Wide Concurrent Session：次に該当する確立された仮想接続（メディア・アンカリングの有無を問いません）として定義されます。(a) サブスクライバー・デバイスまたはネットワーク・スイッチング機器である 2 つのエンドポイント間におけるもので、かつ (b) ネットワーク内でライセンス対象のプログラムを同時にトラバースするもの。たとえば、1 つの仮想接続が複数の SBC を通過する場合、各仮想接続は、そのトラバース対象である SBC ごとに Network-Wide Concurrent Session としてカウントする必要があります。単一のネットワーク管理ドメイン内におけるライセンス対象のプログラム全体にわたり少なくとも最繁時 15 分間毎に測定された同時セッションの最大数を、カウントする必要があります。

Oracle Communications Session Border Controller - SRTP プログラムの場合、メディア・アンカリング有りの各コール・レグおよびネゴシエーションを行う Secure Real-Time Transport Protocol を、Network-Wide Concurrent Session としてカウントする必要があります。

Oracle Communications Session Border Controller - MSRP B2BUA プログラムの場合、メディア・アンカリング有りの各同時セッションおよびネゴシエーションを行う Message Session Relay Protocol を、Network-Wide Concurrent Session としてカウントする必要があります。

Network-Wide Concurrent Tunnel：1 つのネットワーク・プロトコル（配信プロトコル）が他のネットワーク・プロトコル（ペイロード・プロトコル）をカプセル化する 1 つの接続を指します。単一のネットワーク管理ドメイン内におけるライセンス対象のプログラムで終端する少なくとも最繁時 15 分間毎に測定された同時トンネルの最大数を、カウントする必要があります。

100 Network-Wide Messages per Second：メッセージのコンテンツを受信者に送配信するために必要な情報を含むエンベロープから成る 100 メッセージとして定義されます。最繁使用時に 5 分間隔で、1 つのネットワーク Operations, Alarms and Measurements（OAM）ノードで管理されるすべてのシグナリング・ノード全体で受信したメッセージのうち (i) 転送もしくは破棄、(ii) コピーおよび/または (iii) リルートの対象となったものの総数を、300 秒で割ったうえで、カウントする必要があります。

Network-Wide Message per Second：エンベロープから成る 1 件のメッセージとして定義され、各エンベロープには、エンベロープのコンテンツを受信者に送配信するために必要な情報が含まれます。

Oracle Communications Diameter Signaling Router Program の場合、単一のネットワーク Operations, Alarms and Measurements（OAM）ノードにより管理されるシグナリング・ノード全体で最繁時 5 分間で（i）転送もしくは破棄、（ii）コピー、および/または（iii）再ルーティングがなされた送受信メッセージの総数を 300 秒で割ったものを、カウントする必要があります。

Oracle Communications Session Router および Oracle Communications Enterprise Session Router, Transaction Stateful Programs の場合、最繁時 15 分間で送受信されたメッセージの総数を 900 秒で割ったものを、カウントする必要があります。

Oracle Communications Converged Application Server Program, Enterprise Edition および Oracle Communications Converged Application Server Program, Carrier Edition の場合、Network-Wide Message per Second とは、1 法的団体内で最もビジーな状態の 30 秒間に送受信された SIP および Diameter プロトコル・メッセージの発着信の総数を 30 で割ったものとして定義されます。外部ネットワーク・エレメントとの接続の確立および維持を目的として送受信されるメッセージについては、カウントされません。各法的団体は、Network-Wide Messages per Second について別途許諾される必要があります。

Oracle Communications Converged Application Server, Expanded Protocols, Carrier Edition および Oracle Communications Converged Application Server, Expanded Protocols, Enterprise Edition Programs の場合、Network-Wide Message per Second とは、（i）第三者のアプリケーションおよび/またはサービスによって開始される、およびこれに送信される API（REST、SOAP）および http(s)メッセージの総数、および（ii）1 法的団体内で最もビジーな状態の 30 秒間に送受信された SIP および Diameter プロトコル・メッセージの発着信の総数を 30 で割ったものとして定義されます。外部ネットワーク・エレメントまたは可観測性ツールとの接続の確立および維持を目的として送受信されるメッセージについては、カウントされません。各法的団体は、Network-Wide Messages per Second について別途許諾される必要があります。

Oracle Communications Network Analytics Data Programs の場合、最繁時 5 分間に各データ・ディレクター・インスタンスで受信したメッセージの総数を 300 秒で割ったものを、カウントする必要があります。

Network-Wide 1K Tunnels：1 つのネットワーク・プロトコル（配信プロトコル）が他のネットワーク・プロトコル（ペイロード・プロトコル）をカプセル化する最大 1000 の接続（トンネル）として定義されます。単一のネットワーク管理ドメイン内におけるライセンス対象のプログラムで登録される少なくとも最繁時 15 分間毎に測定された 1K トンネルの最大数を、カウントする必要があります。

1K in Nodes：Oracle Unified Inventory Management application Program ネットワーク内の 1,000 の記録として定義されます。記録が場所、顧客、デバイス、ネットワークまたは終了を示す場合があります。

Node：1 台の運用、アラームおよび測定（OAM）機能により管理されているサーバー一式として定義されます。

Oracle Communications Unified Assurance プログラムの目的上、「Node」とは、物理サーバーまたは仮想サーバーにおいて動作するソフトウェアの単一コピーをいいます。疑義を避けるために付言しますと、個々のサーバー上で動作する Node が複数ある場合もあります。

Non Employee User - External：任意の一時点において、実際に使用しているか否かにかかわらず、1 台または複数のサーバーにインストールされたプログラムを使用する権限をお客様が付与している特定の個人（お客様の従業員、契約社員、業務委託者を除きます）として定義されます。

1000 Number Range Entries：1,000 件分の Local Number Portability 番号範囲として定義されます。

330K Number Planning Area Entries：北米における電話番号の地域局番（エリア・コード）と最初の 3 桁（オフィス・コード）との組み合わせ 330,000 件分として定義されます。

Oracle Financing Contract：お客様とオラクル（またはオラクルの関連会社）の間で取り交わす契約であって、お客様の注文に基づきオラクルに支払うべき金額の一部または全部の長期間の支払について定めるものをいいます。

Order Line：12 か月間にプログラムが処理する受注明細行の総数として定義されます。個別のお客様の受注や見積もりの一部として複数の受注明細行の入力も可能です。また、Oracle Configurator で複数の受注明細行を自動的に作成することも可能です。お客様はオラクルから追加の Order Line の使用権を取得せずに、いずれの 12 か月間においても、使用権許諾された Order Line 数を超えて処理することはできません。

1,000 Page Views：1 Page View が、ウェブサイトの特定のページに一意のインターネット・ユーザーが 1 回訪問することを意味する場合に、1 月あたり 1000 件単位の Page View として定義されます。

Partner Organization：開発、マーケティングや販売など付加価値サービスを提供する外部の第三者企業として定義されます。業種のタイプにより、Partner Organization の役割および名称（例えば、再販業者、ディストリビューター、代理店、ディーラーまたはブローカー等）が異なります。

Party：一意当事者識別番号により指定される一意の当事者であってプログラムにおいて維持および/または保管がなされている個々のものとして定義されます。Party の例としては、見込み顧客、個人、信託、組織、エージェント、仲介者、代理人、保証人、連署人、自然人および/または法人であってその人口統計その他の関連詳細情報の登録が必要とされるものも挙げられますが、これらに限定されません。

Person：お客様の組織の、現職の従業員および契約社員、システムで管理されている 1 つ以上の給付金制度（例えば、年金制度等）の権利を持つとともにシステム経由で受給を継続している元従業員として定義されます。Project Resource Management の場合、プロジェクトに予定されている個人として定義されます。必要な使用権の総数は、対象のシステムに履歴が登録される常勤および非常勤従業員の最大数に基づきます。

Physical Server：プログラムがインストールされる物理的なサーバーとして定義されます。

PIN Entry Device（PED）：デビット、クレジットまたはスマート・カードを利用した取引において、カード所有者の個人情報番号（PIN）を受領し暗号化するために利用される電子的なハードウェア・デバイスとして定義されます。

Ported Number：エンドユーザーが通信事業者を別の事業者に変更しても、そのまま変更せずに使用できる電話番号として定義されます。ある電話交換設備に属していたその電話番号は、別の電話交換設備の電話番号として移行されます。

POS Client：販売処理、またはワークステーション・レポート、キャッシュ・マネージメント、エンゲージメント、テーブル・マネージメント、もしくはマネージャー・オペレーションのような関連するエンドユーザー機能のすべてを記録するように設計されたデバイスとして定義されます。多重化のハードウェアまたはソフトウェア（TP モニター、ウェブ・サーバー製品など）が使用されている場合、当該数は、多重化装置のフロント・エンド側で計算しなければなりません。

Oracle Hospitality Guest Access POS and Device Client Program において、POS Client は、ゲスト・アクセスの管理方法であり、プログラムにより管理されるターンスタイル改札口、ゲート、スイング・ドアを含みますがこれらに限定されません。それぞれのゲスト・アクセスの管理方法に対し、必要なライセンス数を決定するためには、入場時と出場時の両方をカウントする必要があります。例えば、各改札口は、2 つの POS Clients（1 つは入場、もう 1 つは出場）としてカウントする必要があります。

Product Offering：金融機関がプログラム内で設定し維持し保管する金融商品として定義されます。終了した金融商品は、ライセンス目的の数量としてはカウントされません。

Banking Enterprise Product Manufacturing for Deposits Program の場合、Product Offering には、口座金融商品、貯蓄口座金融商品、および定期預金金融商品を含みますがこれらに限定されません。

Oracle Banking Enterprise Product Manufacturing for Loans Program の場合、Product Offering とは、ローン金融商品として定義されます。

Oracle Banking Enterprise Product Manufacturing for Credit Cards Program の場合、Product Offering には、クレジット・カード金融商品、またはクレジット・カード類の金融商品を含みますがこれらに限定されません。

Oracle Banking Enterprise Product Manufacturing for Insurance Program の場合、Product Offering には、消費者金融向け保険金融商品、住宅ローン融資会社向け保険金融商品、および財務リスクをカバーするためのその他の金融商品を含みますがこれらに限定されません。

Processor：対象プログラムがインストールされおよび/または稼働しているサーバー上のすべてのプロセッサーとして定義されます。Processor 単位で使用権許諾された対象プログラムは、お客様の社内のユーザー（代理人や契約社員を含む）およびお客様の（業務を遂行する）ために使用する第三者たるユーザーにより、アクセス可能です。必要となるライセンスの数は、プロセッサーのコアの総数に、http://oracle.com/contracts よりアクセス可能な Oracle Processor Core Factor Table に記載されているプロセッサーのコアの係数（以下「コア係数」といいます）を乗じて決定されます。使用権許諾された各対象プログラムのためのすべてのマルチコア・チップ上に搭載されているコアの総数は、当該プロセッサーの適切なコア係数を乗じる前に合計するものとし、（係数を乗じた後に生じた）端数はすべて切り上げるものとします。ただし、（WebCenter Enterprise Capture Standard Edition、Java SE Subscription、Java SE Universal Subscription、Java SE Advanced および Java SE Suite を除く）製品の名称の中に Standard Edition 2、Standard Edition One または Standard Edition を含むプログラムが使用権許諾される場合、プロセッサーの数は、プロセッサーが搭載されたソケットの数に相当します。また、マルチチップ・モジュールの場合には、マルチチップ・モジュール上の各チップを、プロセッサーが搭載された 1 つのソケットとしてカウントします。

例えば、対象プログラムがインストールされおよび/または稼働するサーバーが 6 コアを有し、コア係数が 0.25 のマルチコア・プロセッサーの場合には、2 プロセッサー分のライセンスが必要となります（6 コア× 0.25 ＝1.50 小数点以下切り上げ：2 プロセッサー）。別の例として、対象プログラムがインストールされおよび/または稼働するサーバーが、Oracle Processor Core Factor Table で特に記載されていないハードウェア・プラットフォームにおけるマルチコア・プロセッサーで 10 コアを有する場合には、10 プロセッサー分のライセンスが必要となります（10 コア×1.0 ＝10：「All other multicore chips」の場合は 10 プロセッサーと同等となります）。

*これらの例は、Standard Edition One プログラムおよび Standard Edition プログラムには適用されません。

(1) Oracle Healthcare Data Repository において、必要なライセンス数を決定する場合は、Internet Application Server Enterprise Edition および Oracle Healthcare Transaction Base プログラム両方のプログラムがインストールされおよび/または稼働するサーバー上のプロセッサーのみカウントしなければなりません。

(2) 以下の対象プログラムにおいて、必要なライセンス数を決定する場合は、Internet Application Server （Standard Edition および/または Enterprise Edition）および使用権許諾された対象プログラム（以下の対象プログラム）が稼働するサーバー上のプロセッサーのみカウントしなければなりません。これらの使用権に基づいて、別途使用権許諾された Oracle Database（Standard Edition および/または Enterprise Edition）がインストールされおよび/または稼働するサーバー上のプロセッサーにも、使用権許諾された対象プログラムをインストールしおよび/または稼働させることができます。

・iSupport

・iStore

・Configurator

(3) 以下の対象プログラムにおいて、必要なライセンス数を決定する場合は、（以下の対象プログラムが）管理または監視対象とするプログラムが稼働するサーバー上のプロセッサーのみカウントしなければなりません。

・Configuration Management Pack for Applications

・System Monitoring Plug-in for Non-Oracle Databases

・System Monitoring Plug-in for Non-Oracle Middleware

・Management Pack for Non-Oracle Middleware

・Management Pack for WebCenter Suite

(4) 以下の対象プログラムでは、必要なライセンス数を決定する場合は、マスキング済みのデータまたはデータ・サブセットの生成元であるすべてのデータベース・サーバーをカウントしなければなりません。マスキング済のデータまたはデータ・サブセットのコピー先であるデータベース・サーバーは、必要なライセンス数を決定する目的においてカウントする必要はありません。

・Data Masking and Subsetting Pack

(5) 以下の対象プログラムにおいて、必要なライセンス数を決定する場合は、それぞれ管理されている対象プログラムに対応するミドルウェアおよび/またはデータベース・ソフトウェアが稼働するサーバー上のプロセッサーの総数をカウントしなければなりません。

・Application Management Suite for Oracle E-Business Suite

・Application Management Suite for PeopleSoft

・Application Management Suite for Siebel

・Application Management Suite for JD Edwards EnterpriseOne

・Application Management Pack for Utilities

・Application Management Pack for Taxation and Policy Management

(6) 以下の対象プログラムにおいて、必要なライセンス数を決定する場合は、それぞれ管理されている対象プログラムに対応するミドルウェア・ソフトウェアが稼働するサーバー上のプロセッサーの総数をカウントしなければなりません。

・Application Replay Pack

・Real User Experience Insight

(7) 以下の対象プログラムにおいて、必要なライセンス数を決定する場合は、対応するターゲット・データベースが稼働するサーバー上のプロセッサーの総数のみをカウントしなければなりません。

・Informatica PowerCenter and PowerConnect Adapters

・Application Adapters for Warehouse Builder（PeopleSoft、Oracle E-Business Suite、Siebel および SAP 向け）

(8) 以下の対象プログラムにおいて、必要なライセンス数を決定する場合は、データ変換プロセスが実行されるプロセッサーのみカウントしなければなりません。

・Data Integrator Enterprise Edition

・Data Integrator Enterprise Edition for Oracle Applications

・Data Integrator and Application Adapter for Data Integration

・Application Adapters for Data Integration

(9) In-Memory Database Cache において、必要なライセンス数を決定する場合は、In-Memory Database Cache プログラムの Times Ten In-Memory Database コンポーネントがインストールされおよび/または稼働するサーバー上のプロセッサーのみカウントしなければなりません。

(10) Oracle GoldenGate および Oracle GoldenGate for Oracle Applications において、必要なライセンス数を決定する場合は、(a) お客様がデータを入手するオラクル・データベースが稼働するプロセッサーおよび (b) お客様がデータを適用するオラクル・データベースが稼働するプロセッサーのみ、カウントしなければなりません。

(11) Oracle GoldenGate for Mainframe および Oracle GoldenGate for Teradata Replication Services において、必要なライセンス数を決定する場合は、(a) お客様がデータを入手するデータベースが稼働するプロセッサーおよび (b) お客様がデータを適用するデータベースが稼働するプロセッサーのみ、カウントしなければなりません。

(12) Oracle GoldenGate for Non Oracle Database において、必要なライセンス数を決定する場合は、(a) お客様がデータを入手する他社製データベースが稼働するプロセッサーおよび (b) お客様がデータを適用する他社製データベースが稼働するプロセッサーのみ、カウントしなければなりません。

(13) Oracle GoldenGate Application Adapters において、必要なライセンス数を決定する場合は、お客様がデータを入手する Oracle データベースまたは他社製データベースが稼働するプロセッサーのみ、カウントしなければなりません。マルチソース・データベースにおいては、すべてのソースに関するすべてのプロセッサーをカウントしなければなりません。

(14) Oracle GoldenGate for Big Data および Oracle GoldenGate for Big Data Targets において、必要なライセンス数を決定する場合は、お客様がデータを入手する Oracle データベース、他社製データベースまたは NoSQL リポジトリーが稼働するプロセッサーのみ、カウントしなければなりません。お客様がデータを入手するメッセージング・システムにおいては、25 のキュー/トピックごとに 1 プロセッサーとしてカウントします。マルチソース・データベース、NoSQL リポジトリーまたはメッセージング・システムのインスタンスでは、すべてのソースに関するすべてのプロセッサーをカウントしなければなりません。

(15) Oracle GoldenGate for Distributed Applications and Analytics において、必要なライセンス数を決定する場合には、お客様がデータを取得するオラクル製もしくは非オラクル製のデータベースまたは NoSQL リポジトリーが稼働するプロセッサーのみをカウントしなければなりません。お客様がデータの取り込みを行ういかなるメッセージング・システムについても、キュー/トピックが 25 件ごとに 1 つの Processor としてカウントされます。Oracle Transaction Manager for Microservices Enterprise Edition Program を使用する場合、5 件の参加アプリケーション・サービスごとに 1Processor としてカウントします。複数の参加アプリケーション・サービス、ソースのデータベース、NoSQL リポジトリーまたはメッセージング・システムのインスタンスにおいては、すべてのソースに関するすべてのプロセッサーをカウントしなければなりません。

(16) Audit Vault and Database Firewall において、必要なライセンス数を決定する場合は、保護、モニタリング、または監査対象のソースのプロセッサーのみ、カウントしなければなりません。

(17) 以下の対象プログラムの場合は、クエリーが処理されるプロセッサーのみ、カウントしなければなりません。

・Oracle ATG Web Commerce Search

対象プログラムがインストールされた任意のサーバー上の特定のプロセッサーすべてが、設定されたコンテンツ・ソースのインデックス・コンテンツのみを目的として使用される場合は、その特定のプロセッサーは、カウントする必要はありません。

Project：オペレーションにおける、予定されたステージ・ゲート・プロセス計画として定義されます。

Property：単一の物理的住所のあるロケーションとして定義されます。

128 Provision Database Interface Connections：EAGLE シグナリング・ノードから Home Location Register Router アプリケーション向けプロビジョニング・インターフェースとなる International Number Portability Provisioning System への 128 の同時接続として定義されます。

500,000 Queries Per Day：午前 0 時から次の午前 0 時（例：1 日）までの間の本番の MDEX エンジンに対する 50 万件のクエリーとして定義されます。これには、テキスト検索、ファセットの変更（微調整）、結果の前ページ/次ページ（任意のテキスト・ボックス・クエリー、ファセット・セレクションにおける変更、表示結果の変更）が含まれますが、これらに限定されません。サービス妨害攻撃などの悪意により生成されたことが合理的に認められるクエリーは、使用権許諾されるクエリーとしてカウントされません。お客様は、プログラムを本番運用以外で使用することもでき、これらには開発テスト、品質保証テスト、性能テストを含みますが、これらに限定されません。

$M in Revenue：1 百万米ドル（またはこれに相当する該当の現地通貨建ての金額）単位で、会計年度内に発生した費用や税金を差し引く前の総収入（営業外収入および特別利益を含みます。ただし、評価益は除きます）として定義されます。

$M Revenue Under Management：1 百万米ドル（またはこれに相当する該当の現地通貨建ての金額）単位で、プログラムを使用する製品ラインにおける、会計年度内に発生した費用や税金を差し引く前の総収入（営業外収入および特別利益を含みます。ただし、評価益は除きます）として定義されます。

Oracle Communications Policy Management Sponsored Data Access Cartridge プログラムの場合、$M Revenue Under Management は、1 百万米ドル（またはこれに相当する該当の現地通貨建ての金額）単位で、使用権許諾されたプログラムを通じて処理された、暦年度内に発生した費用や税金を差し引く前の総収入（営業外収入および特別利益を含みます。ただし、評価益は除きます）として定義されます。

Record：Customer Hub B2B は、Siebel Universal Customer Master B2B と Oracle Customer Data Hub の 2 つのコンポーネントが含まれるバンドル製品をいいます。Customer Hub B2B Application においては、Record は、Customer Hub B2B Application に格納される（Customer Hub B2B のコンポーネントに格納される）一意の顧客データベース・レコードの総数として定義されます。顧客データベース・レコードは、Siebel Universal Customer Master B2B 製品の「account（アカウント）」または Oracle Customer Data Hub 製品の「organization（組織）」として格納される一意の法人レコードまたは企業レコードをいいます。

Customer Hub B2C は、Siebel Universal Customer Master B2C と Oracle Customer Data Hub の 2 つのコンポーネントが含まれるバンドル製品をいいます。Customer Hub B2C Application においては、Record は、Customer Hub B2C Application に格納される（Customer Hub B2C のコンポーネントに格納される）一意の顧客データベース・レコードの総数として定義されます。顧客データベース・レコードは、Siebel Universal Customer Master 製品の「contact（連絡先）」または Oracle Customer Data Hub 製品の「person（個人）」として登録される一意の顧客（自然人）をいいます。

Product Hub は、Siebel Universal Product Master と Oracle Product Information Management Data Hub の 2 つのコンポーネントが含まれるバンドル製品をいいます。Product Hub Application においては、Record は、Product Hub Application に格納される（Product Hub のコンポーネントに格納される）一意の製品データベース・レコードの総数として定義されます。製品データベース・レコードは、有効または無効の状態で MTL_SYSTEM_ITEMS テーブルに格納される一意の製品コンポーネントまたは在庫保管単位（Stock Keeping Unit ; SKU）をいいます。製品データベース・レコードは、いかなるインスタンス・アイテム（*-star アイテム）も組織割り当てされた同一品目も含みません。

Case Hub プログラムにおいては、Record は、Case Hub プログラムに格納される一意のケース・データベース・レコードの総数として定義されます。ケース・データベース・レコードは、有効または無効の状態で S_CASE テーブルに格納される、調査やサービスを必要とする一意の要請や案件をいいます。

Site Hub プログラムにおいては、Record は、Site Hub プログラムの RRS_SITES_B テーブルに格納される一意のサイト・データベース・レコードの総数として定義されます。サイト・データベース・レコードは、Site Hub プログラムに格納される一意のサイトです。例えば、不動産、建物または建物の一部（店舗、店舗内のフランチャイズ/テナント、ATM 等）をいいます。

上記のプログラムに内在する Technology プログラムの権利および制限に関しては、プログラムの使用権許諾において定められている前提条件をご参照ください。当該前提条件は http://oracle.com/contracts よりアクセス可能な Application Licensing Table に記載されています。

Oracle Data Relationship Management プログラムにおいては、Record は、お客様が、このプログラムで管理しようとする、あらゆるビジネス・オブジェクトやマスターデータ構成の一意の事象として定義されます。Record は、通常はベース・メンバーと呼ばれるあらゆる企業の情報資産（コストセンター、勘定科目、法人、組織、製品、取引先、資産、所在地、地域および従業員を含みますが、これらに限りません）で表現される場合があります。また、ベース・メンバーをまとめた、または、ベース・メンバーを基盤とする階層的な情報を表現するサマリー・オブジェクト（通常はロールアップ・メンバーと呼ばれます）である場合もあります。Record は、一意の事象を表し、マスターデータ管理の目的に不可欠な場合がある重複データやシェアード・リファレンスは含みません。

Supplier Lifecycle Management および Supplier Hub プログラムにおいては、Record は、Supplier Lifecycle Management および Supplier Hub プログラムの AP_SUPPLIERS テーブルに Supplier として格納される一意の法人レコードまたは企業レコードとして定義されます。

Life Sciences Customer Hub プログラムにおいては、Record は、当該プログラムに格納される一意の顧客データベース・レコードの数として定義されます。顧客データベース・レコードは、Life Sciences Customer Hub プログラムに格納される一意の医師（自然人）のレコードをいいます。

1000 Records：Data Quality for Data Integrator プログラム用の本番データ・フローから出力された 1000 のクレンジング・レコード（例：データベーステーブルの行）として定義されます。

Registered User：任意の一時点において、実際に使用しているか否かにかかわらず、1 台または複数のサーバーにインストールされたプログラムを使用する権限をお客様が付与している特定の個人として定義されます。Registered User は、ビジネス・パートナーおよび/または顧客に限られ、お客様の従業員は該当しません。

250,000 Requests Per Day：本番のシステムに対する午前 0 時から次の午前 0 時までの間（すなわち 1 日）の 25 万リクエストとして定義されます。サービス妨害攻撃などの悪意により生成されたことが合理的に認められるリクエストは、使用権許諾されるリクエストとしてカウントされません。お客様は、プログラムを本番運用以外で使用することもでき、これらには開発テスト、品質保証テスト、性能テストを含みますが、これらに限定されません。

ATG Web Commerce プログラムにおいて、必要なライセンス数を決定する場合は、本番のシステムにおけるウェブ・ブラウザーによって、または Web Service Call 経由で作成された Servlet pipeline 中の ATG DynamoHandler におけるすべての ATG pipeline のリクエスト（JSP page リクエスト、Ajax リクエスト、REST service リクエスト、SOAP service リクエスト、Native Mobile アプリケーション、リッチ・フロント・エンド・アプリケーションあるいは他の統合された外部システムによる Web Service Call を含みますが、これらに限定されません）を、カウントしなければなりません。

WebCenter Sites for Oracle ATG Web Commerce プログラムにおいて、必要なライセンス数を決定する場合は、本番の WebCenter Sites または本番の WebCenter Sites Satellite Server プログラムのページまたはページ・フラグメントに対するリクエスト、JSP page リクエスト、REST service リクエスト、SOAP service リクエスト、あるいは、ブラウザーまたは外部アプリケーションによる Web Service Call を、カウントしなければなりません。

Endeca Experience Manager プログラムにおいて、必要なライセンス数を決定する場合は、本番の Assembler and Presentation API のリクエスト（Experience Manager のあらゆるページ・リクエスト、Search Engine（テキスト・ボックス・クエリー、ファセット・セレクションにおける選択または変更）のあらゆる single submitted クエリー、アプリケーション（例：ATG Web Commerce）により要求されたページ、ウェブ・ブラウザーによるダイレクト・リクエスト、Native Mobile アプリケーション、リッチ・フロント・エンド・アプリケーションあるいは他の統合された外部システムによる Web Service Call を含みますが、これらに限定されません）を、カウントしなければなりません。

Retail Register：販売処理のすべてを記録するように設計されたあらゆる機器として定義されます。

Retail Store：顧客への物品およびサービスの販売によって利益を上げることを目的として 2 名以上の者を雇用しているあらゆるロケーションとして定義されます。

Retail Wireless Device：対象プログラムにアクセスするための分離したデバイスとして定義されます。ワイヤレス・デバイスの例としては、スキャナー、RF デバイス、PDA などを含みますが、これらに限りません。

Revenue Center：ロケーション内で構成された論理的な（売上）報告として定義されます。例として、バーとルーム・サービスが別個のレポートおよび構成となっているレストランには、3 つの Revenue Center 使用権が必要です（1 つはレストラン用、1 つはバー用、1 つはルーム・サービス用）。

RosettaNet Partner Interface Processes® （PIPs®）：取引先間との業務プロセスとして定義されます。関連する E-Business Suite Application 向けの XML ベースで事前定義済のシステム間ダイアログが提供されます。事前定義済の各 PIP は、RosettaNet の用語を伴うビジネス・ドキュメントおよびメッセージ・ダイアログ形式のビジネス・プロセスを含みます。

Rule Set：特定の国のために最適化された Data Quality 機能を実現するため、その国のためのコンテンツが収録されたデータ・ルール・ファイルとして定義されます。

Scenario：プログラムにより追跡され検知される、注文またはセキュリティー、実行、ポートフォリオ・マネージャー、登録された担当者、投資アドバイザー、組織、トレーダー、従業員、外部法人、家計、コルレス銀行、アドレス、アカウント、顧客に、一意に関連する利害関係に関する、目立たない振る舞いとして定義されます。Scenario の例には以下のものがあります。ファンドの急激な動き - すべてのアクティビティ、アカウント価値の巨額の減価償却、ウォッシュ・トレード、および従業員のフロント・ランニングの可能性。

Security Gateway Tunnel：マニュアル・キーまたは Internet Key Exchange バージョン 1（IKEv1）交換プロトコルのいずれかを用いてライセンス対象のソフトウェア上に表される 1 つの Internet Protocol Security（IPsec）トンネル終端として定義されます。ライセンス対象のソフトウェアにおいて何らかの時点で同時に終端する IPsec トンネルの最大数について、ライセンスが必要となります。

Server：プログラムがインストールされたコンピューターとして定義されます。1 Server ライセンスは、お客様に、使用権許諾されたプログラムを、特定された 1 台のコンピューター上にて使用することを認めています。

Acme Packet プログラムおよび Talari プログラムにおいて、仮想環境のサーバーは、仮想マシンのイメージとして定義されます。

次に該当するものについては、ライセンス料金は、Server において許容された最大 Mbps（megabits per second）幅に基づくものとします。(a) ライセンス料金のうち Oracle Communications SD-WAN Edge Program の容量に基づく部分、および (b) Oracle Communication SD-WAN Edge WAN Optimization Program についてのライセンス料金。

Service Access Point：L3 VPN、L2 VPN、専用インターネット・アクセス（DIA）、VLAN アクセス（ポート）、VRF Lite WAN アクセスまたはサービス品質等のサービス・デプロイメントの一部として構成されたインターフェースまたはサブインターフェースとして定義されます。

Service Order Line：12 か月間にプログラムが処理するサービス受注明細行の総数として定義されます。個別のお客様のサービス受注や見積もりの一部として複数のサービス受注明細行の入力も可能です。お客様は、オラクルから追加の Service Order Line の使用権を取得せずに、いずれの 12 か月間においても、使用権許諾された Service Order Line 数を超えて処理することはできません。

Session：1 つの確立された仮想接続（メディア・アンカリングの有無を問いません）のうち、次に該当するものとして定義されます。(a) サブスクライバー・デバイスまたはネットワーク・スイッチング機器である 2 つのエンドポイント間におけるもので、かつ (b) ライセンス対象のソフトウェアをトラバースするもの。ライセンス対象のソフトウェアを何らかの時点で同時にトラバースするセッションの最大数について、ライセンスが必要となります。

Session of SRTP：1 つの確立された仮想接続（メディア・アンカリング有り、かつ Secure Real-Time Transport Protocol のネゴシエーション有り）のうち、次に該当するものとして定義されます。(a) サブスクライバー・デバイスまたはネットワーク・スイッチング機器である 2 つのエンドポイント間におけるもので、かつ (b) ライセンス対象のソフトウェアをトラバースするもの。ライセンス対象のソフトウェアを何らかの時点で同時にトラバースする SRTP のセッションの最大数について、ライセンスが必要となります。

SS7 Signaling Route：特定のリンク・セットを使用するローカル・シグナリング・ポイントから遠隔シグナリング・ポイントへのシグナリング・パスとして定義されます。

Signaling Router Instance：物理サイトにある Kubernetes クラスター内のポッド上で実行されているシグナリング・ルーティング・サービス（Oracle Communications Cloud Native Core, Diameter Routing Agent を含みますがこれに限定されません）をカプセル化する各通信ネットワーク機能として定義されます。使用権許諾目的として、Oracle Communications Cloud Native Core, Signaling Intelligence Hub インスタンスの数は、通信ネットワーク機能インスタンスの数と同数でなければなりません。

Signaling Unit：Oracle Communication EAGLE Program について、Signaling Unit とは、各トランザクションに要求メッセージと応答メッセージとが含まれる場合において、エージェントの明示的なサポートのあるクライアントとサーバーとの間における 4 個のトランザクションとして定義されます。次の項目を合わせた合計数をカウントする必要があります。(a) 単一の Operations, Alarms and Measurements（OAM）機能により管理された 1 組のサーバーにおける最繁 5 秒間の新規トランザクションの総数を 5 で割った数、および (b) フェイルオーバーおよびオーバーヘッド・キャパシティに関するトランザクション。

Oracle Communications Diameter Signaling Router Program の場合、Signaling Unit とは、送信を達成し、メッセージのコンテンツを受信者に配達するために必要な情報を含むエンベロープから成る 1 つのメッセージとして定義されます。1 つのネットワーク Operations, Alarms and Measurements（OAM）ノードにより管理されるすべてのシグナリング・ノード全体で最繁時 5 分間に受信したメッセージの総数を 300 秒で割ったものを、カウントする必要があります（前述には、(i) 転送または破棄されたメッセージ、および/または (ii) コピーされたメッセージ、および/または (iii) リルートされたメッセージが含まれます）。

Simultaneous Users：Oracle Communications Performance Intelligence Center（PIC）プログラムおよび関連プログラムの PIC オプションの一部に同時に接続する権利を有するユーザーの最大数として定義されます。

Single Server Concurrent Endpoint：一意のインターネット・プロトコル（IP）およびポートの組み合わせにより識別される個別ユーザー・デバイスとして定義されます。Single Server Concurrent Endpoint は、サーバーごとにカウントします。このカウントは、各サーバーにおける最繁時に行う必要があります。この場合、各仮想マシンを 1 台のサーバーとみなします。お客様は、次に該当する場合に、お客様の Single Server Concurrent Endpoint プログラム・ライセンスを別のサーバーに割り当てることができます。(a) 当該割当てを 90 日間に 1 回を超えない頻度で行うとき、または (b) 旧サーバー（お客様の Single Server Concurrent Endpoint プログラム・ライセンスのこれまでの割当先であったサーバー）が恒久的に廃止されたとき。

Single Server Concurrent Session：次に該当する仮想接続（メディア・アンカリングの有無を問いません）の総数として定義されます。(a) サブスクライバー・デバイスまたはネットワーク・スイッチング機器である 2 つのエンドポイント間におけるもので、かつ (b) ライセンス対象のソフトウェアを同時にトラバースするもの。Single Server Concurrent Session は、サーバーごとにカウントします。このカウントは、各サーバーにおける最繁時に行う必要があります。この場合、各仮想マシンを 1 台のサーバーとみなします。お客様は、次に該当する場合に、お客様の Single Server Concurrent Session プログラム・ライセンスを別のサーバーに割り当てることができます。(a) 当該割当てを 90 日間に 1 回を超えない頻度で行うとき、または (b) 旧サーバー（お客様の Single Server Concurrent Session プログラム・ライセンスのこれまでの割当先であったサーバー）が恒久的に廃止されたとき。

以下のプログラムにおいて、メディア・アンカリング有りで Secure Real-Time Transport Protocol のネゴシエーションを行うセッションのみが、カウントの対象となります。

・Oracle Communications Session Border Controller – SRTP プログラム

以下のプログラムにおいて、メディア・アンカリング有りで Message Session Relay Protocol のネゴシエーションを行うセッションのみが、カウントの対象となります。

・Oracle Communications Session Border Controller – MSRP B2BUA プログラム

Single Server Concurrent Tunnel：1 つのネットワーク・プロトコル（配送プロトコル）が他のネットワーク・プロトコル（ペイロード・プロトコル）をカプセル化する 1 件の接続として定義されます。Single Server Concurrent Tunnel は、サーバーごとにカウントします。このカウントは、各サーバーにおける最繁時に行う必要があります。この場合、各仮想マシンを 1 台のサーバーとみなします。お客様は、次に該当する場合に、お客様の Single Server Concurrent Tunnel プログラム・ライセンスを別のサーバーに割り当てることができます。(a) 当該割当てを 90 日間に 1 回を超えない頻度で行うとき、または (b) 旧サーバー（お客様の Single Server Concurrent Tunnel プログラム・ライセンスのこれまでの割当先であったサーバー）が恒久的に廃止されたとき。

Socket：1 つ以上のコアの集合体として構成されるチップ（またはマルチチップ・モジュール）を格納するスロットとして定義されます。コアの数にかかわらず、各チップ（またはマルチチップ・モジュール）は、1 つのソケットとしてカウントするものとします。オラクル・プログラムのインストール先および/または稼働場所であるすべての占有ソケットについて、使用権許諾される必要があります。

Oracle VirtualBox Enterprise プログラムの場合、Socket ライセンスは、次に該当するデバイスに適用される必要があります。（a）複数のソケットを備えたもの、および/または（b）複数の Named Workstation User が Oracle VirtualBox Enterprise の使用または Oracle VirtualBox Enterprise における仮想マシンへの接続を行う場合。

Oracle Solaris Premier Subscription for Non-Oracle Hardware Per Socket：注文書に特定される期間、Sun またはオラクルにより製造されたものではない、および Sun またはオラクル向けに製造されたものではないハードウェア上の Oracle Solaris プログラム（以下に定義します）の使用権、および（Oracle Solaris プログラムに限定された）Oracle Premier Support for Operating Systems services を受ける権利として定義されます。「Oracle Solaris プログラム」とは、Oracle Solaris Operating System および別途使用権許諾された第三者のテクノロジー（以下に定義します）をいいます。Oracle Solaris プログラムは、第三者のテクノロジーを含む場合があります。オラクルは、お客様に対し、当該第三者のテクノロジーに関するプログラムの Program Documentation、readme ファイル、またはインストール情報にて、このことを通知する場合があります。第三者のテクノロジーは、本契約の条件に基づいて許諾されるものと、本契約の条件によらず Program Documentation または readme ファイルに明記される場合、あるいは、インストール情報に表示される場合、別段の使用権許諾条件（以下「第三者許諾条件」といいます）に基づいて許諾されるもの（以下「第三者許諾テクノロジー」といいます）とがあります。第三者許諾条件に基づいて別途許諾された当該第三者のテクノロジーは、本契約により何らの制限をも受けるものではありません。Oracle Solaris プログラムは、Java SE の一部（以下「Java SE」といいます）となる別途使用権許諾されたコンポーネントを含むか、または当該コンポーネントと共に

頒布される場合があります。Java SE および関連するすべてのコンポーネントは、本契約ではなく、Oracle Java SE に対する Oracle Technology Network License Agreement の条件に基づいて、お客様に使用権許諾されます。Oracle Java SE に対する Oracle Technology Network License Agreement は、java.com/otnlicense に明記されています。

サブスクリプション・サービスは、オラクルにより認定され、http://www.oracle.com/webfolder/technetwork/hcl/index.html の Hardware Compatibility List（以下「HCL」といいます）に記載されているサーバーでのみ提供されます。お客様は、当該サーバーの各ソケット毎に、サブスクリプション・ライセンスを入手しなければなりません。当該サブスクリプションの期間は、当該注文書に別段の定めのない限り、サブスクリプションに関する注文書の発効日より開始します。お客様の注文が Oracle Store を通じてなされる場合、その効力発生日は、オラクルによりお客様の注文が受理された日となります。Oracle Premier Support for Operating System services は、当該サブスクリプション・サービスが提供される時に有効なテクニカル・サポート・ポリシーに基づき提供されます。当該期間の終了時、お客様は、当該サブスクリプションのその時の最新の料金で、お客様のサブスクリプションを更新することができるものとします（当該サブスクリプション・サービスが利用可能な場合に限ります）。

お客様の注文が「1 – 4 socket server」である場合、4 ソケットを超えないサーバー上でのみ当該サブスクリプションを利用することができます。お客様の注文が「5+ socket server」である場合、いかなるソケットの数のサーバー上においても当該サブスクリプションを利用することができます。

Standard Binary：単品でダウンロード可能な Oracle Java Standard Edition（SE）もしくは Oracle Java Micro Edition（ME）、または Oracle Technology Network（OTN）Java Embedded のダウンロード・ページ（http://www.oracle.com/technetwork/java/embedded）に掲載されている組込ソフトウェアの Oracle Java Embedded Suite として定義されます。

Store：1 つの Point-of-Sale（POS）を使用して商品またはサービスを販売している物理的な店舗ロケーションとして定義されます。物理的な店舗ロケーションに複数の POS システムがある場合、各 POS システムが 1 つの Store としてカウントされる必要があります。

Stream：テープ・ターゲット、ディスク・ターゲットもしくはクラウド・ターゲットへのコンカレント・バックアップ・ジョブまたはコンカレント・リストア・ジョブ、として定義されます。テープ・ターゲット（物理的なテープ・ドライブ（例：T10000D もしくは LTO6）または仮想テープ・ドライブをいいます）のために必要なライセンス数を決定する場合は、Oracle Secure Backup ドメイン内の構成された各テープ・ドライブをカウントしなければなりません。ディスク・ターゲットのために必要なライセンス数を決定する場合は、Oracle Secure Backup ディスク・プール毎の定義された各コンカレント・ジョブをカウントしなければなりません。Oracle Secure Backup Cloud Module を利用したクラウド・ベースのターゲットのために必要なライセンス数を決定する場合は、各パラレルな Recovery Manager（RMAN）チャネルをカウントしなければなりません。

25K Inactive Subscribers：25,000 の (a) 電話または（例えば IMSI）SIM カード・データは含まれているものの加入者を電話または SIM カードと関連付けられない加入者データベース内の記録、(b) すべての有線デバイスの無効な電話番号、(c) 無線通信やページング目的でお客様により起動されていない携帯端末やページング・デバイス、(d) ケーブル・テレビ事業者によって提供されるインターネット回線または非住居用デバイス、(e) データベースでプロビジョニングされているものの有効化されていないユーティリティ・メーターとして定義されます。非有効加入者の総数は、全タイプの非有効加入者の合計値となります。

Inactive Subscribers：次のいずれかに該当するものとして定義されます。(a) すべての有線デバイスにおける無効な電話番号、(b) 携帯ハンドセットまたはハンドセットもしくはページング端末上のアプリケーションであって、無線通信および呼び出しのためにプロビジョニング済みであるにもかかわらずお客様により有効化されていないもの、(c) ケーブル事業者により提供されている住宅や非住宅向け回線引き込み装置、または (d) 稼働可能なユーティリティ・メーターのうち、データベース内でプロビジョニング済みであるにもかかわらず有効化されていないもの。Inactive Subscribers の総数は、全タイプの Inactive Subscribers の合計値となります。

1K Subscribers：次のいずれかの 1,000 組分として定義されます。(a) IMSI 型 SIM カードのサブスクライバーに付随する記録としてサブスクライバー・データベース内でプロビジョニング済みの有効なサブスクライバー、(b) すべての有線デバイスにおける有効な電話番号、(c) 無線通信および呼び出しのためにお客様により有効化済みである携帯ハンドセットまたはページング端末、(d) インターネットに接続されている地上通信線その他の設備機器であってケーブル事業者により提供されているもの、(e) ライブ接続ユーティリティ・メーター、または (f) サブスクライバー・データベース内のエンティティ。Subscriber の総数は、全タイプの Subscriber の合計値となります。

25K Active Subscribers：1 暦月中にネットワーク機能による有効化または処理の対象となった一意の有効なサブスクライバー 25,000 組分として定義されます。有効なサブスクライバーとは、次のいずれかに該当するものをいいます。(a) オラクル・プログラムにおけるネットワーク機能により処理される一意デバイス識別子、(b) 定義された外部ネットワーク機能により処理される一意デバイス識別子、または (c) サブスクライバー・データベースにおける有効なエンティティ。有効なサブスクライバーの総数は、すべてのタイプのすべての一意の有効なサブスクライバーを合わせた数に相当するものとします。

Oracle Communications Network Bridge Program の目的上、Network Bridge により処理された一意デバイス識別子のみがカウントされます。

25K Subscribers：25,000 人の (a) IMSI ベースの SIM カードのサブスクライバーに関連する記録としてサブスクライバー・データベースにおいてプロビジョニングされている有効なサブスクライバー、(b) すべての有線デバイスの有効な電話番号、(c) 無線通信やページング目的でお客様により起動された携帯端末やページング・デバイス、(d) ケーブル・テレビ事業者によって提供されるインターネット回線または非住居用デバイス、(e) 実接続ユーティリティ・メーター、または (f) サブスクライバー・データベース内のエントリとして定義されます。サブスクライバーの総数は、全タイプのサブスクライバーの合計値となります。

Oracle Communications Diameter Signaling Router および Oracle Communications Diameter Signaling Router Network Function Edition Programs の場合、25K Subscribers とは、25,000 人の有効なサブスクライバーのことで（MSISDN、IMSI または NAI）、サブスクライバー・データベースにおいてプロビジョンされています。

100K Subscribers：次のいずれかに該当する 10 万件分として定義されます。(a) サブスクライバーと IMSI ベースの SIM カードとを関連付けた記録としてサブスクライバー・データベースにおいてプロビジョニングがなされた有効なサブスクライバー、(b) すべての有線デバイスの稼働可能な電話番号、(c) 携帯用のハンドセットまたはページング・デバイスのうち、無線での通信およびページングのためにお客様により起動されているもの、(d) インターネットに接続された地上通信線または非住宅用デバイスのうち、ケーブル・テレビ事業者によるサービス提供の対象となるもの、(e) 稼働中の接続済みユーティリティ・メーター、または (f) サブスクライバー・データベース内のエンティティ。

Suite：対象製品ドキュメントに記載されているすべての機能別のソフトウェア・コンポーネントとして定義されます。

$M of Supply Chain Finance Under Management：任意の一時点においてプログラム内で管理されているサプライ・チェーン・ファイナンスの総額 1 百万米ドル（またはこれに相当する該当現地通貨建ての金額）として定義されます。サプライ・チェーン・ファイナンスには、売掛金ファイナンス、買掛金ファイナンス、チャネルおよび/もしくはディストリビューター・ファイナンス、ファクタリングおよび/もしくはそのバリエーション、フォーフェイティング、在庫を引当てとする融資および/もしくは貸付、銀行支払確約、出荷前ファイナンスならびに/または他の一切のサプライ・チェーン・ファイナンシング・スキーム（インボイス管理、購買注文管理、売掛金調整、借方票および貸方票の管理など）のうち、プログラム内での管理の対象となるものが含まれますが、これらに限定されません。

Sun Ray Device：プログラムを表示するために利用される Sun Ray 端末装置として定義されます。

System：単一構成の環境として定義されます。テスト構成、本番構成、および開発構成は 3 つの別個の構成とみなされ、個別に使用権許諾される必要があります。***注**：この定義は、Oracle Linux および Oracle VM のサポート・サービスには適用されません。詳しくは、後掲の「Availability Rules and Metric Definitions for Oracle Linux and Oracle VM Support Services（Oracle Linux および Oracle VM についての各サポート・サービスに関する可用性の規則およびメトリクス定義）」をご覧ください。

Tape Drive：磁気テープ媒体から連続的にデータの記録、読み取り、復旧するために使用する装置として定義されます。Tape Drive は、単体の装置として設置されるか、自動テープ・ライブラリーに内蔵されており、通常、データ保護やアーカイブ用途（これらの用途に限定されません）で使用されます。Tape Device の例には、Linear TapeOpen（LTO）、Digital Linear Tape（DLT）、Advanced Intelligent Type（AIT）、Quarter-Inch Cartridge（QIC）、Digital Audio Tape（DAT）、および 8mm HelicalScan が含まれますが、これらに限定されません。クラウド・バックアップにおいては、Recovery Manager（RMAN）のチャネルの各パラレル・ストリームは、1 Tape Drive 相当としてカウントされます。

Tape Library Slot：各スロットが単一のテープ・カートリッジに対応する、テープ・ライブラリー内部の物理的なスロットのロケーションとして定義されます。

Technical Reference Manuals

Technical Reference Manuals（以下、「TRM」といいます）は、オラクルの機密情報です。お客様は、TRM を、(a) プログラムの導入、(b) 他のソフトウェアおよびハードウェアによるシステムとプログラムとのインターフェース接続、および (c) プログラムの拡張機能の構築、を目的とした、お客様自身の内部データ処理操作のためにのみ使用するものとします。お客様は、他の目的のために、TRM を開示したり、使用したり、または第三者に対し開示または使用を許諾してはなりません。お客様は、TRM を、オラクルの製品と同一または同等の機能を有するソフトウェアを開発するために使用してはなりません。

お客様は、以下について同意します。

(a) TRM の機密性を保護するため、お客様がお客様自身の最も重要な機密情報に対する機密性を保護するための措置と最低限同等の措置、または機密性を保護するための合理的な程度の措置のうち、いずれか厳しい方の措置を実施すること。

(b) お客様の従業員や代理人との間で、オラクル等第三者の機密情報の機密性およびその財産権を保護するための契約を維持し、お客様の従業員や代理人に対し、TRM に対するこれらの要件を指導すること。

(c) TRM の開示を、お客様の従業員や代理人であって、TRM の開示目的に合致する「知る必要」のある者に制限すること。

(d) TRM をいつでもお客様の施設内にて保持すること。

(e) TRM に付されている機密である旨の表示または財産権の表示を削除または破壊しないこと。

オラクルは、TRM について一切の所有権および財産権を留保します。TRM は、お客様に対し、いかなる種類の保証もなく「現状有姿」のままで提供されるものとします。本契約の終了により、お客様は該当する TRM のすべての複製物の使用を停止し、かつ返還または廃棄しなければなりません。

Telephone Number：プログラムを使用して、請求情報を管理および表示する一意の電話番号として定義されます。当該電話番号と関連付けられている個人口座保持者の数ではありません。

Terabyte：storage filer で使用される 1 兆バイトのコンピューターの記録容量は、1 テラバイトとして定義されます。

$B in Total Assets：10 億米ドル（またはこれに相当する該当の現地通貨建ての金額）単位で、アニュアル・レポートおよび/または規則で定められた報告書で開示され、公開情報または社内閲覧可能となっている、最新の総資産額として定義されます。

Oracle Financial Services Trade-Based Anti Money Laundering Enterprise Edition Program の場合、お客様の年次報告書および/または監督機関への届出において開示された「Total Asset Value」とは、商業金融に関連するお客様の業種をいうものとし、その例としては、企業向け銀行業務、法人向け銀行業務、グローバル・バンキング業務その他の業種であってお客様によりお客様の年次報告書および/または監督機関への届出において指定されたものも挙げられますが、これらに限定されません。

Oracle Financial Services Regulatory Reporting Data Sets and Governance for Asia Pacific and Middle East Jurisdictions Program の目的上、お客様の年次報告書および/または監督機関への届出において開示される「Total Asset Value」には、対象プログラムにより管理されるお客様の法域（定義は Program Documentation のとおり）の各々についての Total Asset Value が含まれている必要があります。

Oracle Financial Services Regulatory Reporting for Office of Superintendent of Financial Institutions, Canada Program の目的上、お客様の年次報告書および/または監督機関への届出において開示される「Total Asset Value」には、対象プログラムにより管理される Canada Central Bank の法域の Total Asset Value が含まれている必要があります。

$M in Total Assets：対象プログラムにより管理されている資産の総額 1 百万米ドル分（またはこれに相当する該当の現地通貨建ての金額分）として定義されます。

Oracle Banking Treasury Management Program の目的上、資産には、外国為替資産、短期金融資産、デリバティブ、証券、取引ポートフォリオ資産、金融資産、債券取引資産、資金調達資産および株式資産も含みますが、これらに限定されません。

$M in Trades：1 百万米ドル（またはこれに相当する該当の現地通貨建ての金額）単位で、12 か月の期間中、使用権許諾されたプログラムにおいて管理されている取引として定義されます。12 か月の期間中、使用権許諾されたプログラムにおいて管理されているすべての取引の合計値は、必要なライセンス数を決定する目的で、カウントされる必要があります。

$M in Trade Under Management：任意の一時点でプログラムにおいて管理されている取引の総額 1 百万米ドル（またはこれに相当する該当の現地通貨建ての金額）単位として定義されます。取引には、信用状、銀行保証、船積保証、荷渡指図書、スタンバイ信用状、割引手形、取立手形、賠償責任エクスポージャー、貿易金融貸付および銀行支払確約を含みますが、これらに限定されません。

Trainee：プログラムにより記録される従業員、契約社員、学生等として定義されます。

25 Transactions per Second：要求メッセージと応答メッセージを含むエージェントを明示的にサポートするクライアントとサーバーとの間の 25 のトランザクションとして定義されます。新規トランザクションの総数は、最繁時での 1 秒間隔のシステム全体でカウントされます。

100 Transactions per Second：エージェントとして明示的に対応するクライアントとサーバーとの間の要求メッセージと応答メッセージを含む 1,000 トランザクションとして定義されます。30 秒ごとのシステム全体の新規トランザクション総数を 30 で除した数でカウントする必要があります。

Oracle Control Plane Monitor の場合、Transaction Per Second とは、メッセージが経由するデバイスおよび/またはセグメントの数にかかわらず、ソースから宛先へのメッセージ（要求/応答）総数のことをいいます。

250K Transactions per Second：要求メッセージと応答メッセージを含むエージェントを明示的にサポートするクライアントとサーバーとの間の 250,000 のトランザクションとして定義されます。新規トランザクションの総数は、最繁時での 5 秒間隔のシステム全体で新規トランザクションの総数を 5 で除した数でカウントする必要があります。

500 Transactions per Second：要求メッセージと応答メッセージを含むエージェントを明示的にサポートするクライアントとサーバーとの間 500 のトランザクションとして定義されます。新規トランザクションの総数は、最繁時での 5 秒間隔のシステム全体で新規トランザクションの総数を 5 で除した数でカウントされます。

1K Transactions：1K 単位で、12 か月の期間中、プログラムを介して処理される一意のトランザクションとして定義されます。お客様は、オラクルから追加のトランザクションの使用権を取得せずに、いずれの 12 か月間においても、使用権許諾されたトランザクション数を超えて処理することはできません。

Oracle FLEXCUBE Universal Banking Adapter for Blockchain Payments Program の場合、1K Transactions とは、1K 単位で、プログラムを介して処理される一意の支払いトランザクションとして定義されます。

Oracle FLEXCUBE Universal Banking Adapter for Blockchain Trade Finance for Buyer's Credit Program の場合、1K Transactions とは、1K 単位で、プログラムを介して処理される一意の金融取引トランザクションとして定義されます。

10K Transactions：10K 単位で、12 か月の期間中、プログラムを介して処理されるトランザクションとして定義されます。

Oracle Oracle Banking Payments Program の場合、トランザクションには、資金移動、カード支払い、オンライン支払、モバイル支払、金融サービス・キオスクによる支払い、バイオメトリック認証決済、P2P 支払、電子口座引き落とし、金融商品の回収、請求払手形、銀行小切手を含みますが、これらに限定されません。

Oracle Banking Cash Management Program の目的上、取引には、物理形式のインボイス、電子形式のインボイス、取立済み請求書、その他一切の形式の債権および/または債務（小切手、現金、電子決済、帳簿振替、口座引落しなど）も含みますが、これらに限定されません。対象プログラムにより処理されてバルク取引に含められることとなる取引の各々を、算入する必要があります。

1M Transactions：12 か月の期間にプログラムを介して処理される 100 万のトランザクションとして定義されます。

Oracle Banking Payments for Enterprise Program の場合、トランザクションには、国際間決済、少額決済、高額決済、口座引落し、ファスター・ペイメント、手形交換および一覧払為替手形も含みますが、これらに限定されません。

Transaction：サービスレベルを算出する際に使用される可用性やパフォーマンス値を取得するために、Oracle Enterprise Manager によって記録され、アプリケーションの使用者が行う一連の処理として定義されます。例えば、login、search customer、log out の一連の処理をもって「1 Transaction」とします。

Transactions per Second (TPS)：いずれかのクライアントとサーバーとの間におけるトランザクション、すなわち要求メッセージおよび応答メッセージであって、ライセンス対象のソフトウェアをトラバースするものについての最大値として定義されます。最繁期間における 30 秒間での平均値として、送受信されたすべてのメッセージをカウントする必要があります。

Transaction per Second Per Card：クライアント・プロトコルとサーバー・プロトコルとの間における Eagle Application カードごとのトランザクションのうち、エージェント（仲介物）の明示的なサポートを受けて実行されるものであって、かつその各々に要求メッセージおよび応答メッセージが含まれているものとして定義されます。ピーク利用時 30 秒間における Eagle Application カードごとの新規トランザクション総数を 30 で割った数をカウントします。

Transaction Services Client：販売トランザクションを記録するために外部ソースからデータを受信するために利用されるデバイスとして定義されます（例：コーヒーショップにあり、顧客がサンドイッチ注文を入力するために顧客によって使用される装置）。多重化機能を備えたハードウェアまたはソフトウェア（TP モニター、ウェブ・サーバー製品など）が使用されている場合、その数は、多重化フロント・エンドを基に計算しなければなりません。

Oracle Simphony Transaction Services Cloud Service の目的上、資産または収益センターの構成を表示するデバイスを Transaction Services Client としてカウントする必要があります。以下は、Transaction Services Clients として使用権許諾される必要のあるものの例です。

- ゲスト所有のモバイル型のデバイスまたはコンピューターのうち、メニューの表示および注文の提出を行うためのもの（例えば、デリバリー・アプリ、モバイル注文ウェブサイトおよびオンライン注文ウェブサイトなど）。
- オンプレミス型のデバイスのうち、メニューの表示および注文の提出を行うためのもの（例えば、キオスク、携帯型決済端末、メニュー・ボードおよびメニュー付き道案内キオスクなど）。
- オンプレミス型のデバイスのうち、注文生産状況の最新情報を表示するもの（例えば、商品受取りの可能な注文番号を表示するための消費者向けディスプレイなど）。

お客様のデバイスのうち、メニューの表示および注文の提出を行うためのもの（例えば、第三者製のケータリング・アプリケーションおよび集中型コール・センター・アプリケーションなど）。

500 Transaction Units per Second：M3UA または M2PA でエンコードされたメッセージを含む 1 秒ごとの IP トランザクションにおける 500 の SS7 として定義されます。

Transcoding Session：1 つの確立された仮想接続（メディア・アンカリング有り）のうち、次に該当するものとして定義されます。(a) トランスコードされるサブスクライバー・デバイスまたはネットワーク・スイッチング機器である 2 つのエンドポイント間におけるもので、かつ (b) ライセンス対象のソフトウェアをトラバースするもの。ライセンス対象のソフトウェアを何らかの時点で同時にトラバースするトランスコード・セッションの最大数について、ライセンスが必要となります。

Trial：治験依頼者によりライセンス対象のプログラムまたはサービスを使用して作成、変更、追跡および/または実施がなされる各研究プロジェクト、調査または手順として定義されます。

Oracle Life Sciences Data Management Workbench Enterprise Program の目的上、Trial とは、研究プロジェクト、調査または手順のうち、お客様への Oracle Life Sciences Data Management Workbench Enterprise Program のライセンス許諾の前提となった該当のオラクル注文書の効力発生日（以下「発効日」といいます）以降に開始するもので、かつ Oracle Life Sciences Data Management Workbench Enterprise Program を使用するものとして定義されます。お客様は、発効日後の連続する各 12 か月間に開始する Trial 数に相当するプログラムのライセンスを保有している必要があります。第三者による実施が完了し Oracle Life Sciences Data Management Workbench Enterprise Program にロードされた Trial（以下「Third Party Trial」といいます）は、ライセンス許諾の目的ではカウントされません。ただし、Oracle Life Sciences Data Management Workbench Enterprise Program における該当の Third Party Trial の作成日から 90 日以内にお客様が当該 Third Party Trial を完了し Oracle Life Sciences Data Management Workbench Enterprise Program にロードすることが条件となります。お客様は、該当の 90 日の期間後に Oracle Life Sciences Data Management Workbench Enterprise Program において当該 Third Party Trial について追加データをロードしたかまたは異なる内容を第三者に送付した場合には、当該 Third Party Trial について追加の Trial ライセンスを購入する必要があります。

TSM tunnel：TSM SDK を実行するデバイスとライセンス対象のソフトウェア上の Tunneled Services Control Function（TSCF）インターフェースとを接続する 1 つのトンネルとして定義されます。ライセンス対象のソフトウェアにおいて何らかの時点で同時に終端する TSM トンネルの最大数について、ライセンスが必要となります。

100 Tunnels：他のネットワーク・プロトコル（ペイロード・プロトコル）をカプセル化する 1 つのネットワーク・プロトコル（配信プロトコル）による 100 の接続として定義されます。

以下のプログラムでは、Tunneled Services Control Function（TSCF）トンネルのみカウントします。

Oracle Communications Session Border Controller – TSC

1K Tunnels：他のネットワーク・プロトコル（ペイロード・プロトコル）をカプセル化する 1 つのネットワーク・プロトコル（配信プロトコル）による 1,000 の接続として定義されます。

Tunnel：1 つのネットワーク・プロトコル（配送プロトコル）が他のネットワーク・プロトコル（ペイロード・プロトコル）をカプセル化する 1 件の接続として定義されます。

Tunnel of IPsec IMS AKA：1 つの Internet Protocol Security（IPsec）トンネル終端であって、各トンネルが IMS-AKA（IMS Authentication and Key Agreement）暗号化キー交換メカニズムを利用する IMS エンドポイントにより SIP シグナリングを保護するものとして定義されます。ライセンス対象のソフトウェアにおいて何らかの時点で同時に終端する IPsec IMS AKA のトンネルの最大数について、ライセンスが必要となります。各 IMS エンドポイントが 2 つの IMS-AKA トンネルを同時に使用することになる旨に、ご留意ください。

TUPS per Domain：ドメインごとの 1 秒間におけるトランザクション・ユニットとして定義されます。

トランザクション・ユニットとは、ライセンス対象のプログラムにより実行される機能のユニットをいいます。Oracle Communications Services Gatekeeper (OCSG) Program の場合、トランザクション・ユニットの例としては、コールのセットアップまたはメッセージの送信が挙げられます。Oracle Communications Converged Application Server–Service Controller (OCCAS-SC) Program の場合、トランザクション・ユニットの例としては、IN ネットワークと IP ネットワークとの間を仲介するサービスが挙げられます。トランザクション・ユニットは、(a) OCSG Program については、1 件のリクエストおよび 1 件または複数件の応答であってライセンス対象の OCSG Program により生成される統計情報で裏付けられるものにより構成され、(b) OCCAS-SC Program については、インターワーキング・モジュールにおいて実行される 1 件のリクエストであってライセンス対象の OCCAS-SC Program により生成される統計情報で裏付けられるものにより構成されます。リクエストがライセンス対象のプログラムから生成されるとともにこれに対応する応答がネットワークから生成されることがあり、また、リクエストがネットワークから生成されるとともにこれに対応する応答がライセンス対象のプログラムから生成されることもあります。ドメインとは、1 件または複数件の OCSG インスタンスまたは OCCAS-SC インスタンス（およびこれらに関係するリソース）であってお客様が単一の管理サーバーを用いて管理するものとして定義されるものです。かかるインスタンスには、複数のクラスター化されたインスタンスおよびクラスター化されていないインスタンスが含まれることがあります。この定義において、クラスターとは、単一の地理的拠点に所在する単一または複数の物理ハードウェア・サーバーをいいます。一定のドメインについては、ライセンス対象のプログラムが 5 分間隔で実行された 1 秒単位でのトランザクション・ユニットの数を監視します。お客様の TUPS per Domain の計算の目的上、任意の 24 時間内で最もビジーな状態の連続する 60 分間に任意のドメインにおいてライセンス対象のプログラムにより実行された 1 秒毎のトランザクション・ユニットの総数がプログラムによりレポートされるものとし、かかる総数を 3,600 で除するものとします。

UPK Developer：任意の一時点において、実際に使用しているか否かにかかわらず、1 台または複数のサーバーにインストールされた対象プログラムを使用する権限をお客様が付与している特定の個人として定義されます。UPK Developer は、シミュレーションおよびドキュメントの作成、変更、閲覧および対話式操作を行うことができます。

UPK Module：対象製品ドキュメントに記載されている機能別のソフトウェア・コンポーネントとして定義されます。

User：1 台または複数台のサーバーにインストールされたプログラムについて使用の権限をお客様から付与されている個人として定義されます。この場合、いかなる時点であれ当該個人が当該プログラムを実際に使用しているか否かを問いません。プログラムの使用権限を付与されているすべての個人に加えて、人手による操作の不要なデバイスもまた、当該デバイスがプログラムにアクセスできる場合には、User としてカウントされます。多重化機能を備えたハードウェアまたはソフトウェア（TP モニター、ウェブ・サーバー製品など）が使用されている場合、その数は、多重化フロント・エンドを基に計算しなければなりません。コンピューター間のデータの自動バッチ処理は認められています（Named User Plus の総数に含める必要はありません）。

100 Utilities Assets：Oracle Utilities Asset Management Base プログラムに保存された 100 件の Utilities Assets の記録として定義されます。Utilities Assets とは、プログラムを使用して追跡されるデバイスをいいます。その例としては、メーター、通信デバイス、コンポーネント、モーター、ポンプ、パイプおよび輸送手段が挙げられますが、これらに限定されません。

100 Utilities Devices：ユーティリティ網における 100 台のアクティブなハードウェアまたはファームウェア・エレメントとして定義されます。Utilities Devices の例としては、メーター、グリッド・デバイス、ホーム・エリア・ネットワーク・デバイスおよびデマンド・レスポンス・デバイスも挙げられますが、これらに限定されません。デバイスがアクティブな状態にあるか否かの判断は、該当のオラクル・プログラムのデータベース内における当該デバイスの状態を基準として行われます。

Oracle Utilities Market Settlement Management プログラムの場合、すべてのアクティブ・デバイス（データベース内のデバイス、および決済計算に使用される他の一切のデバイスの両方。アプリケーション内に直接保存されているわけではない複数デバイスの総合値に基づき決済計算を行うものも含みます）をカウントします。

Utilities System：ライセンス対象プログラムの単一の実施形態として定義されます。単一の実施形態には、単一の本番環境、ならびに数を問わずテスト環境、開発環境および高可用性環境の各々も含まれます。ライセンス対象プログラムについての 2 つの異なる実施形態は、たとえ基本構成が同一である場合においても、個々にライセンスを受ける必要のある 2 つの別個の Utilities System とみなされます。例えば、Oracle Utilities Live Energy Connect Program が 2 つの別個のユーティリティ・サイト（2 つの揚水施設または変電所など）にデプロイされた場合には、2 つの Utilities System ライセンスが必要となります。

Video Wrapper：各サイトごとにインストールされているビデオ・アセット用のファイル・システムとして動作する、標準化されたコンテナとして定義されます。Video Wrapper の例としては、GXF、MXF、OP1A、AVI、Quicktime および LXF を含みます。

1K Virtual Accounts：1,000 件分の顧客口座であって、対象プログラム内で開設、維持および保管がなされるものとして定義されます。いずれの休眠仮想口座も、該当の対象プログラムの本番データベース内に存在する限りは、Virtual Account とみなされるものとします。ライセンス要件の充足性判断において、閉鎖口座は、Virtual Account とはみなされないものとします。

Virtual Account：対象プログラム内で開設、維持および保管がなされている顧客口座として定義されます。いずれの休眠仮想口座も、該当の対象プログラムの本番データベース内に存在する限りは、Virtual Account とみなされるものとします。ライセンス要件の充足性判断において、閉鎖口座は、Virtual Account とはみなされないものとします。

Virtual Identifier：使用権許諾された対象プログラム内で使用するために金融機関から顧客に割り当てられる識別子と定義されます。この場合、任意の時点において当該識別子が金融機関により実際に使用されているか否かを問いません。

Web Services API License Session：Web Services API の管理下にある 1 つのセッションとして定義されます。何らかの時点で同時に使用権許諾された対象製品の管理下にある Web Services API License Session の最大数について、使用権許諾される必要があります。

Wireless handset：通信事業者により提供され、無線音声通信およびデータ通信を主要な機能として有する、携帯電話、PDA、ポケットベル等のモバイル通信装置として定義されます。

$M in Written Premium：(a) 生命・医療保険会社においては、1 百万米ドル（またはこれに相当する該当の現地通貨建ての金額）単位で、当該プログラムの使用される特定の事業部門の、正味収入保険料および年金保険料として定義されます。また、(b) 損害保険会社においては、1 百万米ドル（またはこれに相当する該当の現地通貨建ての金額）単位で、当該プログラムの使用される特定の事業部門の、正味収入保険料として定義されます。正味収入保険料には、直接、または再保険に対する支払い後再保険を通じ、お客様により維持される保険料収入を含めるものとし、年金保険料には、年金契約に入金されるものを含めるものとします。米国においては、正味収入保険料および年金保険料におけるデータの決定的なソースは、該当する州保険委員会にお客様が申請する年次ステートメントとします。その他の国においては、正味収入保険料および年金保険料におけるデータの決定的なソースは、保険のための該当する地域の統治実体とし、この統治実体は事業部門による明細を発行します。

Workstation：対象プログラムがインストールされるコンピューターにかかわらず、対象プログラムにアクセスするクライアント・コンピューターとして定義されます。

期間指定ライセンス

1 Year Term：1 Year Term と明記されているプログラムの使用権は、注文の発効日に開始し、1 年にわたり存続するものとします。1 Year Term が満了した時点で、当該プログラムの使用権は自動的に終了するものとします。

Currency Matrix

1 百万米ドル、10 億米ドルおよび 1 千米ドルとの言及のあるライセンス・メトリクスについては、これに相当する金額を適用通貨ごとにご確認ください（http://oracle.com/contracts で閲覧できます）。「適用通貨」とは、お客様の注文の「料金概要」条項で指定された通貨として定義されます。

Oracle LICENSING RULES

Oracle Technology Programs および Oracle Business Intelligence Applications のライセンス規則

フェイルオーバー：次の条件に従い、http://www.oracle.com/us/corporate/pricing/price-lists/index.html にてアクセス可能な US Oracle Technology Price List に記載されている対象プログラムにおけるお客様のライセンスには、フェイルオーバー環境で使用権許諾を受けていない待機系コンピューター上において、いずれの暦年（1 月 1 日から 12 月 31 日まで）にも 24 時間を 1 回とする個別期間計 10 回分を上限として稼働させる権利が含まれます（例：待機系コンピューターが火曜日に 2 時間稼働、金曜日に 3 時間稼働した場合は、24 時間の期間 2 回分としてカウントします）。上記の権利は、複数のコンピューターがクラスター構成になっており、かつそれらのコンピューターが単一のデータ・センターにおけるひとつの論理ディスク・アレイを共有している場合にのみ適用されます。本番ノードに不具合が生じた時、フェイルオーバー・ノードが本番ノードとして機能します。本番ノードが復旧した場合、お客様は、切り替え復帰を行うか、または当該修理済みサーバーをフェイルオーバー・ノードに指定する必要があります。フェイルオーバーの期間が 24 時間の期間 10 回分を超えた場合、そのフェイルオーバー・ノードは使用権許諾が必要となります。また、複数のノードがフェイルオーバーとして構成されていたとしても、クラスター環境毎に 1 つのフェイルオーバー・ノードのみが、24 時間の個別期間 10 回分を上限として、無償となります。メンテナンス目的での休止時間も、24 時間の個別期間 10 回分との制限に算入されます。フェイルオーバー環境にオプションの使用権を許諾する場合、当該オプションは関連するデータベースのライセンスの数と一致していなければなりません。また、Named User Plus により使用権が許諾される場合、1 つのフェイルオーバー・ノードについてのみ、最少ユーザー数の適用は免除されます。本項で付与された権利を超えて使用する場合には、別途使用権許諾を受けなければなりません。フェイルオーバー環境において、任意のクラスター構成にて使用権が許諾される場合、本番ノードおよびフェイルオーバー・ノードで同一の価格単位を使用しなければなりません。

Testing：バックアップの物理コピーのテストにおいて、Oracle Technology Global Price List（掲載場所：http://www.oracle.com/us/corporate/pricing/price-lists/index.html）に記載されている任意の対象プログラムについてのお客様のライセンスには、暦年ごとに 4 回を上限として、1 回のテストあたり 2 日を超えない範囲で、使用権許諾されていないサーバー上（クラウド環境のサーバーを含みます）で対象プログラムを実行する権利が含まれるものとします。当該権利は、オラクル・プログラムのバイナリー・ファイルが複製または同期される他のいかなるデータ・リカバリー方法（リモート・ミラーリングなど）も、対象とするものではありません。

お客様は、以下の制限に違反しないことを保証する責任を負うものとします。

- Oracle Database Standard Edition 2は、最大搭載可能プロセッサー数が2ソケットのサーバーに対してのみ、使用権許諾されます。さらに、お客様のOracleライセンス契約のいかなる条項にもかかわらず、各Oracle Database Standard Edition 2データベースは、常時最大16CPUスレッドを使用することができます。お客様がNamed User Plus（NUP）ライセンスを注文する場合、お客様は、サーバー毎に最少でも10NUPを維持する必要があります。
- お客様がOracle Database Programをライセンスする場合、お客様はそのプログラムに含まれる、または作成されるデータ形式のリバース・エンジニアリング（ただし相互運用性検証のため法律で認められている場合を除きます）、逆アセンブリまたは逆コンパイルを発生させたり、許可したりしてはなりません。前述には、そのプログラムに含まれるまたは作成されるコード、データ構造、ファイル形式またはメモリ形式のリバース・エンジニアリング、あるいはそのプログラムまたはデータ形式のリバース・エンジニアリングに由来するツールまたは製品の使用の禁止も含まれます。
- WebLogic Server Standard Editionには、WebLogic Server Clusteringは含まれません。
- Business Intelligence Standard Edition Oneは、最大搭載可能プロセッサーのソケット数が2ソケットを稼働させる能力を有するサーバーに対してのみ、使用権許諾されます。BI ServerおよびBI Publisherのデータ・ソースは、付属するOracle Standard Edition One、その他一つのデータベース、およびCSVやXLS等のあらゆるフラット・ファイルに限定されます。お客様は、あらゆるデータ・ソースからデータを抽出するために、Oracle Warehouse Builder Core ETLを使用することができますが、ターゲット・データベースは、付属するOracle Standard Edition One以外を使用することはできません。
- Informatica PowerCenter and PowerConnect Adaptersは、スタンドアローン、またはスタンドアローンのETLツールとして使用することはできません。Informatica PowerCenter and PowerConnect Adaptersは、(1) Oracle Business Intelligence Applicationsプログラム（Hyperion Enterprise Performance Management Applicationsを除きます）、(2) Oracle Business Intelligence Suite Extended Editionプログラム、Oracle Business Intelligence Standard Edition One、または当該Business Intelligence Applicationsプログラムに関連するコンポーネントが稼働しているプラットフォーム、または (3) 前述のデータ・ソースのためのステージング・データベース、がターゲットであることを条件として、あらゆるデータ・ソースと共にこれを使用することができます。Informatica PowerCenter and PowerConnect Adaptersは、Oracle Business Intelligence Applicationsプログラム（Hyperion Enterprise Performance Management Applicationsを除く）がソースであり、Oracle Business Intelligence Applicationsではないプログラムが対象である場合でも使用できます。ただし、ユーザーがInformatica PowerCenter and PowerConnect Adaptersをデータの転送のために使用しないことを条件とします。
- Java SE Advanced、Java SE Advanced Desktop、Java SE Suite Programs、Java SE Subscription、Java SE Desktop SubscriptionおよびJava SE Universal Subscription,について、お客様は、いかなる方法であれ「java」、「javax」、「sun」または「oracle」あるいはこれらの命名方法のバリエーションとみなしうるクラス、インターフェース、またはサブパッケージの作成、修正または動作の変更をすることはできず、また、お客様の顧客に対し、作成、修正または動作の変更を行うことを許諾してはなりません。これらのプログラムのインストールおよび自動アップデート・プロセスは、オラクルまたはオラクルのサービス・プロバイダーに対し、当該プロセスに関する少量の限定的なデータを、オラクルがそれを理解し最適化するために送信します。オラクルは、当該データを、個人を特定できる情報と結び付けることはありません。オラクルが収集した当該データに関する情報の詳細は、http://oracle.com/contractsにおいて閲覧することができます。著作権に関するその他の注意事項、およびプログラムの一部に適用される使用権許諾のその他の条件は、http://oracle.com/contractsに規定されています。
- プログラムの名称に「for Oracle Applications」が付くものは、使用制限付プログラムです。これらの使用制限付プログラムは、以下の名称が付いた「適格な」Oracle Applicationプログラムと共にのみ、使用することができます。
  - ・Oracle Fusion
  - ・Oracle Argus
  - ・Oracle ATG
  - ・Oracle Banking

・Oracle Communications*
・Oracle Documaker
・Oracle Enterprise Taxation*
・Oracle Financial Services*
・Oracle FLEXCUBE
・Oracle Health Sciences
・Oracle Healthcare*
・Oracle Hospitality
・Oracle Insurance
・Oracle Knowledge
・Oracle Legal
・Oracle Life Sciences
・Oracle Mantas
・Oracle Media
・Oracle Primavera
・Oracle Relate
・Oracle Retail*
・Oracle Reveleus
・Oracle Tax
・Oracle Utilities*
・Oracle XBRi
上記にて指定されている名称のうち「*」が付いているものは、該当するすべてのプログラムが、「for Oracle Applications」の名称を有する使用制限付プログラムと共に使用できるわけではありません。上記「*」が付いているプログラムで「for Oracle Applications」の名称を有する使用制限付プログラムと共に使用できないプログラムのリストについては、Applications Licensing Tableをご確認ください。Application Licensing Tableには、http://oracle.com/contractsよりアクセス可能です。

Oracle Analytics Server for Oracle Applicationsは、Oracle Fusion Applicationが唯一のデータ・ソースであることを条件として、以下のOracle Business Intelligence Applicationsと共に使用することができます。
・Sales Analytics, Fusion Edition
・Marketing Analytics, Fusion Edition
・Partner Analytics, Fusion Edition
・Supply Chain and Order Management Analytics, Fusion Edition
・Financial Analytics, Fusion Edition
・Procurement & Spend Analytics, Fusion Edition
・Project Analytics
・Human Resources Analytics, Fusion Edition

Oracle Analytics Server for Oracle Applicationsは、以下のプログラムとも共に使用することができます。
・Oracle Product Information Management Analytics, Fusion Edition
・Oracle Customer Data Management Analytics, Fusion Edition
・Oracle Product Lifecycle Analytics

WebLogic Suite for Oracle Analytics Serverは、以下のプログラムと共に使用することができます。
・Oracle Agile Applications（配布場所：Oracle E-Business Suite Applications Global Price Lists）
上記以外のその他のOracle Applicationプログラムまたは第三者のアプリケーションが、「for Oracle Applications」の名称を有する使用制限付プログラムを使用することはできません。

- Oracle BPEL Process Management Option for Oracle Applicationsは、適格なプログラム上で、ビジネス・プロセス、ワークフロー・インタラクションおよび承認処理を可能にするためにのみ、使用することができます。適格なプログラムと、上記以外のその他Oracle Applicationプログラムまたは第三者のアプリケーションとの間のワークフロー・インタラクションは、適格なプログラム上で利用可能な場合/起動している場合に限り、許諾されます。BPELにて定義されるビジネス・プロセスは、ビジネス・プロセスの内部から呼び出されるサービスの少なくとも1つが、（Web Servicesを介して）直接にまたはアダプターを経由して、適格なプログラムにアクセスする場合に限り、許諾されます。
- Oracle Business Intelligence Suite Foundation Edition for Oracle Applicationsは、以下のいずれかの場合において、トランザクション・データベース、データ・ウェアハウス、またはEssbase OLAPキューブに対するクエリー、レポーティングおよび分析を行うためにのみ、使用することができます。
トランザクション・データベースが、適格なプログラムのトランザクション・データベースそれ自身か、または当該トランザクション・データベースの全部または一部の完全な抜粋であって、変換がなされていない場合（適格なプログラムではないトランザクション・データベースに対するクエリー、レポーティングおよび分析の場合、Oracle Business Intelligence Suite Foundation Editionのフルユース・ライセンスが必要です）
データ・ウェアハウスが、適格なプログラムに予め付属しているデータ・ウェアハウスであって、当該プログラムに必要なカスタマイズがされており、かつ当該プログラムのソースのみに制限されている場合（予め付属しているデータ・ウェアハウスがサポートしていないソース・システムより得られる当該データ・ウェアハウスのエクステンション（拡張機能）に対するクエリー、レポーティングおよび分析を行うためには、Oracle Business Intelligence Suite Foundation Editionのフルユース・ライセンスが必要です）
各Essbase OLAP キューブのディメンションが、適格なプログラムから作成されている場合
- Oracle WebLogic Suite for Oracle Applicationsは、適格なプログラムのための組込ランタイムとしてのみ、または適格なプログラムのためのカスタマイズ機能を実装するためにのみ、使用することができます。WebLogic global datasource、またはWebLogic Application datasourcesの1つは、適格なプログラムのスキーマへのアクセスのため、必ず設定を行わなければなりません。

- Data Integrator Enterprise Edition for Oracle Applicationsは、Oracleによって提供されたデータ・インテグレーション・ジョブと共にのみ使用でき、そのジョブをカスタマイズすることができます。誤解を避けるため、使用することが許されない場合の例として、以下を含みますがこれに限らないものとします。
  ・異なるアプリケーション、新しいスキーマ、または以前までサポートされていなかったアプリケーション・モジュールをサポートする新しいジョブを追加すること。
- Oracle SOA Suite for Oracle Applicationsは、適格なプログラム上で、インテグレーション、ビジネス・プロセス、ワークフロー・インタラクションおよび承認処理を可能にするためにのみ、使用することができます。適格なプログラムと、上記以外のその他適格でないプログラムまたは第三者のアプリケーションとの間のワークフロー・インタラクションは、適格なプログラム上で起動している場合/終了する場合に限り許諾されます。SOAコンポジット（Rules、Mediator、XSLT transforms、BPEL processes、Spring components、Workflow services、およびOWSM security policyを含むがこれらに限られません）の使用は、各コンポジットの内部から呼び出されるサービスの少なくとも1つが、（Web Servicesを介して）直接にまたはアダプターを経由して、適格なプログラムにアクセスし、その呼び出しが適切なOracle Applications内で開始または終了されるフローの一部である場合に限り許諾されます。Oracle Service Bus（OSB）の使用は、呼び出される各サービスが、（Web Servicesを介して）直接にまたはアダプターを経由して、適格なプログラムにアクセスする場合に限り許諾されます。
- Oracle WebCenter Portal for Oracle Applicationsは、適格なプログラムおよびカスタム・プログラム（以下総称して「適格プログラム」といいます）を表示するためにのみ、使用することができます。オラクルのその他のプログラムを含め、第三者のアプリケーションを表示させるには、Oracle WebCenter Portalのライセンスが必要です。複数の適格プログラムを1つのポータル・インスタンスに表示させることができますが、Oracle WebCenter Portal for Oracle Applicationsのライセンスが、当該ポータルにて表示されるそれぞれの適格プログラムに対して付与されていることをその条件とします。適格プログラムとWebCenter Portal コンポーネントとの間のカスタム・ワークフローや通知を構築するのと同様に、WebCenter Portal for Oracle Applicationsは、様々なWebCenterサービス（Wiki、ブログ、ディスカッション等）を、アプリケーション・コンテキストに統合するために使用することができます。Oracle WebCenter Portal for Oracle Applicationsのコンテンツ・マネージメント機能は、適格プログラムによらずに作成されたドキュメントを格納および管理するために使用することができますが、当該ドキュメントが適格プログラムまたはアプリケーション・コンテキストに関連するものであることをその条件とします。
- Oracle WebCenter Imaging for Oracle Applicationsは、イメージング・サーチを修正し、プリ・パッケージ化されたイメージング・アプリケーションのドキュメント・タイプを修正し、およびイメージング・アプリケーションに対するインプット・マッピングを修正するために使用することができます。Oracle WebCenter Imaging for Oracle Applicationsは、オラクルのアプリケーション・ワークフローからWeb Service Application programming Interface（API）を起動するために使用することができます。Oracle WebCenter Imaging for Oracle Applicationsのライセンスは、プリ・パッケージ化されたプログラムの統合に関連性のないイメージを管理する新しいドキュメント・タイプを定義するため、カスタム・ワークフローを開発するため、およびカスタム・ワークフローまたはカスタム・アプリケーションの統合APIを起動するため、に必要となります。
- Oracle Identity and Access Management Suite Plus for Oracle Applicationsは、適格なプログラム上で、および当該プログラムのユーザーに対する関連アクションを実行するためにのみ、使用することができます。本プログラムは、以下を実行するために使用することができます。(1) 適格なプログラムにおけるユーザーIDとロールの追加、削除、修正および管理、(2) 適格なプログラムに対するウェブ・アクセス管理およびシングル・サインオンの提供、(3) 適格なプログラムについて、ユーザーIDおよびユーザーID関連情報のデータ・ストレージもしくは仮想化データ・ストレージ、または認証および許可のポリシーの提供、(4) 適格なプログラムに対するフェデレーテッド・シングル・サインオンの提供。
- Oracle Coherence Enterprise Edition for Oracle Applicationsは、適格なプログラムのコンポーネントとして、同一のJava仮想マシンにおいてのみ使用することができます。
- Oracle GoldenGate for Oracle Applicationsは、オラクルによって提供されたインテグレーション・ジョブと共にのみ使用でき、以下の条件を満たす場合のみ、オラクルによって提供された当該インテグレーション・ジョブをカスタマイズすることができます。(i) ソース・アプリケーションもしくはターゲット・アプリケーションのカスタマイズに必要な場合、または (ii) GoldenGateの構成の性能調整に必要な場合。Oracle GoldenGate for Oracle Applicationsは、(i) オラクル以外のデータベースへのデータ複製、(ii) 他のオラクル・アプリケーション、または (iii) あらゆるタイプのデータ・インテグレーションや複製を目的として使用される第三者のアプリケーション、には使用できません。誤解を避けるため、使用することが許されない場合の他の例として、以下を含みますがこれに限らないものとします。
  ・オラクル以外のデータベース（MySQLを含みます）にデータを複製すること。
  ・新しいソース・スキーマまたはターゲット・スキーマを追加すること。
  ・以前までサポートされていなかったアプリケーション・モジュールをソース・スキーマまたはターゲット・スキーマに追加すること。
  ・その他の複製トポロジをサポートすること（例：アクティブ-アクティブ、マルチマスター）。
  ・オラクルが提供していないものを追加すること。
- Hyperion Planning Plus プログラムのライセンスは、Oracle Essbase Plus、Hyperion Financial Reporting、およびHyperion Web Analysisの各プログラムの制限付ライセンスを含みます。上記これらの制限付ライセンスは、Oracle Essbase Plus、Hyperion Financial Reporting、およびHyperion Web Analysisの各プログラムが、Hyperion Planning Plusプログラムのデータにアクセスするためにのみ使用できることを意味します。Oracle Data Integrator for Oracle Business Intelligence プログラムは、対象となるデータベースがHyperion Planning Plusプログラムである場合をその条件とし、あらゆるデータ・ソースからデータを読み込むために使用することができます。特に、Oracle Essbase Plusプログラムは、Hyperion Planning Plusプログラムにより使用されるデータを含まないEssbase cubeを作ることはできず、また、Oracle Essbase PlusプログラムのAggregate Storage Optionコンポーネントを使用できません。
- Hyperion Profitability and Cost Managementプログラムのライセンスは、Oracle Essbase Plus、Hyperion Financial Reporting、Hyperion Web AnalysisおよびOracle Data Integrator for Business Intelligence の各プログラムの制限付ライセンスを含みます。これら上記の制限付ライセンスは、Oracle Essbase Plus、Hyperion Financial Reporting、Hyperion Web AnalysisおよびOracle Data Integrator for Oracle Business Intelligenceの各プログラムが、Hyperion Profitability and Cost Management プログラムのデータにアクセスするためにのみ使用できることを意味します。特に、Oracle Essbase Plusプログラムは、Hyperion Profitability and Cost Managementプログラムにより使用されるデータを含まないEssbase cubeを作ることはできず、また、Oracle Essbase PlusプログラムのAggregate Storage Optionコンポーネントを使用できません。

お客様が、以下に記載するプログラムの Named User Plus ライセンスを購入した場合、お客様は Processor あたり 25 Named Users Plus または 10 Named Users Plus を維持しなければなりません。

PROGRAM	NAMED USER PLUS MINIMUM
Oracle Database Enterprise Edition	25 Named Users Plus per Processor
NoSQL Database Enterprise Edition	25 Named Users Plus per Processor
Times Ten In-Memory Database	25 Named Users Plus per Processor
Rdb Enterprise Edition	25 Named Users Plus per Processor
CODASYL DBMS	25 Named Users Plus per Processor
Data Integrator Enterprise Edition	25 Named Users Plus per Processor
GoldenGate	25 Named Users Plus per Processor
GoldenGate for Non Oracle Database	25 Named Users Plus per Processor
GoldenGate for Mainframe	25 Named Users Plus per Processor
GoldenGate Veridata	25 Named Users Plus per Processor
GoldenGate for Teradata Replication Services	25 Named Users Plus per Processor
Data Integrator Enterprise Edition for Oracle Applications	25 Named Users Plus per Processor
GoldenGate for Big Data	25 Named Users Plus per Processor
GoldenGate for Big Data Targets	25 Named Users Plus per Processor
GoldenGate Foundation Suite	25 Named Users Plus per Processor
Oracle GoldenGate for Distributed Applications and Analytics	25 Named Users Plus per Processor
GoldenGate for Oracle Applications	25 Named Users Plus per Processor
Endeca Discovery Foundation for Oracle Applications	25 Named Users Plus per Processor
Java SE Advanced	10 Named Users Plus per Processor
Java SE Suite	10 Named Users Plus per Processor
WebLogic Server Standard Edition	10 Named Users Plus per Processor
WebLogic Server Enterprise Edition	10 Named Users Plus per Processor
WebLogic Suite	10 Named Users Plus per Processor
Web Tier	10 Named Users Plus per Processor
Coherence Standard Edition One	10 Named Users Plus per Processor
Coherence Enterprise Edition	10 Named Users Plus per Processor
Coherence Grid Edition	10 Named Users Plus per Processor
TopLink and Application Development Framework	10 Named Users Plus per Processor
GlassFish Server	10 Named Users Plus per Processor
Internet Application Server Standard Edition	10 Named Users Plus per Processor*
Internet Application Server Enterprise Edition	10 Named Users Plus per Processor*
API Gateway	10 Named Users Plus per Processor
BPEL Process Manager	10 Named Users Plus per Processor
WebLogic Integration	10 Named Users Plus per Processor
Service Registry	10 Named Users Plus per Processor
Enterprise Repository	10 Named Users Plus per Processor
Forms and Reports	10 Named Users Plus per Processor
Managed File Transfer	10 Named Users Plus per Processor
Tuxedo	10 Named Users Plus per Processor
Event Processing	10 Named Users Plus per Processor
SOA Suite for Non Oracle Middleware	10 Named Users Plus per Processor
Unified Business Process Management Suite for Non Oracle Middleware	10 Named Users Plus per Processor
Business Process Management Standard Edition	10 Named Users Plus per Processor

PROGRAM	NAMED USER PLUS MINIMUM
Application Adapters	10 Named Users Plus per Processor
Oracle E-Business Suite Adapter	10 Named Users Plus per Processor
Integration Adapter for SAP R/3	10 Named Users Plus per Processor
Integration Adapter for JD Edwards World	10 Named Users Plus per Processor
Integration Adapter for Siebel	10 Named Users Plus per Processor
Cloud Adapters	10 Named Users Plus per Processor
B2B for RosettaNet	10 Named Users Plus per Processor
B2B for EDI	10 Named Users Plus per Processor
Healthcare Adapter	10 Named Users Plus per Processor
B2B for ebXML	10 Named Users Plus per Processor
WebCenter Suite Plus	10 Named Users Plus per Processor
WebCenter Portal	10 Named Users Plus per Processor
WebCenter Content	10 Named Users Plus per Processor
WebCenter Sites	10 Named Users Plus per Processor
WebCenter Sites Satellite Server	10 Named Users Plus per Processor
WebCenter Universal Content Management	10 Named Users Plus per Processor
WebCenter Imaging	10 Named Users Plus per Processor
WebCenter Forms Recognition	10 Named Users Plus per Processor
WebCenter Enterprise Capture	10 Named Users Plus per Processor
WebCenter Distributed Capture	10 Named Users Plus per Processor
WebCenter Real-Time Collaboration	10 Named Users Plus per Processor
WebCenter Sites Mobile Option	10 Named Users Plus per Processor
Enterprise Identity Services Suite	10 Named Users Plus per Processor
Identity Governance Suite	10 Named Users Plus per Processor
Access Management Suite Plus	10 Named Users Plus per Processor
Entitlements Server	10 Named Users Plus per Processor
Entitlements Server Security Module	10 Named Users Plus per Processor

*プログラムあたり最大 1 ユーザーが使用できる 1 プロセッサーのコンピューターに、プログラムがインストールされている場合、Named User Plus の最少ユーザー数は適用されません。

PROGRAM	NAMED USER PLUS MAXIMUM
Personal Edition	1 Named User Plus per database
Business Intelligence Standard Edition One	50 Named Users Plus

Named User Plus 単位で使用権許諾されている場合、以下の A 欄に記載されるプログラムのライセンス数は、B 欄に記載される関連プログラムのライセンス数と一致しなければなりません。Named User Plus の使用権を最少数で購入した場合、そのライセンス数は、個々のプログラムの使用権が許諾された時々の Core Factor の変更により一致しない場合があります。プロセッサー単位で使用権許諾されている場合、以下の A 欄に記載されるプログラムのライセンス数は、B 欄に記載される関連プログラムのライセンス数と一致しなければなりません。プログラムが異なる時期に使用権許諾された場合、ライセンス数は、個々のプログラムの使用権が許諾された時々の Core Factor の変更により一致しない場合があります。この場合、以下の A 欄に記載されるプログラムについて使用権許諾されているプロセッサー数を決定するために使用するコアの数は、B 欄に記載される関連プログラムが使用権許諾されているプロセッサー数を決定するために使用するコアの数と一致しなければなりません。関連プログラムとは、A 欄のプログラムと併せて使用されているプログラムをいいます。

COLUMN A	COLUMN B
Database Enterprise Edition Options*- Multitenant, Real Application Clusters, Real Application Clusters One Node, Partitioning, Advanced Security, Label Security, Database Vault,	Oracle Database Enterprise Edition

COLUMN A	COLUMN B
Active Data Guard, Real Application Testing, Advanced Compression, Database In-Memory **Database Enterprise Management***- Diagnostics Pack, Tuning Pack, Database Lifecycle Management Pack, Data Masking and Subsetting Pack, Cloud Management Pack for Oracle Database	
RDB Server Options*- TRACE	Rdb Enterprise Edition, CODASYL DBMS
WebLogic Suite Options**- BPEL Process Manager Option, Service Bus, SOA Suite for Oracle Middleware, Unified Business Process Management Suite, WebLogic Coherence Grid Edition Option	WebLogic Suite
WebLogic Server Enterprise Edition and WebLogic Suite Options**- WebLogic Server Multitenant, WebLogic Server Continuous Availability	A 欄のプログラムによる管理の対象となる関連アプリケーション・サーバー・プログラム。
SOA Suite for Oracle Middleware Options**- Integration Continuous Availability	SOA Suite for Oracle Middleware
Application Server Enterprise Management**- WebLogic Server Management Pack Enterprise Edition, SOA Management Pack Enterprise Edition, Management Pack for Oracle Data Integrator	A 欄のプログラムによる管理の対象となる関連アプリケーション・サーバー・プログラム。
Management Pack for Oracle Coherence**	Coherence Enterprise Edition, Coherence Grid Edition
Management Pack for Oracle GoldenGate*	GoldenGate, GoldenGate for Non Oracle Database, GoldenGate for Mainframe, GoldenGate for Big Data, GoldenGate for Big Data Targets, GoldenGate for Distributed Applications and Analytics
Exadata Management Pack	Oracle Database Enterprise Edition
Zero Data Loss Recovery Appliance Management Pack	Zero Data Loss Recovery Appliance Software
GoldenGate Foundation Suite	Oracle GoldenGate, Oracle GoldenGate for Non Oracle Database, GoldenGate for Mainframe licenses
Tuxedo Advanced Performance Pack**	Tuxedo
Business Intelligence Server Enterprise Edition Options- Interactive Dashboard, Delivers, Answers	Business Intelligence Server Enterprise Edition
Business Intelligence Suite Extended Edition Option- Business Intelligence Management Pack	Business Intelligence Suite Extended Edition
Management Pack for Oracle Data Integrator	Data Integrator Enterprise Edition, Data Integrator and Application Adapter for Data Integration, or Oracle Data Integrator Enterprise Edition for Oracle Applications
Hyperion Financial Data Quality Management Options- Hyperion Financial Data Quality Management Adapter for Financial Management, Hyperion Financial Data Quality Management Adapter Suite, Hyperion Financial Data Quality Management Adapter for SAP	Hyperion Financial Data Quality Management
Hyperion Financial Data Quality Management for Hyperion Enterprise Option- Hyperion Financial Data Quality Management - Enterprise Edition Adapter for Financial Management, Hyperion Financial Data Quality Management – Enterprise Edition Adapter Suite, Hyperion Financial Data Quality Management – Enterprise Edition ERP Source Adapter for SAP	Hyperion Financial Data Quality Management for Hyperion Enterprise

* Named User Plus 単位で使用権許諾されている場合、お客様は、少なくとも、各関連プログラムにつき、プロセッサーあたり 25Named User Plus を維持しなければなりません。

** Named User Plus 単位で使用権許諾されている場合、お客様は、少なくとも、各関連プログラムにつき、プロセッサーあたり 10Named User Plus を維持しなければなりません。

Applications のライセンス規則

- お客様は、Application Licensing Table に記載されている Application プログラムの使用権許諾において定められている前提条件の遵守を保証する責任を負います。Application Licensing Table には、http://oracle.com/contracts よりアクセス可能です。

ATG Applications のライセンス規則

- Oracle ATG Web Commerce Business Intelligence プログラム、およびOracle ATG Web Commerce Business Intelligence Administratorプログラムは、Oracle ATG Web Commerceプログラムおよび/またはOracle ATG Web Knowledge Managerプログラムのいずれかのみと併せて使用することができます。ただし、追加情報が、既にOracle ATG Web Commerceプログラムまたは Oracle ATG Knowledge Managerプログラムに含まれている情報を補完する場合は、お客様は、その他の情報を含めるためにデータ・モデルを拡張することができます。
- Cognos BI Consumer Bundleは、Oracle ATG Web Commerce Business Intelligenceプログラムに含まれており、以下のもので構成されます。
  (a) 不特定参照者向けの2プロセッサーおよび総コア数4を超えないReporting Engine（1ライセンス）
  (b) 不特定レポート参照者シート・ライセンス（無制限）
  (c) Named BI Web Administratorシート・ライセンスおよびNamed BI Professional Report Authorシート・ライセンス（各1ライセンス）
  追加のシート・ライセンスは、Oracle ATG Web Commerce BI Administratorシート・ライセンスを追加費用にて購入することによって個別に使用権許諾されるものとし、Enterprise-Wideまたはそれに類するライセンスには含まれないものとします。

Oracle Communications Programs のライセンス規則

- お客様は、所定の「Application/Scope of Use」について本注文で定められた Application Annual Revenue の所定額を上限として、Oracle Communications Advanced Billing and Revenue Management Server Program、Oracle Communications Advanced Billing and Revenue Management Server Extensions および Oracle Communications Advanced Billing and Revenue Management Market Extensions を使用する権利を有します。
- Oracle Communications Billing and Revenue Management for Convergent Rating Program についてのお客様のライセンスには、Oracle Communications Billing and Revenue Management for Convergent Rating Program について付与された権利に沿って追加料金なしに Batch Rating Module を使用するための権利が含まれます。
- Oracle Communications Billing and Revenue Management Server for Roaming Program についてのお客様のライセンスには、Oracle Communications Billing and Revenue Management Server for Roaming Program について付与された権利に沿って追加料金なしに Batch Rating Module を使用するための権利が含まれます。
- Oracle Communications Technology Foundation for Monitoring Applications は、Oracle Communications Integrated Diameter Intelligence Hub、Oracle Communications Diameter Intelligence Hub、Oracle Communications Performance Intelligence Center Data Record Storage および Oracle Communications Performance Intelligence Center Management Programs との組み合わせに限って使用することができます。Oracle Communications Technology Foundation for Monitoring Applications を他のオラクル・プログラムまたは第三者プログラムによって使用することは、一切認められません。

Oracle Construction and Engineering Programs のライセンス規則

- Primavera P6 Enterprise Project Portfolio Management および Primavera P6 Peripheral Access のプログラムにおいて、（i）Primavera P6 Enterprise Project Portfolio Management プログラムについて使用権許諾されておらず、かつ（ii）自動化されたプロセスを使用して第三者アプリケーションを経由し（1 つまたは複数の Access Points 経由の場合も含みます）、Primavera P6 Enterprise Project Portfolio Management プログラムから発生するデータへのアクセスまたはそのプログラムに統合されるデータの送信を行う開発者および/またはユーザーは、Primavera P6 Peripheral Access プログラムについて使用権許諾される必要があります。「Access Points」には、第三者バージョン、オラクル・バージョンまたはカスタム・バージョンのインターフェース、API、ウェブ・サービス、EDI/EFT/ETL プロセスおよびデータベース・リンクも含まれますが、これらに限定されません。
- Primavera Contract Management および Primavera Contract Management Web Services のプログラムにおいて、（i）Primavera Contract Management プログラムについて使用権許諾されておらず、かつ（ii）自動化されたプロセスを使用して第三者アプリケーションを経由し（1 つまたは複数の Access Points 経由の場合も含みます）、Primavera Contract Management プログラムから発生するデータへのアクセスまたはそのプログラムに統合されるデータの送信を行う開発者および/またはユーザーは、Primavera Contract Management Web Services プログラムについて使用権許諾される必要があります。「Access Points」には、第三者バージョン、オラクル・バージョンまたはカスタム・バージョンのインターフェース、API、ウェブ・サービス、EDI/EFT/ETL プロセスおよびデータベース・リンクも含まれますが、これらに限定されません。

Oracle E-Business Suite Applications のライセンス規則

- Applications NLS Supplement Media Pack に含まれている製品の一部のみが翻訳されています。既にテクニカル・サポートをご利用のお客様は、どの製品がサポート対象言語に翻訳されているか My Oracle Support で情報をご確認いただけます（https://support.oracle.com）。新規のお客様またはテクニカル・サポートをご利用でないお客様は、オラクル担当営業までお問い合わせください。
- オプションの Activity Hub B2B は、Customer Hub B2B プログラムの Siebel Customer Universal Master コンポーネントでのみ使用可能です。
- オプションの Field Service Hub B2B は、Customer Hub B2B プログラムの Siebel Customer Universal Master コンポーネントでのみ使用可能です。
- オプションの Marketing Hub B2B は、Customer Hub B2B プログラムの Siebel Customer Universal Master コンポーネントでのみ使用可能です。
- オプションの Sales Hub B2B は、Customer Hub B2B プログラムの Siebel Customer Universal Master コンポーネントでのみ使用可能です。
- オプションの Service Hub B2B は、Customer Hub B2B プログラムの Siebel Customer Universal Master コンポーネントでのみ使用可能です。

- オプションの Activity Hub B2C は、Customer Hub B2C プログラムの Siebel Customer Universal Master コンポーネントでのみ使用可能です。
- オプションの Field Service Hub B2C は、Customer Hub B2C プログラムの Siebel Customer Universal Master コンポーネントでのみ使用可能です。
- オプションの Marketing Hub B2C は、Customer Hub B2C プログラムの Siebel Customer Universal Master コンポーネントでのみ使用可能です。
- オプションの Privacy Management Policy Hub B2C は、Customer Hub B2C プログラムの Siebel Customer Universal Master コンポーネントでのみ使用可能です。
- オプションの Sales Hub B2C は、Customer Hub B2C プログラムの Siebel Customer Universal Master コンポーネントでのみ使用可能です。
- オプションの Service Hub B2C は、Customer Hub B2C プログラムの Siebel Customer Universal Master コンポーネントでのみ使用可能です。

Oracle Financial Services Programs のライセンス規則

- 以下の対象プログラムにおいて、当該対象プログラムによりサポートされる国およびネットワークは、Program Documentationに記載されています。

  ・Oracle Banking Payments ACH Connectivity Pack 1

  ・Oracle Banking Payments RTGS Connectivity Pack 1

  ・Oracle Banking Payments RTP Connectivity Pack 1

  ・Oracle Banking Payments RTP Connectivity Pack 2

  ・Oracle Banking Payments Cross Border Payments Connectivity Pack 1

- 以下の対象プログラムにおいて、当該対象プログラムによりサポートされる国およびネットワークは、Program Documentationに記載されています。

  ・Oracle Banking Payments ACH Messaging Pack 1

  ・Banking Payments ACH Messaging Pack 2

  ・Banking Payments RTP Messaging Pack 1

  ・Banking Payments RTP Messaging Pack 2

  ・Banking Payments RTGS Messaging Pack 1

  ・Banking Payments RTGS Messaging Pack 2

  ・Oracle Banking Payments Cross Border Payments Messaging Pack 1

Oracle Hospitality Cruise Applications のライセンス規則

- Oracle Hospitality Data Foundation for Cruise Programは、Oracle Hospitality Cruise Programsと併せてのみ、使用することができます。新規レポートまたは同梱レポートのカスタマイズが許諾されています。サードパーティ・システムへのインテグレーションは、Oracle Hospitality Interface Programs、データ統合・抽出および/またはAPIを通じてのみ許諾されています。サポートされていないアプリケーションを、当該プログラムを用いて作成された環境に追加することはできません。お客様は、Oracle Hospitality Programsのみに由来するデータ要素を、当該プログラムを用いて作成されたスキーマ内でホストすることができます。お客様は、いかなる第三者のデータ要素もホストすることはできません。

Oracle Simphony および Oracle Restaurants Applications のライセンス規則

- Oracle Simphony Technology Foundation for Simphony Point of Sale Programは、Oracle SimphonyまたはOracle Restaurants Programsとの組み合わせに限って使用できます。新規レポート、または既存レポートのカスタマイズが可能です。第三者システムへの統合は、Oracle SimphonyまたはOracle Restaurants Interface Programs、データ統合・抽出および/またはAPIを通じてのみ許諾されています。お客様はサポートされていないアプリケーションを、当該対象プログラムを用いて作成された環境に追加することはできません。お客様は、Oracle Simphony、Oracle Restaurants Programs、またはOracle Hospitality Programsに由来するデータ要素のみを、当該対象プログラムを用いて作成されたスキーマ内でホストすることができます。お客様は、いかなる第三者のデータ要素もホストすることはできません。
- Oracle Simphony、Oracle Restaurants Base Software Programs または Oracle Hospitality Simphony Base Software Programs は、Oracle Linux for MICROS オペレーティング・システムが動作している Oracle Point of Service または Oracle MICROS ハードウェア上で稼働することができます。Oracle Linux for MICROS オペレーティング・システムは、Oracle Point of Service または Oracle MICROS ハードウェアと共に交付される Oracle Linux License Agreement の条件に基づき使用権許諾されます。Oracle Simphony または Oracle Restaurants Base Software Programs のテクニカル・サポートに Oracle Linux for MICROS オペレーティング・システム用のアップデート、バグ修正およびセキュリティー修正が含まれている場合、かかるアップデート、バグ修正およびセキュリティー修正には、Oracle Point of Service または Oracle MICROS ハードウェアと共に交付される Oracle Linux License Agreement の条件が適用されます。

Oracle Hospitality Hotels Applications のライセンス規則

- Oracle Hospitality Technology Foundation Programsは、Oracle Hospitality Hotel Programsとの組み合わせに限って使用できます。新規レポートまたは同梱レポートのカスタマイズが許諾されています。サードパーティ・システムへのインテグレーションは、Oracle Hospitality Interface Programs、データ統合・抽出および/またはAPIを通じてのみ許諾されています。サポートされていないアプリケーションを、当該プログラムを用いて作成された環境に追加することはできません。お客様は、Oracle Hospitality Programsのみに由来するデータ要素を、当該プログラムを用いて作成されたスキーマ内でホストすることができます。お客様は、いかなる第三者のデータ要素もホストすることはできません。
- Oracle Hospitality OPERA 5 Property Standard Programは、Program Documentationで規定されているとおり、55機能に制限されています。
- Oracle Hospitality OPERA 5 Property Lite Programは、Program Documentationで規定されているとおり、30機能に制限されています。
- Oracle Hospitality Suite8 Property Resort Edition Programは、Program Documentationで規定されているとおり、30機能に制限されています。

以下の A 欄に記載される Oracle Hospitality Hotels Programs のライセンス数は、B 欄に記載される関連する Oracle Hospitality Hotels Program のライセンス数と一致しなければなりません。

COLUMN A	COLUMN B
Oracle Hospitality OPERA Property Add-on Modules – Oracle Hospitality OPERA Hotel Mobile, Oracle Hospitality OPERA Mobile, Oracle Hospitality OPERA Multiproperty Cross Profiles and Configurations, Oracle Hospitality OPERA Multiproperty Cross Reservation, Oracle Hospitality OPERA Multiproperty Cross Postings, Oracle Hospitality OPERA Advanced Reporting and Analytics, Oracle Hospitality OPERA Commission Handling, Oracle Hospitality OPERA Membership for Frequent Guest and Flyer, Oracle Hospitality OPERA Web Self Service	Oracle Hospitality OPERA 5 Property Premium OR Oracle Hospitality OPERA 5 Property Standard OR Oracle Hospitality OPERA 5 Property Lite
Oracle Hospitality OPERA Sales and Catering Add-Ons for Hotels – Oracle Hospitality OPERA 5 Sales and Catering Multi-Property Base, Oracle Hospitality OPERA 5 Sales and Catering Multiproperty Group Room Control and Function Diary, Oracle Hospitality OPERA 5 Sales and Catering Reporting and Analytics, Oracle Hospitality OPERA 5 Sales and Catering Web Self Service	Oracle Hospitality OPERA 5 Sales and Catering Premium OR Oracle Hospitality OPERA 5 Sales and Catering Standard OR Oracle Hospitality OPERA 5 Sales and Catering Lite
Oracle Hospitality Suite8 Property Add-On Modules* – Oracle Hospitality Suite8 Property Loyalty and Membership, Oracle Hospitality Suite8 Property and Leisure, Oracle Hospitality Suite8 Central Shared Profiles and Reports, Oracle Hospitality Suite8 Central Cross Reservations, Oracle Hospitality Suite8 Property Travel Agent Commission, Oracle Hospitality Suite8 Property Conference and Catering, Oracle Hospitality Suite8 Property Conference and Catering Room Planner, Oracle Hospitality Suite8 Hotel Mobile, Oracle Hospitality Suite8 Property Bed Management	Oracle Hospitality Suite8 Property Professional Edition OR Oracle Hospitality Suite8 Property Resort Edition, OR Oracle Hospitality Suite8 Property Small Business Edition
Oracle Hospitality Suite8 Property Interfaces*- Oracle Hospitality Suite8 Property One-Way Online Interface, Oracle Hospitality Suite8 Property Two-Way Online Interface, Oracle Hospitality Suite8 Property Telephony Management System Interface, Oracle Hospitality Suite8 Property Call Accounting System Interface (EMEA and APAC Regions), Oracle Hospitality Suite8 Property Voice Mail System Interface, Oracle Hospitality Suite8 Property Point-of-Sale Interface, Oracle Hospitality Suite8 Property Key Services System Interface Oracle Hospitality Suite8 Property Video Services Interface, Oracle Hospitality Suite8 Property Video Posting Only System Interface Oracle Hospitality Suite8 Property Minibar System, Oracle Hospitality Suite8 Property Electronic Funds Transfer Interface, Oracle Hospitality Suite8 Property Building Management System Interface, Oracle Hospitality Suite8 Property Vending System Interface, Oracle Hospitality Suite8 Property Miscellaneous System Interface, Oracle Hospitality Suite8 Property Internet Posting System Interface Oracle Hospitality Suite8 Property Back Office Interface, Oracle Hospitality Suite8 Property Voucher Redemption Interface, Oracle Hospitality Suite8 Property Conference and Catering Event Display Interface, Oracle Hospitality Suite8 Property Back Office Interface for baVel, Oracle Hospitality Suite8 Property Interface for HIS-Solution, Oracle Hospitality Suite8 Property Interface for TAC Voucher Redemption	Oracle Hospitality Suite8 Property Professional Edition OR Oracle Hospitality Suite8 Property Resort Edition, OR Oracle Hospitality Suite8 Property Small Business Edition

*注：Oracle Hospitality Suite8 Programs を適用できるのは、EMEA 地域および APAC 地域に限られます。

JD Edwards Applications のライセンス規則

- Foundation プログラムには、開発基盤の環境/ツールキットが含まれます。開発基盤の環境/ツールキットの機能を用いて開発したすべてのソフトウェアが本契約の条件に基づくことを、お客様は理解し承諾します。プログラムに含まれる開発ツールを利用してお客様が作成したコンピューター・プログラムによって発生した損害（妥当な弁護士費用を含みますが、この限りではありません）について第三者からいかなる賠償請求があった場合にも、お客様はオラクルを防御するとともに補償を行うものとします。**プログラムに含まれる開発ツールが、お客様の希望する特性や仕様を備えたコンピューター・プログラムを生成すること、およびそのように生成されたコンピューター・プログラムにエラーがないことについて、オラクルはいかなる保証もいたしません。**

MySQL プログラムのライセンス規則

- MySQL プログラムは、第三者のテクノロジーを含む場合があります。オラクルは、その旨を、お客様に対し、当該第三者のテクノロジーに関するプログラムの Program Documentation、readme ファイルまたはインストール情報にて通知する場合があります。第三者のテクノロジーは、本契約の条件に基づいて許諾されるものと、Program Documentation、readme ファイルまたはインストール情報に記載がある場合においては本契約の条件に基づくことなく別段の使用権許諾条件（以下「第三者許諾条件」といいます）に基づいて許諾されるもの（以下「第三者許諾テクノロジー」といいます）とがあります。第三者許諾条件に基づく当該第三者許諾テクノロジーのお客様による使用権は、本契約による何らの制限も受けません。

PeopleSoft Applications のライセンス規則

- 原契約における別段の定めにもかかわらず、(i) 本書で許諾されるライセンスは、コンパイル・タスクの実行の目的においては指名ユーザーのライセンス数での使用に限定されるものとし、(ii) 指名ユーザーごとに Micro Focus Visual OBOL for Windows コンパイラーの 1 インスタンスのみをインストールできるものとします。本書により許諾されるライセンスについては、コンパイル・タスクの実行以外の目的（ランタイム・タスクなど）においては、ユーザー数の制限はなく、お客様は、PeopleSoft プログラムに関しいかなる数の Application Server も使用することができます。お客様が本プログラムと同時使用できるのは、ライセンスを受けている PeopleSoft プログラムに限られます。「指名ユーザー」とは、プログラムへのアクセス権を有する者として一意に識別された 1 名限りの個人をいいます。複数の個人が指名ユーザー・プロファイルを共有することはできません。本書における別段の定めにもかかわらず、(a) この第三者製プログラムは、サポート対象のプログラムであって、(b) テクニカル・サポート料金は、更新時に有効であった単価とし、従業員数または収益高のいずれによっても左右されないものとします。
- 原契約における別段の定めにもかかわらず、(i) 本書で許諾されるライセンスは、コンパイル・タスクの実行の目的においては指名ユーザーのライセンス数での使用に限定されるものとし、(ii) 指名ユーザーごとに Micro Focus Visual OBOL for Linux and UNIX コンパイラーの 1 インスタンスのみをインストールできるものとします。本書により許諾されるライセンスについては、コンパイル・タスクの実行以外の目的（ランタイム・タスクなど）においては、ユーザー数の制限はなく、お客様は、PeopleSoft プログラムに関しいかなる数の Application Server も使用することができます。お客様が本プログラムと同時使用できるのは、ライセンスを受けている PeopleSoft プログラムに限られます。「指名ユーザー」とは、プログラムへのアクセス権を有する者として一意に識別された 1 名限りの個人をいいます。複数の個人が指名ユーザー・プロファイルを共有することはできません。本書における別段の定めにもかかわらず、(a) この第三者製プログラムは、サポート対象のプログラムであって、(b) テクニカル・サポート料金は、更新時に有効であった単価とし、従業員数または収益高のいずれによっても左右されないものとします。

Siebel Applications のライセンス規則

- Siebel Branch Teller Services プログラム、Siebel Internet Banking Services プログラム、Siebel Retail Finance Foundation Services プログラムおよび Siebel Financial Transactions Workbench プログラムの場合、第三者のツールを使用して、(a) マテリアルを作成することができるとともに、(b) Program Documentation で Sample Screen Code and Process Templates として指定されているマテリアルを変更することもできます。ただし、いずれも Program Documentation に従うものとし、また作成および変更したマテリアルは、使用権許諾されたプログラムでのみ使用するものとします。オラクルが提供するこれらのプログラム、付属プログラム、Program Documentation、その他一切のマテリアルをオラクルが開発、使用、ライセンス供与、派生物の作成、およびその他自由に活用する権利、ならびにそのような行為を第三者に許可する権利を、お客様はいかなる形でも制限しないものとします。
- Siebel Details プログラムは、20 Concurrent User の使用権を含みます。その使用権は、お客様に対して、任意の一時点において、1 台のコンピューター上でのみ最大 20 Concurrent User がプログラムを使用する権利を付与します。Concurrent User は、プログラムを同時に使用またはアクセス可能な個人として定義されます。Concurrent User は、お客様の既存の顧客や見込み顧客のみが該当するものであり、ビジネス・パートナーやお客様の従業員は該当しません。
- Siebel Marketing Server プログラムは、プログラム経由のアクセスが認められている一意の Customer Record 数に応じ、コンピューター単位で使用権許諾されます。Customer Record は、プログラムを使用してアクセス可能な、一意の Customer Record（担当者レコード、見込み顧客レコードおよび外部データ・ソースのレコードを含みます）として定義されます。
- Siebel Pharma Marketing Server は、お客様が、プログラムを通じて管理することができる Brand の数に応じ、アクセスが認められている一意の Customer Record 数単位で使用権許諾されます。Brand は、特定の化合物に対応する指定された製品提供として定義されます。当該化合物についての複数の剤型および含量製品を含みます。
- Siebel Pricing Claims Server - Up to 20 Application Users は、Application User 数に制限があるコンピューター単位で使用権が許諾されます。Application User は、任意の一時点において、実際に使用しているか否かにかかわらず、1 台または複数のサーバーにインストールされ、該当する使用権が許諾されたプログラムを使用する権限をお客様が付与している特定の個人として定義されます。
- Siebel Web Channel プログラムのユーザーまたはプロセッサーは、最大 15 Object にアクセスできます。「1 Object」とは、Siebel Tools プログラムで定義されている、プログラムの Business Object Layer 内の各データ・エンティティとして定義されます。

- Siebel Data Quality ライセンスは、Oracle Master Data Management または Oracle CRM デプロイメントと共にのみ、使用することができます。

Systems Software Programs のライセンス規則

フェイルオーバー：後述の条件を前提として、以下のプログラムについてのお客様のライセンスには、暦年ごとに、個々の 24 時間枠を 1 単位とし、合計 10 単位を上限として、フェイルオーバー環境におけるライセンスの対象ではない待機系コンピューター上でライセンス対象プログラムを稼働させる権利が含まれます（例：フェイルオーバー・ノードが火曜日に 2 時間にわたりダウンし、金曜日にも 3 時間にわたりダウンした場合には、24 時間枠 2 単位としてカウントします）

- StorageTek QFS、StorageTek QFS Client、Oracle Hierarchical Storage Manager、StorageTek Automated Cartridge System Library Software (ACSLS)

上記の権利は、複数のマシンがディスク・キャッシュまたはテープ・ライブラリー（例：マシンがクラスター環境になく、マシンがディスク・アレイまたはテープ・ライブラリーを共有する）に接続されている場合にのみ適用されます。本番ノードに不具合が生じた時、フェイルオーバー・ノードが本番ノードとして機能します。本番ノードが復旧した場合、お客様は、本番ノードに切り替えるか、または当該復旧済みのサーバーをフェイルオーバー・ノードとして指定する必要があります。フェイルオーバー期間が24時間枠10単位を超えた場合、そのフェイルオーバー・ノードについてライセンスが必要となります。保守目的での休止時間も、個々の24時間枠10単位との上限に算入されます。本項で付与された権利を超えて使用する場合には、別途使用権許諾を受けなければなりません。

UPK Module 単位で使用権許諾されるプログラムのライセンス規則

- オラクルは、UPK Developer による以下の行為について非独占的、譲渡不能の使用権をお客様に付与します。
  (i) UPK Module 単位で使用権許諾される User Productivity Kit（UPK）プログラム（総称して、以下「UPK コンテンツ」といいます）を、Employee および/または Application User が、お客様の利益のために、各 UPK コンテンツが対象としているプログラムを使用する目的に限定したトレーニングの作成および提供において、必要な場合にのみ、使用すること。
  (ii) Employee および/または Application User が、お客様の利益のために、各 UPK コンテンツが対象としているプログラムを使用する目的に限定したトレーニングの作成および提供において、必要な場合にのみ、UPK コンテンツの複製を無制限に作成すること。
  (iii) UPK コンテンツに対する変更版またはカスタマイズ版を開発する場合は、すべて本契約に規定された条件に従い、また著作権に関するすべての注意書きをオリジナルと同様に再現すること。

  各 UPK コンテンツが対象としているプログラムの有効なライセンスを保有していることを、お客様は表明し保証します。お客様は、UPK コンテンツを第三者に再販および頒布すること、ならびに本契約で明示的に許可された以外に UPK コンテンツを使用することを禁じられています。UPK コンテンツ、およびお客様が UPK コンテンツを使用して作成するコンテンツすべてに重要な財産的情報が含まれることを、オラクルは表明します。UPK コンテンツの全部およびそのあらゆる複製について、オラクルはその権利を留保します。お客様は、お客様が作成した UPK コンテンツの変更版を、本契約の条件に従い、内部利用目的にのみ使用するものとします。

  UPK コンテンツへのアクセスとその使用は、Application User 単位で使用権許諾され、かつ以下のすべての条件に該当する第三者に対してのみ許可することができます。
  (a) お客様の UPK コンテンツ使用に関連してお客様にサービスを提供する場合。
  (b) UPK コンテンツの使用とアクセスが必要な場合。
  (c) 本契約に含まれる義務と実質的に同等の守秘義務をお客様により課されることに合意している場合。

  UPK プログラムの Application User および Employee User は、シミュレーションおよびドキュメントを閲覧ならびにそれらを相互に情報共有することが可能ですが、作成および変更を行うことはできません。

Oracle Utilities プログラムのライセンス規則

- 本書における別段の定めにもかかわらず、(a) お客様は、お客様がライセンスを受けている Oracle Utilities Customer Care and Billing プログラムと併せてのみ MicroFocus Third Party Programs を使用するものとし、(b) 本プログラムについては、ソース・コードは含まれないものとし、(c) この第三者製プログラムは、サポート対象のプログラムであるものとします。

AVAILABILITY RULES AND METRIC DEFINITIONS FOR ORACLE LINUX AND ORACLE VM SUPPORT SERVICES（ORACLE LINUX および ORACLE VM についての各サポート・サービスに関する可用性の規則およびメトリクス定義）

本条項における可用性に関する規則およびメトリクス定義は、次のテクニカル・サポート・サービスについてのお客様による使用に適用されます。すなわち、Oracle Linux サービスおよび Oracle VM サービス（総称して以下「**Oracle Open Source サービス**」といいます）のうち、オラクルまたは認定再販業者が注文先であるもの。

Metric Definitions（メトリクス定義）

Physical CPU：サポート対象システムにおける Oracle Linux プログラムおよび/または Oracle VM プログラムの実行を担う個々のモノリシック IC として定義されます。マルチ・コアまたはハイパースレッディングを搭載したモノリシック IC は、サポート対象システムにおける物理 CPU の総数の決定にあたり、単一の物理 CPU としてカウントします。

Physical CPU Pair：単一の対象システムに取り付けられた 2 つの物理 CPU のセットとして定義されます。

System：Oracle Linux プログラムおよび/または Oracle VM Server プログラムがインストールされているコンピューターとして定義されます。コンピューター/ブレードがクラスター化されている場合には、当該クラスター内におけるコンピューター/ブレー

ドの各々が対象システムとして定義されます。（Oracle VM サービスの価格算出の目的上、Oracle VM Manager プログラムがインストールされているコンピューターについては、カウントしません。）

Availability Rules（可用性に関する規則）

- Oracle Linux サービスは、物理 CPU ペアごとに使用可能です。お客様は、サポート対象システムにおける物理 CPU ペアごとにサポート・サブスクリプションを購入する必要があります。物理 CPU ペアは、単一の対象システム内に所在している必要があり、2 つの対象システム間で分割することはできません。対象システムにおける物理 CPU 数が奇数である場合には、当該数字をその次の偶数に切り上げたうえで、サポート・サブスクリプション（物理 CPU ペア・メトリクスに基づくもの）の購入必要数を算出することになります。
- Oracle Linux Basic および Oracle Linux Premier は、物理サーバー内の物理 CPU ペアごとに、または物理 CPU ペアあたり最大 2 台の仮想マシンでの使用について、利用できます。Oracle Linux Premier Plus は、無制限の仮想マシンで物理 CPU ペアごとに利用できます。Oracle Linux Premier Plus は、第三者のクラウド環境の仮想マシン（VM）インスタンスでは利用できません。
- Oracle VM Premier Limited は、対象システムごとの物理 CPU 数が 2 を超えない対象システムに限り、利用することができます。Oracle VM Premier は、対象システムごとの物理 CPU 数にかかわらず、対象システムで利用することができます。
- クラウド環境内で Oracle Linux を稼働させる場合、1 つの物理 CPU ペアのためのオンプレミス型の Oracle Linux Basic Support または Oracle Linux Premier Support のサブスクリプションを、組み合わせ後のサイズが 64 vCPU を超えない 2 台の VM 向けに、使用することができます。64 vCPU を超えるクラウド・インスタンスについては、お客様は、追加の 64 vCPU ごとに、Oracle Linux Basic Support または Oracle Linux Premier Support のサブスクリプション（物理 CPU ペア・メトリクスに基づくもの）を購入する必要があります。
- 1 つの物理 CPU ペアの Oracle Linux Premier または Oracle Linux Premier Plus サブスクリプションごとに、Oracle Linux Automation Manager による最大 20 の管理されたインスタンス（管理されたノード）のサポートが含まれます。追加の管理されたインスタンス（管理されたノード）のサポートのためには、お客様は、物理 CPU ペアごとに追加の Oracle Linux Premier または Oracle Linux Premier Plus サブスクリプションを購入する必要があります。